

2022
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学 教育文化学部 4 年次
HOKUSHO UNIVERSITY
School of education and culture

令和4年度 北翔大学・北翔大学短期大学部 学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
								4 / 1		4 / 2		4 / 3		
4 / 4		4 / 5	在学生 オリエンテーション	4 / 6	入学式	4 / 7	オリエンテーション	4 / 8	オリエンテーション	4 / 9		4 / 10		教科書Web販売(～4月下旬)
4 / 11	①	4 / 12	①	4 / 13	①	4 / 14	①	4 / 15	①	4 / 16		4 / 17		教育学科看護教諭コース3年次 看護実習：4 / 8～4 / 28
4 / 18	②	4 / 19	②	4 / 20	②	4 / 21	②	4 / 22	②	4 / 23		4 / 24		
4 / 25	③	4 / 26	③	4 / 27	③	4 / 28	③	4 / 29	昭和の日	4 / 30		5 / 1		
5 / 2	④	5 / 3	憲法記念日	5 / 4	みどりの日	5 / 5	こどもの日	5 / 6	③	5 / 7		5 / 8		スポーツ教育学科・教育学科音楽コース・芸術学科4年次 教育実習Ⅰ・Ⅱ(中・高) 5月～10月
5 / 9	⑤	5 / 10	④	5 / 11	④	5 / 12	④	5 / 13	④	5 / 14		5 / 15		
5 / 16	⑥	5 / 17	⑤	5 / 18	⑤	5 / 19	⑤	5 / 20	⑤	5 / 21		5 / 22		こども学科2年次 教育実習：5 / 16～6 / 3
5 / 23	⑦	5 / 24	⑥	5 / 25	⑥	5 / 26	⑥	5 / 27	⑥	5 / 28		5 / 29		
5 / 30	⑧	5 / 31	⑦	6 / 1	⑦	6 / 2	⑦	6 / 3	⑦	6 / 4		6 / 5		
6 / 6	⑨	6 / 7	⑧	6 / 8	⑧	6 / 9	⑧	6 / 10	⑧	6 / 11		6 / 12		
6 / 13	⑩	6 / 14	⑨	6 / 15	⑨	6 / 16	⑨	6 / 17	⑨	6 / 18		6 / 19		健康福祉学科(介護)4年次 訪問介護実習：6 / 20～7 / 1
6 / 20	⑪	6 / 21	⑩	6 / 22	⑩	6 / 23	⑩	6 / 24	⑩	6 / 25		6 / 26		健康福祉学科(介護)2年次 介護基礎実習：6月下旬～7月上旬
6 / 27	⑫	6 / 28	⑪	6 / 29	⑪	6 / 30	⑪	7 / 1	⑪	7 / 2		7 / 3		教育学科看護教諭コース2年次 看護学臨床実習：7月～9月
7 / 4	⑬	7 / 5	⑫	7 / 6	⑫	7 / 7	⑫	7 / 8	⑫	7 / 9		7 / 10		
7 / 11	⑭	7 / 12	⑬	7 / 13	⑬	7 / 14	⑬	7 / 15	⑬	7 / 16		7 / 17		
7 / 18	海の日	7 / 19	⑭	7 / 20	⑭	7 / 21	⑭	7 / 22	⑭	7 / 23		7 / 24		
7 / 25	⑮	7 / 26	⑮	7 / 27	⑮	7 / 28	⑮	7 / 29	⑮	7 / 30		7 / 31		
8 / 1	補講・試験日	8 / 2	補講・試験日	8 / 3	補講・試験日	8 / 4	補講・試験日	8 / 5	補講・試験日	8 / 6		8 / 7		こども学科2年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ(保育所)：8月～9月
8 / 8		8 / 9		8 / 10		8 / 11	山の日	8 / 12		8 / 13		8 / 14		心理カウンセリング学科4年次 精神保健福祉援助実習：8月～9月
8 / 15		8 / 16		8 / 17		8 / 18		8 / 19		8 / 20		8 / 21		心理カウンセリング学科3年次 心理実習：8月～9月
8 / 22		8 / 23		8 / 24		8 / 25		8 / 26		8 / 27		8 / 28		教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ： 8 / 18～8 / 31
8 / 29		8 / 30		8 / 31		9 / 1		9 / 2		9 / 3		9 / 4		教育学科3年次 教育実習(幼・小)： 幼稚園8 / 22～9 / 9 小学校8月中旬～9月中旬
9 / 5	創立記念日	9 / 6		9 / 7		9 / 8		9 / 9		9 / 10		9 / 11		健康福祉学科(介護)3年次 介護実習Ⅱ：8 / 15～9 / 23
9 / 12		9 / 13		9 / 14		9 / 15		9 / 16		9 / 17		9 / 18		健康福祉学科(社)3年次・健康福祉学科(介)4年次 相談援助実習：8 / 17～9 / 20
9 / 19	敬老の日	9 / 20		9 / 21		9 / 22	オリエンテーション	9 / 23	秋分の日 大学祭準備 ① 前学期学位記授与式	9 / 24	大学祭	9 / 25		教科書Web販売(～10月中旬)
9 / 26	①	9 / 27	①	9 / 28	①	9 / 29	①	9 / 30		10 / 1		10 / 2		こども学科2年次 保育実習Ⅰ(施設)：9月～12月
10 / 3	②	10 / 4	②	10 / 5	②	10 / 6	②	10 / 7	②	10 / 8		10 / 9		
10 / 10	スポーツの日	10 / 11	③	10 / 12	③	10 / 13	③	10 / 14	③	10 / 15		10 / 16		
10 / 17	③	10 / 18	④	10 / 19	④	10 / 20	④	10 / 21	④	10 / 22		10 / 23		
10 / 24	④	10 / 25	⑤	10 / 26	⑤	10 / 27	⑤	10 / 28	⑤	10 / 29		10 / 30		
10 / 31	⑤	11 / 1	⑥	11 / 2	⑥	11 / 3	文化の日	11 / 4	⑥	11 / 5		11 / 6		
11 / 7	⑥	11 / 8	⑦	11 / 9	⑦	11 / 10	⑥	11 / 11	⑦	11 / 12		11 / 13		
11 / 14	⑦	11 / 15	⑧	11 / 16	⑧	11 / 17	⑦	11 / 18	⑧	11 / 19		11 / 20		
11 / 21	⑧	11 / 22	⑨	11 / 23	勤労感謝の日	11 / 24	⑧	11 / 25	⑨	11 / 26		11 / 27		
11 / 28	⑨	11 / 29	⑩	11 / 30	⑨	12 / 1	⑨	12 / 2	⑩	12 / 3		12 / 4		
12 / 5	⑩	12 / 6	⑪	12 / 7	⑩	12 / 8	⑩	12 / 9	⑪	12 / 10		12 / 11		
12 / 12	⑪	12 / 13	⑫	12 / 14	⑪	12 / 15	⑪	12 / 16	⑫	12 / 17		12 / 18		
12 / 19	⑫	12 / 20	⑬	12 / 21	⑫	12 / 22	⑫	12 / 23	⑬	12 / 24		12 / 25		
12 / 26	⑬	12 / 27		12 / 28		12 / 29		12 / 30		12 / 31		1 / 1	元日	
1 / 2	振替休日(元日)	1 / 3		1 / 4		1 / 5		1 / 6		1 / 7		1 / 8		
1 / 9	成人の日	1 / 10		1 / 11	⑬	1 / 12	⑬	1 / 13	⑭	1 / 14		1 / 15		
1 / 16	⑭	1 / 17	⑭	1 / 18	⑭	1 / 19	⑭	1 / 20	⑮	1 / 21		1 / 22		
1 / 23	⑮	1 / 24	⑮	1 / 25	⑮	1 / 26	⑮	1 / 27	補講・試験日	1 / 28		1 / 29		
1 / 30	補講・試験日	1 / 31	補講・試験日	2 / 1	補講・試験日	2 / 2	補講・試験日	2 / 3		2 / 4		2 / 5		心理カウンセリング学科3年次 精神保健福祉援助実習：2月～3月
2 / 6		2 / 7		2 / 8		2 / 9		2 / 10		2 / 11	建国記念の日	2 / 12		心理カウンセリング学科2年次 心理実習：2月～3月
2 / 13		2 / 14		2 / 15		2 / 16		2 / 17		2 / 18		2 / 19		教育学科3年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2 / 6～2 / 18
2 / 20		2 / 21		2 / 22		2 / 23	天皇誕生日	2 / 24		2 / 25		2 / 26		健康福祉学科(介護)2年次 介護実習Ⅰ：2 / 13～3 / 10 (事前実習：2 / 6～2 / 7)
2 / 27		2 / 28		3 / 1		3 / 2		3 / 3		3 / 4		3 / 5		教育学科3年次 保育実習Ⅰ(施設)：2 / 27～3 / 11
3 / 6		3 / 7		3 / 8		3 / 9		3 / 10		3 / 11		3 / 12		
3 / 13		3 / 14		3 / 15		3 / 16		3 / 17	学位記授与式	3 / 18		3 / 19		
3 / 20		3 / 21	春分の日	3 / 22		3 / 23		3 / 24		3 / 25		3 / 26		
3 / 27		3 / 28		3 / 29		3 / 30		3 / 31						

※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2022（令和4）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返し	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

教育文化学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
就業力養成科目							
キ ャ リ ア 演 習 Ⅲ	演習	1		本 村 規 子			1
キ ャ リ ア 演 習 Ⅳ	講義・演習		1	永 井 秀 岳			2

教育文化学部 教育学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義	2		上 田 知 行	スポーツ教育学科専門科目 集中講義		3
社会と生活に関する科目群							
社 会 教 育 計 画	講義	2		藤 川 和 信		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	4
社 会 教 育 課 題 研 究	講義	2		宗 本 和 博		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	5
社 会 教 育 課 題 演 習	演習		2	川 森 功 偉		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	6
社 会 教 育 施 設 論	講義	2		阿 部 豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	7

教育文化学部 芸術学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義	2		上 田 知 行	スポーツ教育学科専門科目 集中講義		3
社会と生活に関する科目群							
社 会 教 育 計 画	講義	2		藤 川 和 信		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	4
社 会 教 育 課 題 研 究	講義	2		宗 本 和 博		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	5
社 会 教 育 課 題 演 習	演習		2	川 森 功 偉		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	6
社 会 教 育 施 設 論	講義	2		阿 部 豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	7

教育文化学部 心理カウンセリング学科 発展科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義	2		上 田 知 行	スポーツ教育学科専門科目 集中講義		3
社会と生活に関する科目群							
社 会 教 育 計 画	講義	2		藤 川 和 信		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	4
社 会 教 育 課 題 研 究	講義	2		宗 本 和 博		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	5
社 会 教 育 課 題 演 習	演習		2	川 森 功 偉		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修	6
社 会 教 育 施 設 論	講義	2		阿 部 豊		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	7

教育文化学部 学部共通科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
リカレント教育論	講義	2		佐々木 邦 子	発展科目	[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必	9

教育学科 学科専門科目 コース共通科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
卒 業 研 究	演習	← ④ →		担 当 教 員	集中講義		11
知 的 障 害 教 育 Ⅱ	講義	2		瀧 澤 聡	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	12
肢 体 不 自 由 教 育 Ⅱ	講義	2		石 川 大	スポーツ教育学科同時展開	[教][ス]特支1種_必修	13
特別支援教育実習事後指導	講義・演習		1	磯 貝 隆 之	集中講義	[教]特支1種_必修	14
				石 川 大			
				石 塚 誠 之			
特 別 支 援 教 育 実 習	実習	2	2	磯 貝 隆 之	集中講義	[教]特支1種_必修	15
				石 川 大			
				石 塚 誠 之			
特 別 支 援 実 践 論 Ⅲ	演習	2		石 川 大			16
				石 塚 誠 之			
				磯 貝 隆 之			

教育学科 学科専門科目 初等教育・幼児教育コース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
教 職 実 践 演 習（ 幼 ・ 小 ）	演習		2	二 宮 孝 行		[教]幼・小1種_必修	17
			磯 島 年 成				
			伏 見 千悦子				
			湯 浅 大 吾				

教育学科 学科専門科目 初等教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
算 数 科 指 導 法 Ⅲ	講義		2	三 浦 公 裕		[教]小1種_選択	18
理 科 指 導 法 Ⅲ	講義	2		横 山 光		[教]小1種_選択	19
生 活 科 指 導 法 Ⅲ	講義	2		西 出 勉		[教]小1種_選択	20
図 画 工 作 科 指 導 法 Ⅲ	講義	2		湯 浅 大 吾		[教]小1種_選択	21
家 庭 科 指 導 法 Ⅲ	講義	2		木 下 教 子		[教]小1種_選択	22
小 学 校 教 育 研 究 Ⅲ	講義	2		二 宮 孝 行			23

教育学科 学科専門科目 幼児教育コース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
幼 児 教 育 研 究 Ⅲ	講義	2		工 藤 ゆかり	選択必修科目		24
こ だ も の 理 解 と 援 助	演習	1		狩 野 信 也	集中講義	[教]保育士_必修	25
こ だ も の 食 と 栄 養	演習		2	木 下 教 子		[教]保育士_必修	26
保 育 の 計 画 と 評 価	講義	2		丸 谷 雄 輔	選択必修科目	[教]保育士_必修	27
障 害 児 保 育	演習	2		神 田 英 治		[教]保育士_必修	28
保 育 実 習 Ⅱ	実習	2		工 藤 ゆかり	集中講義	[教]保育士_選必	29
				市 原 純			
				岡 健 吾			
保 育 実 習 Ⅲ	実習	2		工 藤 ゆかり	集中講義	[教]保育士_選必	30
				市 原 純			
				岡 健 吾			
保 育 実 習 指 導 Ⅱ	演習	1		工 藤 ゆかり		[教]保育士_選必	31
				市 原 純			
				岡 健 吾			
保 育 実 習 指 導 Ⅲ	演習	1		工 藤 ゆかり		[教]保育士_選必	32
				市 原 純			
				岡 健 吾			
保 育 実 践 演 習	演習		2	工 藤 ゆかり	選択必修科目	[教]保育士_必修	33
				市 原 純			
				岡 健 吾			

教育学科 学科専門科目 養護教諭コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
学 校 保 健 組 織 活 動 論	講義	2		島 瀬 史 子			34
保 健 室 経 営 演 習 Ⅰ	演習	2		島 瀬 史 子	選択必修科目		35
保 健 室 経 営 演 習 Ⅱ	演習		2	島 瀬 史 子			36
教職実践演習(養護教諭)	演習		2	今 野 洋 子		[教]養教1種_必修	37
				野 口 直 美			
養 護 教 諭 教 育 研 究 Ⅲ	講義		2	今 野 洋 子			38
				斉 藤 ふくみ			

教育学科 学科専門科目 音楽コース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
合 奏 Ⅲ	演習	← 2 →		千 葉 圭 説			39
教 育 実 習 事 後 指 導	講義		1	坂 田 朋 優	集中講義	[教]中・高1種(音楽)_必修	40
教 育 実 習 Ⅰ	実習	4	4	坂 田 朋 優	集中講義	[教]中1種(音楽)_必修、高1種(音楽)_選必	41
				岡 元 敦 司			
				千 葉 圭 説			
教 育 実 習 Ⅱ	実習	2	2	坂 田 朋 優	集中講義	[教]高1種(音楽)_選必	42
				岡 元 敦 司			
				千 葉 圭 説			
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	演習		2	岡 元 敦 司		[教]中・高1種(音楽)_必修	43
				坂 田 朋 優			
				千 葉 圭 説			

芸術学科 学科専門科目 専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
アート教育・文化							
博 物 館 実 習	実習	← 3 →	林 亨	集中講義	[芸]学芸員_必修	45	
			山 下 圭 介				
			横 山 光				
立体表現							
創 作 テ キ ス タ イ ル	演習	2		大信田 静 子	選択必修科目	46	
				青 山 重 美			
空間・身体表現							
舞 踊 専 門 研 究	演習	2		田 光 子		47	
構 造 力 学 演 習	演習	2		千 里 政 文	[芸] 1 級建築士_必修、2 級建築士_選必	48	
発想・企画・プレゼンテーション							
デジタルコンテンツ制作	演習	2		松 澤 衛	集中講義	49	
演 劇 と 映 画	演習		2	松 澤 衛	選択必修科目	50	
				村 松 幹 男			

芸術学科 学科専門科目 応用実践科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
総合・統合							
卒 業 研 究 演 習	← ④ →	担 当 教 員	集中講義	51			

教育文化学部 芸術学科 教科及び教職に関する科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
教 育 実 習 事 後 指 導	講義		①	林 亨		[芸]中・高 1 種(美術)_必修	53
			山 下 圭 介				
教 育 実 習 I	実習	4	4	林 亨	集中講義	[芸]中 1 種(美術)_必修、高 1 種(美術)_選必	54
			山 下 圭 介				
教 育 実 習 II	実習	2	2	林 亨	集中講義	[芸]高 1 種(美術)_選必	55
			山 下 圭 介				
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	講義・演習		②	林 亨		[芸]中・高 1 種(美術)_必修	56
			山 下 圭 介				

心理カウンセリング学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
公 認 心 理 師 の 職 責	講義		2	新 川 貴 紀		[心]公認心理師_必修	57
			入 江 智 也				
			風 間 雅 江				
			小 坂 守 孝				
			澤 聡 一				
			佐 藤 至 英				
関 係 行 政 論	講義	2		飯 田 昭 人		[心]公認心理師_必修	58
現 代 社 会 と 福 祉 I	講義	2		伊 藤 新 一 郎	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、 福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	59
現 代 社 会 と 福 祉 II	講義		2	吉 田 竜 平	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、 福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	60
社会福祉行政・福祉計画論	講義	2		林 恭 裕	健康福祉学科同時展開	[心]精神保健福祉士_必修、 福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必	61
精 神 保 健 福 祉 学 III	講義		2	古 川 奨		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	62
				今 井 博 康			
				寺 田 香			
精神保健福祉援助演習 II	演習	2		今 井 博 康		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	63
				尾 形 多佳士			
精神保健福祉援助演習 III	演習		2	今 井 博 康		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	64
				古 川 奨			
精神保健福祉援助実習指導	演習	← 3 →		今 井 博 康	3 年次後学期から通年	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	65
				寺 田 香			
				古 川 奨			
精 神 保 健 福 祉 援 助 実 習	実習	← 7 →		今 井 博 康	3 年次後学期から通年 集中講義	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必	66
				寺 田 香			
				古 川 奨			
精神保健福祉援助技術特別講義	講義	1		寺 田 香			67
卒 業 研 究	演習	← ④ →		担 当 教 員	集中講義	[心]認定心理士_選必	68

全学共通科目

科 目 名		キャリア演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		本村 規子						
授 業 の 目 的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年を通して体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で実践教育に位置づけされます。就職活動中の民間企業希望者や福祉施設希望者、また教員や公務員希望者等、面接試験を控えた学生を対象に開講します。演習ではグループディスカッションや模擬面接を通して「面接力」の向上を目指します。						
	到達目標	(1)模擬面接・模擬グループディスカッションを通して柔軟性と状況把握力を養う。 (2)志望先に合格するための「面接力」を養う。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】自分の現状を確認しよう！ 【計画内容】ワークシートに取り組み、卒業後の進路の方向性と就職活動の進捗状況を明確にする。 【授業時間外の学修内容】今までのキャリア科目で学んだ事を振り返り、就職活動本番へ向けて各自心構えを新たにします。						A・K
	第2回	【テーマ】就職活動の最終ステップ“面接試験”について、ポイントをおさえよう！ 【計画内容】ppt スライドで面接の基本や最近の傾向、また採用する側の意図・着眼点等を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今までの面接経験を振り返り、うまくいったこと、いかなかったこと等を思い出し、書き留めておく。						A・H・K
	第3回	【テーマ】よくある質問に備えよう！ 【計画内容】業界を問わない質問、また業界特有の質問などの情報を基に、質問への応答内容を準備する（書き出す）。 【授業時間外の学修内容】自分が目指す業界の面接質問例などをインターネットで検索し、書き出しておく。						A・H・K
	第4回	【テーマ】模擬面接に取り組もう① 【計画内容】受検者、面接官、評価者の3役を体験し、それぞれの視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に鏡を見ながら等、イメージトレーニングに取り組んでおく。						A・N・H
	第5回	【テーマ】模擬面接に取り組もう② 【計画内容】受検者、面接官、評価者の3役を体験し、それぞれの視点について学ぶ。また、オンライン面接のポイントにも触れる。 【授業時間外の学修内容】前回の振り返りから、自分の課題を見つけ、改善ポイント等を考えておく。						A・N・H
	第6回	【テーマ】グループディスカッションについて理解しよう！ 【計画内容】ppt スライドで“グルディス”について学んだ上で、模擬グループディスカッションを体験する。 【授業時間外の学修内容】グループディスカッションの内容や傾向について、予めインターネットや書籍に目を通しておく。						A・N・H
	第7回	【テーマ】体験者の話を聞こう！ 【計画内容】既に面接試験を体験した学生の話聞くことで、ポイントや傾向を捉える機会とする。 【授業時間外の学修内容】身近な友人や先輩からも、出来るだけ面接の体験談を聞くよう意識する。						A・H・K
	第8回	【テーマ】本番に臨む準備を整えよう！ 【計画内容】今までの学びを総括し、各自が考える合格(採用内定)へ繋がる「面接力」についてレポートにまとめる。疑問等があれば解答を共有し、本番に備える態勢を整える。 【授業時間外の学修内容】今まで取り組んできたキャリア科目のワークシートや授業資料を見直しておく。						A・G
テキスト		プリントを使用します。						
参 考 書		プリントを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	キャリアコンサルタント、講師					
		科目との関連	高校生大学生の面接指導、社会人の就職支援、企業コンサルティング、等					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。 また、メールでの質問も受け付けます。E-Mail:3018024@wm.hokusho-u.ac.jp						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		キャリア演習Ⅳ			授業形態	講義・演習	単 位 数	1
教 員 名		永井 秀岳						
授 業 の 目 的	ねらい	本学では将来のキャリア形成を目指し全学年を通して体系的にキャリア教育科目を開講しており、本演習はその総括科目にあたります。将来の進路決定の有無に関わらず、大学卒業後に自分自身の力で生き抜いていくために必要な「社会人の視点」を習得することを目指します。また、今後一生続いていく自らのキャリアの方向性を見つけることをねらいとします。						
	到達目標	(1)社会人の視点を修得する。 (2)物事に対する俯瞰的視点を修得する。 (3)社会のルール、社会的行動への理解を深める。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、社会人生活で気になること 【計画内容】大学卒業まであと少し。これから社会に出る前に不安なこと、わからないことがたくさん出てくる時期。本講では受講生から社会に出るに当たって知っておきたいことや不安に感じていることを聞き取り、共有していく。また、今後の授業の中で取り上げるにより社会に出るための準備をしていく。 【授業時間外の学修内容】 ニュース等を見て、社会の動きに関心を持つこと。					A・H・K	
	第2回	【テーマ】社会人のお金事情 【計画内容】現在の社会ではキャリアと切り離すことができないお金の問題。働き始めると実際に手にすることができる給料はどの程度なのか、社会保険や年金、税金はどういう仕組みになっているのか、会社員とフリーランスの違いなどについて具体的な数字を見ながら学んでいく。 【授業時間外の学修内容】 ニュース等を見て、社会の動きに関心を持つこと。					A・H・K	
	第3回	【テーマ】一段上を行く社会人マナー(ビジネスマナー) 【計画内容】できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交え習得する。 【授業時間外の学修内容】 キャリア演習Ⅱで習ったビジネスマナーを復習しておくこと。					A・H・K	
	第4回	【テーマ】インターネットの上手い話は本当？ 【計画内容】SNSなどを活用していると度々見かける儲かる話の広告。これらの中で代表的なものの仕組みを理解し、やるべきか・やらないべきかを自分自身で決められるような判断力を身につける。 【授業時間外の学修内容】 ニュース等を見て、社会の動きに関心を持つこと。					A・H・K	
	第5回	【テーマ】仕事に対する価値観の昔と今 【計画内容】経済成長、グローバル化、少子高齢化などの影響を受け、現代社会を取り巻く環境は数十年前と比べて大きく変化している。これまでの社会で仕事がどのような役割を果たしてきたのかを学び、これから先の時代に充実した生活をするためには、どのような仕事に対する価値観が必要かを考えていく。 【授業時間外の学修内容】 ニュース等を見て、社会の動きに関心を持つこと。					A・H・K	
	第6回	【テーマ】色々な仕事について知ろう 【計画内容】日本にある職種の数はおよそ1万7000種類。その中で大まかな職業分類について知り、仕事に対する興味の幅を広げていく。また、アルバイト等での経験について意見交換をし、自分が経験したことがない仕事に対しても具体的なイメージを持てるようになる。 【授業時間外の学修内容】 ニュース等を見て、社会の動きに関心を持つこと。					A・H・K	
	第7回	【テーマ】ビジネスモデルを知ろう 【計画内容】世の中にある企業・組織によって、収益を得る仕組みは大きく異なる。本講では代表的なものから、少し変わったものまでいくつかのビジネスモデルの仕組みを学ぶ。企業が活動するために必要なものは何かを知り、その中で自分自身はどのように活躍していくかを考えていく。 【授業時間外の学修内容】 ニュース等を見て、社会の動きに関心を持つこと					A・H・K	
	第8回	【テーマ】人生が上手くいく！キャリアビジョンの描き方 【計画内容】これまでのキャリア科目で取り扱った内容を元に、自分なりのキャリアビジョンをデザインしていく。好きなことは何か、やりたいことがない場合はどうすれば良いかなど、ワークを通して自分が納得できるビジョンを探っていく。 【授業時間外の学修内容】 ニュース等を見て、社会の動きに関心を持つこと					A・H・K	
テキスト		プリントを使用します。						
参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
補 足	足							
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義内で随時受け付けます。						
資 格								
そ の 他								

発 展 科 目

科 目 名		スポーツ施設管理論				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		上田 知行							
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保すべき環境面での条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面などについて学ぶ。							
	到達目標	(1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)スポーツ施設のリスクマネジメントに関する内容を学習する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(公共)① 【計画内容】日本の公共スポーツ施設の現状について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】施設環境2 【計画内容】施設環境(光度)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			
	第2回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(公共)② 【計画内容】日本の公共スポーツ施設の現状について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。	A	第10回	【テーマ】顧客管理1 【計画内容】利用者の管理方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			
	第3回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(民間)① 【計画内容】日本の民間スポーツ施設の現状について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】民間スポーツ施設についてあらかじめ調べておく。	A	第11回	【テーマ】顧客管理2 【計画内容】利用者の管理方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			
	第4回	【テーマ】日本のスポーツ施設の現状(民間)② 【計画内容】日本の民間スポーツ施設の現状について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】民間スポーツ施設についてあらかじめ調べておく。	A	第12回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理1 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			
	第5回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理・運営 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程を述べる。その際に施設管理者が果たすべき任務を明らかにする。雨漏り、水濡れ、金属部分の劣化、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えほかを学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第13回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理2 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			
	第6回	【テーマ】施設のリスクマネジメント 【計画内容】施設のリスクマネジメントについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第14回	【テーマ】施設管理・顧客管理・経営管理3 【計画内容】施設管理・顧客管理・経営管理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A			
	第7回	【テーマ】利用者に対するリスクマネジメント 【計画内容】利用者のリスクマネジメントについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A	第15回	【テーマ】まとめ:スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において生涯スポーツ施設が完備しているべき要素を再認識する。 【授業時間外の学修内容】15回分の全講義内容をまとめてたうえでリポートとして清書する。	G・L			
	第8回	【テーマ】施設環境1 【計画内容】施設環境(温度・湿度)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に出された課題に取り組む。	A						
テキスト		講義時に説明します。							
参 考 書		講義時に提示します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	30%		30%		40%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		その都度、直接対応します。							
資 格									
そ の 他		届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が困難になります。							

科 目 名		社会教育計画		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		藤川 和信					
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習社会の構築をめざし、地域の振興策を考える上で社会教育が果たす役割は大変重要なものがあります。社会教育を推進する際にその指針となるのが社会教育計画です。社会教育計画を策定するための基本的な考え方を踏まえ、様々な事例を検討しながら計画策定の方法について学びます。授業形態については「講義」を中心に行いますが、内容に応じて「グループ討議」や「演習」を取り入れながら進めていきます。					
	到達目標	(1)社会教育計画策定の基礎原理、策定手順に関する理論的枠組みが説明できる。 (2)社会教育における「学習プログラム」を企画することができる。 (3)自らすすんで課題を発見し、解決する姿勢をもつことができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】今年度の授業計画について説明し、各自受講するにあたっての目的意識を明確にします。各自の目標をワークシートに記入してもらいます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】学習情報提供、学習相談2 【計画内容】学習相談の意義について、また、学習相談と相談員について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	
	第2回	【テーマ】生涯学習社会における社会教育 【計画内容】生涯学習社会の構築に向けて、社会教育の果たす役割及び期待、課題、さらには学習集団のプロセスとその支援の方法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第10回	【テーマ】社会教育の広報、広聴 【計画内容】社会教育における広報の意義と実際、広聴の意義と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A・G	
	第3回	【テーマ】社会教育計画の意義と役割 【計画内容】社会教育計画の意義と役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第11回	【テーマ】社会教育事業計画の実際1 【計画内容】社会教育事業計画の必要性と計画の構造について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A・B・H	
	第4回	【テーマ】社会教育計画策定の視点と方法 【計画内容】社会教育計画を策定する上での視点、方法、評価などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第12回	【テーマ】社会教育事業計画の実際2 【計画内容】各種事業の企画、学習プログラム、展開プログラムの作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A・B・F・G	
	第5回	【テーマ】社会教育計画策定の手順 【計画内容】社会教育計画策定の手順と各様式との関連について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第13回	【テーマ】演習「青少年教育と社会教育計画」 【計画内容】青少年を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・B・G	
	第6回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用1 【計画内容】社会教育調査の定義と種類、意義と方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業終了時に示した課題についてレポートを作成すること。	A・G	第14回	【テーマ】演習「高齢者教育と社会教育計画」 【計画内容】高齢者を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・B・G	
	第7回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用2 【計画内容】社会教育調査の企画、調査票の作成、データの分析、活用方法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第15回	【テーマ】演習「生涯スポーツ振興計画」 【計画内容】生涯スポーツ振興に関する事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・B・G	
	第8回	【テーマ】学習情報提供、学習相談1 【計画内容】学習情報提供とは何かについて、また学習情報提供の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】本時の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A				
テキスト		プリントを使用します。					
参 考 書		プリントを使用します。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		30%		40%	
	補足			レポート		出欠等	
課題に関するフィードバックの方法		レポート返却時に学んだ内容を振り返りながら講評します。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	北海道教育委員会社会教育主事、中学校校長、教諭				
		科目との関連	社会教育行政及び学校教育での経験を生かした指導を行う。				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修					
そ の 他		第16回に最終評価のためのテストを行います。 毎時間の出席を原則とします。					

科 目 名				社会教育課題研究		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				宗本 和博					
授 業 の 目 的	ねらい	ここ2年間にわたるコロナ下であって、いわゆる従来型の社会教育活動をそのままの形で展開できなくなっています。また一方で国際化や環境問題、人口減少問題など喫緊の社会教育課題は依然として少なくありません。そのため本講では、コロナ下、そしてコロナ後を見据えながら、特に「喫緊の社会教育課題」の中から幾つかを取り上げ、それらの課題について深く掘り下げ、考えていきます。							
	到達目標	(1)多様で広範な社会教育課題について、それらの課題のとらえ方や考え方について理解を深める。 (2)社会教育を推進する上で、その中心的な役割を担う社会教育主事の在り方について理解を深める。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス。[社会教育課題]の概要を学びます。 【計画内容】「社会教育課題」とは何か。その意味と今日的な社会教育課題の概要を学びます。また、授業のねらいや到達目標、授業形態について把握します。 【授業時間外の学修内容】 シラバスを読んで、授業への要望等を整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】 社会教育課題としての健康問題 【計画内容】 例えば社会教育計画を策定する上で「健康課題」の押さえるは大切です。健康とは何か、どうとらえたら良いのか、健康の在り方、特にその根本的な課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料のテーマについて考えてみてください。	A・H・K			
	第2回	【テーマ】 生涯学習社会における社会教育課題とは何か 【計画内容】 社会教育課題をとらえるためには、「生涯学習社会」という基盤を前提として考えなければならぬ。そのため、教育基本法などの法令上の位置づけや「社会教育とは何か」について考究します。 【授業時間外の学修内容】 教育基本法(平成18年度)を読んでおくこと。	A・H	第10回	【テーマ】 社会教育課題としての青少年教育 【計画内容】 青少年教育にとって、自然体験、ボランティア活動、国際交流などの体験活動がなぜ必要なのか、「新しい日常」における青少年教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】 いままでどんな社会体験(上記自然体験等)をしたのか、自分なりに整理しておいてください。	A・H			
	第3回	【テーマ】 現代的課題と新しい社会的課題 【計画内容】 「現代的課題」や新しい社会的課題について、それらをどうとらえるか、特にそのことについてどう考えたら良いか、時代的背景を踏まえながら学びます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、現代的課題について考えておくこと。	A・H・K	第11回	【テーマ】 社会教育課題としての少子・高齢問題 【計画内容】 資料に基づき、少子・高齢問題の現状やその歴史について学びます。それらの問題について意見交流を通して学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、少子・高齢問題について考えておいてください。	A・H			
	第4回	【テーマ】 「社会教育の推進」に果たす社会教育主事の在り方 【計画内容】 社会教育主事の資質と能力をどうとらえたら良いか。その役割や在り方などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、自分なりの社会教育主事像を描いてみること	A・H	第12回	【テーマ】 社会教育課題としての男女共同参画社会 【計画内容】 変化の時代にあつて、生涯学習社会を推進するためには、男女がともに活躍できる社会、つまり男女共同参画社会がその社会の前提であり、基盤でなければなりません。そこで男女共同参画時代とは何か、どうあらねばならないかなどについて、その現状と展望について学びます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで男女共同参画時代について考えておいてください。	A・H			
	第5回	【テーマ】 社会教育現場における「危機管理」 【計画内容】 社会教育を展開する現場における事故や災害にどう対処するのか。そのための「危機管理」の考え方やその意義について学びます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、「危機管理」について考えておくこと	A・H・K	第13回	【テーマ】 社会教育課題と家庭教育支援 【計画内容】 社会教育として家庭教育支援の在り方はどうしたら良いのか、何ができるのか、資料を見ながらグループ討議でその課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、家庭教育の在り方について考えておいてください。	A・H			
	第6回	【テーマ】 社会教育における「連携・協力」とネットワーク 【計画内容】 社会教育を推進していくうえで、地域や学校、各種機関、各団体との連携・協力は大切です。その「連携・協力」の意味や意義に踏まえ、どのようにネットワーク化していくのかを学びます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、「連携・協力」について考えておいてください。	A・F	第14回	【テーマ】 社会教育と地域づくり 【計画内容】 配付資料から地域づくりの実践と課題について学びます。特にコロナ下における地域づくりの実践例を取り上げます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、地域づくりの実践例について考えておいてください。	F			
	第7回	【テーマ】 社会教育課題としての情報社会 【計画内容】 社会教育を推進するにあたり、いわゆる情報化の課題について学び、情報社会における社会教育実践のあり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料を読んで、情報化の課題をかんがえておくこと	A・H・K	第15回	【テーマ】 ふり振り返り 【計画内容】 これまで学んできたことがらについて振り返り、社会教育における多様な課題について、今後の課題解決をめざして整理していきます。 【授業時間外の学修内容】 これまでの講義内容をまとめておいてください。	L			
	第8回	【テーマ】 社会教育課題としての環境保全問題 【計画内容】 社会教育を推進する上で、環境保全問題について広く学ぶことが大切です。そのためには身近な環境問題だけではなく日本規模、世界規模の視点で環境問題について、どう考え、とらえたらよいかを資料をもとに学びます。 【授業時間外の学修内容】 身近な環境問題について、経験に基づいた自分なりの考えをまとめておいてください。	A・H・K						
テキスト		講義時に説明します。							
参 考 書		プリントを使用する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			55%		30%	15%		
	補足			レポート等		関心意欲	ワークシート等		
課題に関するフィードバックの方法		毎回、授業の内容についてのレポート課題を出します。それについて評価し、その積み上げに基づいて評価します。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	中学校教諭(含管理職)、社会教育主事						
		科目との関連	社会教育と学校教育の経験を踏まえた具体的な指導を行う。						
質問への対応		初回、講義時に説明します。口頭の質問には口頭で、文書の質問には文書で回答します。E-Mail:munemoto3@nifty.com							
資 格		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修							
そ の 他									

科 目 名		社会教育課題演習		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		川森 功偉					
授 業 の 目 的	ねらい	社会教育における学習者である成人や青少年の学習課題を明らかにし、社会教育施設の見学や、事業の企画・立案などの演習をととして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解を深めるとともに、社会教育主事任用資格に必要なすべての科目にも着目しながら総合的に学習する。					
	到達目標	(1)社会教育の意義と歴史的展開について理解する。 (2)社会教育行政、社会教育職員について理解する。 (3)社会教育における学習課題について理解する。 (4)演習をととして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】「生涯学習・社会教育」とは 【計画内容】生涯学習・社会教育の理念や意義、歴史的展開について学ぶとともに、授業のねらいや到達目標、授業の計画について把握する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを一読し、授業で習得したい事項、興味・関心のある事項について整理しておく。	A	第9回	【テーマ】社会教育施設における事業の実践(3) 【計画内容】社会教育施設の見学をととして、社会教育施設の事業を理解する。(北海道立図書館で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設(図書館)の役割と機能について考えておく。	A・B	
	第2回	【テーマ】生涯学習・社会教育関連法令 【計画内容】生涯学習・社会教育に関連する法令について体系的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、関連法令について考えておく。	A	第10回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際 【計画内容】レクリエーションの企画について、演習をととして体験的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、アイスブレイクの展開方法などについて考えておく。	A・B	
	第3回	【テーマ】社会教育行政と社会教育職員 【計画内容】社会教育行政の意義と社会教育職員の職種や役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育職員について考えておく。	A	第11回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(1) 【計画内容】第5回から第10回までの授業を基に、青少年を対象とした事業の企画・立案を行う。この授業では、特に、青少年の課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】青少年の課題が明らかになるデータ等、資料を準備しておく。	A・B	
	第4回	【テーマ】社会教育施設の意義と連携 【計画内容】公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等の社会教育施設の役割・機能、各施設間の連携の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、各種社会教育施設の特色について考えておく。	A	第12回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(2) 【計画内容】第11回の授業を基に、青少年の課題を解決するプログラムについて学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付する青少年対象のプログラム例について理解しておく。	A・B	
	第5回	【テーマ】社会教育における学習課題(1) 【計画内容】社会の変化に伴う様々な問題点に着目し、成人や青少年の学習課題の変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会の急激な変化とその対応について考えておく。	A・H	第13回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(3) 【計画内容】プログラムの目的を達成するための効果的・効率的な展開方法について学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料(青少年教育施設の主催事業の例)に基づき、事業の展開方法について考えておく。	A・B	
	第6回	【テーマ】社会教育における学習課題(2) 【計画内容】青少年を取り巻く社会環境等の変化から生じる様々な問題点を踏まえ、青少年の学習課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、青少年の体力や学力、基本的な生活習慣などについて考えておく。	A・H	第14回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(4) 【計画内容】プログラムの実施に必要な教材や講師、学習の展開方法など、より具体的な企画・立案を行う。 【授業時間外の学修内容】事業の実施に必要な連携機関・団体、講師陣について考えておく。	B	
	第7回	【テーマ】社会教育施設における事業の実践(1) 【計画内容】社会教育施設の見学をととして、社会教育施設の事業を理解する。(北海道立近代美術館で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設(美術館)の役割と機能について考えておく。	A・B	第15回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(5) 【計画内容】演習をととして企画・立案した事業について、相互に発表・交流を行い、社会教育事業の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事業の必要性や目的、特色などをまとめ、効率的なプレゼンテーションとなるよう準備しておく。	F	
	第8回	【テーマ】社会教育施設における事業の実践(2) 【計画内容】社会教育施設の見学をととして、社会教育施設の事業を理解する。(北海道博物館で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育施設(博物館)の役割と機能について考えておく。	A・B				
テキスト		プリントを使用します。					
参 考 書		講義時に説明します。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			50%		50%	
	補 足			レポート等		授業内課題等	
課題に関するフィードバックの方法		「社会教育事業の企画・立案」(1)～(4)の授業で作成する課題について、その(5)の最終授業(第15回授業)で相互に発表・交流を行います。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	北海道教育委員会社会教育主事、社会教育主幹				
		科目との関連	上記の経験を生かして、生涯学習・社会教育関連法令、社会教育事業の企画・立案に関する内容を教授する。				
質問への対応		講義時、講義後、その他可能な機会でも直接対応します。また、Teams のチャットでも対応します。					
資 格		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_必修					
そ の 他		履修の学生を2班に分けて、11月13日か20日のいずれかの日程で、北海道立近代美術館及び北海道博物館を見学します。					

科 目 名		社会教育施設論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		阿部 豊						
授 業 の 目 的	ねらい	社会教育施設とは、社会教育に関する事業をとおして、市民に教育的・文化的サービスを提供することを主な目的とした公の教育施設である。具体的には、公民館、図書館、博物館、青少年教育施設がこれにあたる。まず、これらが設置された経緯、役割と機能について理解した上で、施設をめぐる課題と新たな動向を探り、これからの社会教育施設の在り方について学習する。						
	到達目標	(1)社会教育施設が設置された経緯について理解する。 (2)社会教育施設の特徴、役割と機能について理解する。 (3)社会教育施設の課題を踏まえ、これからの施設の在り方について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】社会教育施設の概要 【計画内容】社会教育施設の概要を理解するとともに、授業のねらいや到達目標、計画について把握する。 【授業時間外の学修内容】 シラバスを一読し、授業で習得したい事項、興味・関心のある事項について整理しておく。	A	第9回	【テーマ】 青少年教育施設の法的根拠と役割・機能 【計画内容】 青少年教育施設に関連する法令、青少年教育施設の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、青少年教育施設の役割について考えておく。	A		
	第2回	【テーマ】社会教育施設の設置の経緯 【計画内容】社会教育施設が設置された経緯や社会的背景、学習者の変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設が設置された経緯について考えておく。	A・H	第10回	【テーマ】 青少年期の課題と青少年教育施設の支援 【計画内容】 青少年期、特に現代の少年期の課題を理解し、事例研究から、青少年教育施設における体験活動機会の提供について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、体験活動の意義について考えておく。	A・J		
	第3回	【テーマ】公民館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】公民館に関連する法令、公民館の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、公民館に関連する法令について考えておく。	A	第11回	【テーマ】生涯学習関連施設の種類と役割 【計画内容】社会教育施設以外の学習施設について理解し、その役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、生涯学習関連施設の種類の種類について考えておく。	A		
	第4回	【テーマ】公民館の課題と経営 【計画内容】公民館の現状と課題を理解し、公民館の経営方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、公民館の課題について考えておく。	A	第12回	【テーマ】社会教育施設職員と施設経営 【計画内容】社会教育施設職員の職種と役割について理解し、施設経営の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設職員の職種と役割について考えておく。	A		
	第5回	【テーマ】図書館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】図書館に関連する法令、図書館の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、図書館に関連する法令について考えておく。	A	第13回	【テーマ】施設ボランティアの活動 【計画内容】社会教育施設でのボランティア活動の事例から、施設ボランティアの在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設でのボランティア活動について考えておく。	A・H・J		
	第6回	【テーマ】図書館の課題と新たな動向 【計画内容】図書館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な図書館活動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、図書館の新たな動向について考えておく。	A・J	第14回	【テーマ】社会教育施設の管理運営に関する諸課題 【計画内容】施設の管理運営には多様な形態があることを理解し、事例研究から、それぞれの課題と今後の方向性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、施設の多様な管理運営について考えておく。	A・J		
	第7回	【テーマ】博物館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】博物館に関連する法令、博物館の種類、それらの役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、博物館の種類について考えておく。	A	第15回	【テーマ】情報化社会と社会教育施設 【計画内容】情報通信技術の発達について理解し、社会教育施設の情報化について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設の情報化について考えておく。	A		
	第8回	【テーマ】博物館の課題と新たな動向 【計画内容】博物館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な博物館の経営について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、博物館の新たな動向について考えておく。	A・J					
テキスト		プリントを使用します。						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50% レポート等		50% 授業内課題等		
課題に関する フィードバックの方法								
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	北海道教育委員会社会教育主事、国立青少年教育施設所長、北海道立図書館長等を歴任					
		科目との関連	上記の経験を生かして、公民館、図書館、青少年教育施設の経営等に関する内容を教授します。					
質問への対応		講義時、講義後、その他可能な機会でご直接対応します。また、Teams のチャットでも対応します。						
資 格		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必						
そ の 他		第1回の授業で科目全体の説明を行いますので、第1回授業の出席を必須とします。出席できない場合は、Teams のチャットで必ず事前に連絡してください。						

学部共通科目

科目名		リカレント教育論			授業形態	講義	単位数	2
教員名		佐々木 邦子						
授業の目的	ねらい	リカレント教育とは、成人が学習の場に戻り再び職業へ回帰することをいう。生涯学習の範疇の一つであり、成人が学習する場合の重要な要素として位置づけられている。欧米では、主に職業的な向上を目指す教育として実施されてきたが、現在では満足感、達成感など精神的な面で効果も明らかになっている。 そこで、本講義では、リカレント教育の日本での状況と、先進事例として、アクティブラーニングにより、学生の主体的で、かつ動的な学習を推進する。						
	到達目標	(1)リカレント教育に対する OECD、ユネスコ、ILO など国際機関の取り扱いを理解する。 (2)日本でリカレント教育が発達しなかった理由について、日本の雇用慣行との関連を理解する。 (3)学習社会が進んでも Education by education の実態があることを理解する。 (4)リカレント教育先進国の事例を学習する。 (5)リカレント教育に対するヨーロッパ諸国と日本の違いとその背景を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、生涯学習、成人教育、継続教育、リカレント教育の基本的な考え方の説明 【計画内容】生涯学習やリカレント教育についての基礎になる点を話し、講義の目標と進め方を説明する。また講義の進行として、アクティブ・ラーニングを取り入れて実施することを確認する。 【授業時間外の学修内容】生涯学習の範疇である成人教育、継続教育について予習をしておくこと。	A	第9回	【テーマ】フランスにおけるリカレント教育 【計画内容】アソシアションやアニマトゥールなど、戦後から現在までのフランスでは、生涯学習や社会教育に関する事象が社会的にも顕著になった。このような情勢の背景を探り、成人教育やリカレント教育がどのように関わってきたのかについて学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B・K		
	第2回	【テーマ】日本における生涯学習の成り立ちについての確認 【計画内容】「生涯学習論」を履修していたか否かで講義内容も変更をせざるを得ないため、学習した内容を復習し、本論のリカレント教育論につなげていく。 【授業時間外の学修内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。	A	第10回	【テーマ】スウェーデン社会と学校教育制度の概観 学生の発表 【計画内容】スウェーデンでは、1960年代から70年代にかけての高等教育を求める人々の急激な増大が、成人教育や継続教育に関して大きな影響を及ぼした。その関連性について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F・I		
	第3回	【テーマ】リカレント教育が日本で進行しなかった社会的背景 【計画内容】1960年代後半に我が国に紹介された生涯学習の一つとしてリカレント教育があるが、当時の我が国の雇用慣行とそぐなかったことがリカレント教育が進展しなかった主な理由としてとらえられている。その詳細について、我が国特有の雇用慣行や労働市場の状況を学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第11回	【テーマ】スウェーデンにおける教育政策としてのリカレント教育 学生の発表 【計画内容】1970年代から20年間ほどスウェーデンでは、リカレント教育を教育政策として展開した。そのような国はスウェーデンのみであるため、リカレント教育に関するかつての制度と、その制度が消失した現代にどのようにつながっているかを学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F・I		
	第4回	【テーマ】生涯学習政策の変化によって着目度が進んだリカレント教育 【計画内容】我が国ではリカレント教育に耳目が集まったのは1990年代になってからである。そのような社会情勢とリカレント教育進展の関連に言及する。そのうえで、生涯学習政策の転換によってリカレント教育に進展の兆しが出てきたことを確認する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A・K	第12回	【テーマ】ドイツの社会と学校教育制度 学生の発表 【計画内容】ドイツでは、初等教育・中等教育に他国と異なる大きな特徴がある。10歳で大学進学決定、ギムナジウム、デュアルシステムなど、特殊なドイツの学校教育制度を確認する。 【授業時間外の学修内容】学生に課題としてレジュメ作成を課す。	F・I		
	第5回	【テーマ】OECD・ユネスコにおけるリカレント教育の展開 【計画内容】ヨーロッパでは、リカレント教育は生涯学習の中でも職業的な向上を目指す学習としてとらえられることが多い。その背景には、OECDやユネスコでのリカレント教育に対する位置づけにあると考えられるため、両者の生涯学習やリカレント教育に対する概念を確認する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A・K	第13回	【テーマ】ドイツにおけるリカレント教育 【計画内容】ドイツの学校制度が特殊であり、特に中等教育と成人教育が密接に絡んでいることは、成人教育を学ぶ者としては、理解をしておかなければならない点である。 【授業時間外の学修内容】学生に課題としてレジュメ作成を課す。	F・I		
	第6回	【テーマ】ILOの有給教育休暇がリカレント教育の進展に与える影響の考察 【計画内容】ILOでは労働者の教育機会を目的として1974年に有給教育休暇条約を採択した。それ以降多くの加盟国は条約を批准し、国内での成人教育や継続教育の推進に取り組んでいる。日本は、その条約について未批准である。これらのことから、この条約とリカレント教育の関連性について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第14回	【テーマ】リカレント教育に対する諸外国と日本の違い、その背景 【計画内容】リカレント教育に対する諸外国と日本の違いを確認し、その背景について学習する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A・K		
	第7回	【テーマ】中間まとめとしての論点提示の上、考察 【計画内容】中間的なまとめとして前半に学習した内容について整理する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B	第15回	【テーマ】生涯学習やリカレント教育の社会的進展過程、課題を確認 【計画内容】生涯学習とリカレント教育が進展した経緯と、さらに起こっている課題を確認し、生涯学習社会に対する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をし、使用したプリントを持参する。	A・K		
	第8回	【テーマ】フランス社会と学校教育制度の概観 【計画内容】学校制度と成人教育は深くかわるため、事前にフランスの制度を確認する。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。	B・K					
テキスト		プリントを使用します。						
参考書		講義時に説明						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		30%		10%		
	補足							
課題に関するフィードバックの方法		グループワークの実施が可能な場合、グループで討論をし、その討議内容を代表者から発表してもらう。 必要に応じて補足説明などをする。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明する。						
資 格		[教][芸][心][ス][健]社会教育主事_選必						
そ の 他		シラバスをよく読んで、真剣に最後まで学習しようという人に履修していただきたい。 提示の二か国について、各自で調べレジュメを作成、それを発表する形式をとり、アクティブ・ラーニングに対応させることを事前に理解をして臨んでほしい。						

教 育 学 科
学 科 專 門 科 目

科 目 名		卒業研究		授業形態	演習	単 位 数	4
教 員 名		担当教員					
授 業 の 目 的	ねらい	本科目の目的は、幼児・児童・生徒を取り巻く環境をはじめ、あらゆる社会環境の変化の中から課題を見いだし学問探究を深めること、解決に取り組むこと、解決のために必要な知識や技術を獲得することである。それぞれ探究する分野について、テーマの設定、そのテーマに関する先行資料の調査、課題の洗い出し、それらへの解決策の探究を通じて、実践的な問題解決能力を養うことが目的である。					
	到達目標	(1)幼児・児童・生徒を取り巻く環境をはじめ、あらゆる社会環境の変化の中から課題を見いだすことができる。 (2)課題を解決するために、研究テーマを設定し、テーマに沿った卒業研究をまとめることができる。 (3)研究テーマに応じて、適切な手法で卒業研究を発表することができる。					
授 業 の 計 画		【概要】 ○初等教育コース 研究成果の提出は、卒業論文及び研究抄録とする。研究発表は、口頭発表もしくはポスター発表とする。 ○幼児教育コース 研究成果の提出は、作品もしくは卒業論文、及び研究抄録とする。研究発表は、口頭発表もしくは実演、ポスター発表とする。 ○養護教諭コース 研究成果の提出は、卒業論文及び研究抄録とする。研究発表は、口頭発表とする。 ○音楽コース 研究成果の提出は、演奏実技及び研究抄録とする。研究発表は、演奏の実演を行う。 【計画内容】 第1回　オリエンテーション：「卒業研究」の目標と内容を理解する 以降の展開は、コース、指導教員、各自の研究課題によって異なることもある 第2回　研究テーマの検討 第3回　研究方法の検討 第4回　研究計画の作成 第5回　研究テーマおよび方法、研究計画の報告 第6回　先行研究の検討・整理 第7回　先行研究の検討・整理 第8回　先行研究の検討・整理 第9回　調査、データ収集、教材研究、演奏技術の研究など 第10回　調査、データ収集、教材研究、演奏技術の研究など 第11回　調査、データ収集、教材研究、演奏技術の研究など 第12回　調査、データ収集、教材研究、演奏技術の研究など 第13回　調査、データ収集、教材研究、演奏技術の研究など 第14回　調査、データ収集、教材研究、演奏技術の研究など 第15回　データ分析、作品制作、演奏技術の研究など 第16回　データ分析、作品制作、演奏技術の研究など 第17回　データ分析、作品制作、演奏技術の研究など 第18回　データ分析、作品制作、演奏技術の研究など 第19回　データ分析、作品制作、演奏技術の研究など 第20回　卒業論文の執筆、作品制作・実践、演奏技術の研究など 第21回　卒業論文の執筆、作品制作・実践、演奏技術の研究など 第22回　卒業論文の執筆、作品制作・実践、演奏技術の研究など 第23回　卒業論文の執筆、作品制作・実践、演奏技術の研究など 第24回　卒業論文の執筆、作品制作・実践、演奏技術の研究など 第25回　卒業論文の執筆、作品制作・実践、演奏技術の研究など 第26回　卒業研究抄録の作成 第27回　卒業研究抄録の作成 第28回　卒業研究発表会の準備 第29回　卒業研究発表会の準備 第30回　卒業研究論文発表会 【授業時間外の学修内容】 各指導教員から説明します。					B・F・I・J・M
テキスト	各指導教員より説明します。						
参 考 書	各指導教員より説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分					10%	90%
	補 足						各コース、指導教員により提示する
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資 格							
そ の 他	「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」は同一教員を原則とします。 『卒業研究』は、4年間の学問探究の集大成となります。取り組む上での苦労とともに、それ以上の達成感を得ることができるので、真剣に取り組むことが望まれます。 評価の実施時期の補足：本科目への取組姿勢、卒業研究（論文等）の完成度から担当教員が決定したそれぞれの比率に基づいて、総合的に判断し評価します。また、全てのコースで、発表も評価の材料とします。						

科 目 名			知的障害教育Ⅱ		授業形態		講義		単 位 数		2	
教 員 名			瀧澤 聡									
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援教育では、実態把握と学習指導要領(自立活動を含む)をふまえながら、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」が立案され、授業が展開されている。本講義では、実態把握の方法と学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深めながら、特別支援学校(知的障がい)で指導されている授業指導案の立案、演習を行う。										
	到達目標	(1)実態把握のための心理検査の実施方法を習得する。 (2)特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深める。 (3)「個別の指導計画」の内容の理解を目指す。 (4)指導の形態に応じた、指導案の作成を目指す。										
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】知的障害教育の総復習と本授業との関連 【計画内容】知的障害教育Ⅰで学習したことを振り返りながら、知的障害児の特性と教育課程の理解を深めて、本授業との関連について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】知的障害教育Ⅰで学習したことについて、復習すること。	A	第9回	【テーマ】「生活単元学習」3:総まとめ 【計画内容】「生活単元学習」1と「生活単元学習」2の学びを通して得られた観点から、「生活単元学習」の学習指導案を熟読し、指導案を作成する。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」の指導案を熟読すること。	A						
	第2回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領の理解の深化1 【計画内容】改定学習指導要領と関連させながら、特別支援学校学習指導要領の内容の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】改定学習指導要領ついて予習すること。	A	第10回	【テーマ】「作業学習」1:展開 【計画内容】「作業学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「作業学習」について予習すること。	A						
	第3回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領の理解の深化2 【計画内容】改定特別支援学校学習指導要領の内容の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】改定特別支援学校学習指導要領について予習すること。	A	第11回	【テーマ】「作業学習」2:指導略案の検討 【計画内容】前回の授業の展開をふまえて、「作業学習」の指導略案を検討する。 【授業時間外の学修内容】「作業学習」について略案を熟読すること。	A						
	第4回	【テーマ】「教科教育」の展開 【計画内容】「教科教育」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「教科教育」について予習すること。	A	第12回	【テーマ】「遊びの指導」の指導細案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、「遊びの指導」の指導細案の検討をする。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A						
	第5回	【テーマ】「教科教育」の指導案の検討1 【計画内容】「個別の目標」を中心に、教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成する。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A	第13回	【テーマ】心理検査1と2:S-M 社会生活能力検査及び視知覚検査 【計画内容】「S-M 社会生活能力検査」「視知覚検査」などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ソーシャルスキルとの関連と「視知覚検査」を予習すること。	A						
	第6回	【テーマ】「教科教育」の指導案の検討2 【計画内容】各教科の指導案を熟読し、それぞれの教科特性の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A	第14回	【テーマ】心理検査3:絵画語い発達検査及び発達検査の目的と適用 【計画内容】「絵画語い発達検査」などについて学び、前回の発達諸検査を振り返りながら、その目的と適用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「絵画語い発達検査」について予習することと前回の諸検査を復習すること。	A						
	第7回	【テーマ】「生活単元学習」1:基本事項 【計画内容】「生活単元学習」の学習指導案を作成するための基本事項について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」について予習すること。	A	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】知的障害教育の在り方について振り返りをし、再確認する。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	A						
	第8回	【テーマ】「生活単元学習」2:指導細案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に、教材研究のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」の「個別の目標」を予習すること。	A									
テキスト		文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)』、開隆堂出版、4304042297										
参 考 書		講義時に説明します。										
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他					
	配分補足	85%				15%						
課題に関するフィードバックの方法												
実務経験と授業の関連	経 験 内 容											
	科目との関連											
質問への対応		講義の最初に説明する。										
資 格		[教][ス]特支1種_必修										
そ の 他												

科 目 名			肢体不自由教育Ⅱ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			石川 大					
授 業 の 目 的	ねらい	日本の肢体不自由教育史について理解し、肢体不自由のある幼児・児童生徒に対する教育について、指導内容・方法の基礎的・応用的な理論と先駆的な指導実践の中から理解を深める。また、特別支援学校(肢体不自由)の教育課程と特に自立活動の指導における6区分の内容と指導について学ぶ。更に、摂食指導や医療的ケアといった日常の健康維持・向上や生命の維持に不可欠な内容について理解を深める。						
	到達目標	(1)日本の肢体不自由教育史について、その歴史的発展と展望、現状と課題について学ぶ。 (2)特別支援学校(肢体不自由)における教育課程の編成・内容について理解する。 (3)肢体不自由教育における自立活動の具体的な指導内容・方法について理解を深める。 (4)肢体不自由教育における摂食指導や医療的ケアについて理解する。 (5)肢体不自由教育における感覚運動アセスメントとその実際の指導について学ぶ。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンスについて 【計画内容】15回の講義内容について説明します。 【授業時間外の学修内容】「肢体不自由教育Ⅰ」で学んだ内容を復習しておくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】肢体不自由に伴う疾患の理解に関して1 【計画内容】肢体不自由に伴う疾患に関してグループワークを通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A・H		
	第2回	【テーマ】日本の肢体不自由教育史について 【計画内容】我が国及び北海道の肢体不自由教育史について、その歴史と展望、現状と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】肢体不自由に伴う疾患の理解に関して2 【計画内容】肢体不自由に伴う疾患に関してグループワークの成果を発表し、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A・F		
	第3回	【テーマ】肢体不自由のある児童生徒の障害認識とアセスメント 【計画内容】肢体不自由教育における児童生徒の障害について、ICFの理念に基づく障害者観を理解するとともに、各種のアセスメントに関する方法・内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】肢体不自由教育における教科の学習について 【計画内容】肢体不自由教育における障害特性と教科の学習について理解し、どのような指導方法・内容が必要かを学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A		
	第4回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について 【計画内容】肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について理解します。特に、ICF(国際生活機能分類)の活用について、その実践成果も学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A・K	第12回	【テーマ】摂食機能の障害と摂食指導の実践について 【計画内容】摂食機能の障害と摂食指導の実践について学びます。特に、障害の重度・重複化に伴う摂食障害について、本道の実態と取り組みについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A		
	第5回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導1～「健康の保持」「心理的な安定」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「健康の保持」「心理的な安定」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】学校で行う医療的ケアの意義と内容について 【計画内容】学校で行う医療的ケアの意義と内容について、訪問教育における医療的ケアの事例などから、実施のための基礎的知識を学びます。また、医療機関や医療専門職員との連携・協力についても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A		
	第6回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導2～「人間関係の形成」「環境の把握」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「人間関係の形成」「環境の把握」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】特別支援学校(肢体不自由)における医療的ケアの必要な幼児・児童生徒への対応の実践 【計画内容】医療的ケアの必要な幼児・児童生徒への対応の実践について学びます。具体的な指導事例などから指導方法・内容の応用的な理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A		
	第7回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導3～「身体の動き」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「身体の動き」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】ICFの理念に基づく特別支援教育のセンターの役割 【計画内容】ICFの理念に基づく障がい者の理解を深め、肢体不自由特別支援学校のセンターの機能の役割について理解します。また、本道における地域支援ネットワークとその機能・役割、連携のあり方についても学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A		
	第8回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導4～「コミュニケーション」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「コミュニケーション」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A					
テキスト		プリントを配付します。						
参 考 書		安藤隆男・藤田継道、2015年、『よくわかる肢体不自由教育』、ミネルヴァ書房、4623072507 全国肢体不自由養護学校長会、2005年、『新たな肢体不自由教育実践講座』、ジヤース教育新社、4921124474 飯野順子、2017年、『肢体不自由教育における子ども主体の子どもが輝く授業づくり』、ジヤース教育新社、4863714410						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			70%		30%		
	補足			レポート				
課題に関するフィードバックの方法		課題について学んだ内容を発表し、理解を深める。 指導案の作成を通して障害の配慮、工夫点を理解する。 課題やテーマに応じたグループワーク及び成果報告を行う。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	特別支援学校教諭・教頭・校長					
		科目との関連	特別支援学校教諭・教頭・校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応		講義時や研究室、メール等で随時対応します。						
資 格		[教][ス]特支1種_必修						
そ の 他		初回の講義で説明します。						

科 目 名	特別支援教育実習事後指導				授業形態	講義・演習	単 位 数	1
教 員 名	磯貝 隆之、石川 大、石塚 誠之							
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援学校における教育実習を終えて、実習報告会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。 教師としての資質向上に向けて、教育実習の自己評価をするとともに、より意欲的に取り組む態度を身につける。						
	到達目標	(1)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。 (2)特別支援学校での教育実習を振り返り、自己評価することができる。 (3)特別支援学校の教師としての資質や能力を身につけることができる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 1 オリエンテーション (1) 特別支援学校で行った教育実習の成果や課題を整理する。 (2) 教育実習で学んだことについてのまとめや自己評価を行う。 2 教育実習報告会の実施 (1) 教育実習報告会を開催する。 (2) 教育実習報告会へ参加する。 (3) 報告会に参加し、感想等レポートを提出する。 (4) 報告会での報告内容を聞き、自分の実習内容と比較しながら自己評価する。 3 教育実習終了後のまとめ (1) 教育実習で学んだことについてグループに分けて振り返りを行う。 (2) 振り返りの内容に関してグループごとに発表し合う。 (3) 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題を整理する。 (4) 実習校へお礼状を送付する。 【準備学習の内容】 教育実習を終えての具体的な自己課題をもつこと。 【授業時間外の学修内容】 各自の教育実習の成果と課題についてまとめておく。							F・L
テキスト	プリントを配付します。							
参 考 書	文部科学省、2017年、『特別支援学校幼稚園部教育要領』 文部科学省、2009年、『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』 文部科学省、2009年、『特別支援学校高等部学習指導要領』 文部科学省、2021年、『障害のある子供の教育支援の手引』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			20%	20%	30%	30%	
	補 足			レポート・グループワーク	実習日誌他	実習への意欲	実習校の評価	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	石川 大、磯貝 隆之 / 特別支援学校教諭・教頭・校長、指導主事、石塚 誠之 / 特別支援教育専門家チーム員					
		科目との関連	特別支援学校教諭、管理職としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応	オリエンテーション等で具体的に説明します。							
資 格	[教]特支1種_必修							
そ の 他	特別支援学校で行った教育実習の成果や課題について整理する。 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題について整理する。 今後、教職に進むに当たり課題を解決するための見通しを持てるようにする。							

科 目 名	特別支援教育実習				授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名	磯貝 隆之、石川 大、石塚 誠之							
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援学校において、学校経営の方法、学校評価の方法、保護者との連携、児童生徒の安全、地域における特別支援教育のセンター的機能の実際等を理解する。 次に、各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の観察を行い、その後に学習指導案を作成し、実際の授業を行う。また、学級経営の基礎や生徒指導についても理解を深める。 実習終了後、反省会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。						
	到達目標	(1)実習校の教育活動を理解することができる。 (2)児童生徒理解を通した学級活動の指導ができる。 (3)教科指導、教科別の指導、教科等を合わせた指導等の授業を指導することができる。 (4)実習前に実習先についての学びを深めるとともに、実習の心得を養う。 (5)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 法令や実習校により定められた期間中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行う。 1 実習校の教育活動の理解 (1) 実習校の教育目標、教育計画などの教育課程 (2) 実習校の組織・運営及び教員の勤務内容 (3) 各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間等の指導内容・方法 (4) 学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談の実際 2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の時間の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解を通した学級活動の実習 3 教職の理解 (1)教職への自己の適性判断 (2)教職の使命感・責任感の醸成 4 実習後のまとめ (1) 実習後の実習校へお礼状の送付 (2) 実習報告レポートの作成 (3) 実習報告会への参加 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』を熟読すること。							A・B・D
テキスト	プリントを配付します。							
参 考 書	文部科学省、2017年、『特別支援学校幼稚園部教育要領』 文部科学省、2017年、『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』 文部科学省、2019年、『特別支援学校高等部学習指導要領』 文部科学省、2019年、『解説書：総則、各教科、自立活動』 文部科学省、2021年、障害のある子供の教育支援の手引							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分				10%	20%	70%	
	補 足				実習日誌	実習への意欲	実習校における評価	
課題に関する フィードバックの方法	実習校において実施される「研究授業」について指導助言を行う。 実習後、「教育実習報告会」において情報交流及び意見交換を行い教育実習を振り返る。							
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	磯貝隆之、石川大 / 特別支援学校教諭・教頭・校長、指導主事 石塚誠之 / 特別支援教育専門家チーム員					
		科目との関連	業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[教]特支1種_必修							
そ の 他	前年度までに定められている科目を修得している必要があること。 事前オリエンテーションには、必ず出席するとともに、教育実習校の事前打ち合わせにも必ず出席すること。また、『教育実習の手引き』の「実習生の心得」と「注意事項」を厳守すること。							

科 目 名		特別支援実践論Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		石川 大、石塚 誠之、磯貝 隆之						
授 業 の 目 的	ねらい	障害の重度・重複化、多様化している児童生徒の実態把握をする多様なアセスメントの在り方について、考察するとともに、特別支援学校における一人一人の教育的ニーズに応じた指導の在り方について学びます。						
	到達目標	(1)障害の重度・重複化、多様化している児童生徒の実態把握について理解する。 (2)発達検査、知能検査の諸課題について理解する。 (3)各障害別の諸課題について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】特別支援教育における諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明します。 (石川大・磯貝隆之・石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】聴覚障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】聴覚障害の実態に応じた教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B		
	第2回	【テーマ】特別支援教育における学習指導要領 【計画内容】特別支援教育における学習指導要領の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。 (石川大) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B	第10回	【テーマ】肢体不自由者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】肢体不自由の実態に応じた教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B		
	第3回	【テーマ】特別支援教育における学習指導要領総則編 【計画内容】特別支援教育における学習指導要領総則編について学びます。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B	第11回	【テーマ】病弱者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】病弱者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B		
	第4回	【テーマ】特別支援教育における学習指導要領自立活動編 【計画内容】学習指導要領の自立活動学習編について学びます。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B	第12回	【テーマ】知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B		
	第5回	【テーマ】自立活動学習内容要素表 【計画内容】一人ひとりのニーズに応じた自立活動学習の内容要素表について学びます。(磯貝隆之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B	第13回	【テーマ】重複障害者等に関する教育課程 【計画内容】重度・重複化、多様化している重複障害者の教育課程を編成する際の特例について学びます。(石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B		
	第6回	【テーマ】特別支援学校における教育課程の編成 【計画内容】特別支援学校の教育課程の編成基準と実際の編成の仕方について学びます。(石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B	第14回	【テーマ】特別支援学級、通級による指導における教育課程 【計画内容】特別支援学級、通級による指導における教育課程を編成する際の特例について学びます。(石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B		
	第7回	【テーマ】教育課程の指導計画 【計画内容】個々の実態に応じた教育課程の指導計画の作成について学びます。(石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】特別支援教育の在り方について再確認し、学習の習熟度を確認します。(石川大、磯貝隆之、石塚誠之) 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	A・B		
	第8回	【テーマ】視覚障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校 【計画内容】視覚障害の実態に応じた教育を行う特別支援学校の概要を把握し、どのような指導が行われているかについて学びます。(石川大) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B					
テキスト		プリントを使用します。						
参 考 書		文部科学省、2018年、『特別支援学校学習指導要領』、海文堂出版 西川公司、2000年、『重複障害児の指導ハンドブック』、全国心身障害児福祉財団 大南英明、2010年、『学習指導要領と新しい試み』、ジアーズ教育新社、9784863711402						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			70% レポート		30%		
課題に関するフィードバックの方法		テーマに関する課題を行い、知識・理解の状況を自己評価します。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	石川大、磯貝隆之 / 特別支援学校教諭・教頭・校長 石塚誠之 / 特別支援教育専門家チーム員、子ども発達支援センタースーパーバイザー					
		科目との関連	特別支援学校教諭・教頭・校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。 石塚誠之 / 特別支援教育専門家チーム員、子ども発達支援センタースーパーバイザーとしての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		初回講義時に具体的に説明します。						

科 目 名				教職実践演習(幼・小)		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		二宮 孝行、磯島 年成、伏見 千悦子、湯浅 大吾							
授 業 の 目 的	ねらい	この講義は、教員として必要な資質能力の最終的な形成とその育ちを確認することが大きな目的である。本学科が養成を目指す教師像は「コーチング」が意味する「学習者を学習者自身の目標に導くこと」を支援できる人材である。そのためには、学習者である子どもの自発的な行動や活動を促し、目標達成を支援する指導技術や能力を身につける必要がある。そこで、校内教員と現場教員の協力を得て、授業実践力と幼児・児童理解や学級経営能力の向上を図り、実践的な指導力を身につけることをねらいとしている。							
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情を身につける。 (2)社会性や対人関係能力を身につける。 (3)幼児・児童理解や学級経営能力を身につける。 (4)教科・保育内容等について学習者の視点にたった指導力を身につける。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】学びの軌跡を振り返る 【計画内容】履修カルテをもとに、これまでの学びを確認し、自分自身の課題を明確にする。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教育に関する科目を振り返り、学んだ内容を復習する。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A・G	第9回	【テーマ】保護者からの要望・苦情の対応1(全教員) 【計画内容】保護者からの要望への対応について、ロールプレイングの手法を用いて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前配付資料に目を通しておくこと。	N			
	第2回	【テーマ】グループ討議1「教育実習を終えて得た事柄と今の自分」 【計画内容】教育実習で得たことのレポートをもとに、今の自分に何が必要かをグループ討議の中から見いだす。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「教育実習で得たこと」を学習指導の視点からA4・1枚にまとめておくこと。	F・H	第10回	【テーマ】保護者からの要望・苦情への対応2 【計画内容】保護者からの苦情への対応について、ロールプレイングの手法を用いて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前配付資料に目を通しておくこと。	N			
	第3回	【テーマ】グループ討議2「教師の責務と愛情」 【計画内容】グループ討議を通して、教師の責務や子どもへの愛情について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「教育実習で得たこと」を生徒指導の視点からA4・1枚にまとめておくこと。	F・H	第11回	【テーマ】学習者の視点に立った授業実践力を磨く1 【計画内容】研究会に参加し、学習者の立場に立った指導の在り方を学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】研究会で参観する授業について調べ、自分なりの指導の展開をイメージしておくこと。	M			
	第4回	【テーマ】学級・保育室経営1「望ましい教室経営の在り方」 【計画内容】学級・保育室経営について、現場教師の実践を聞き、自らの経営の方向性を探る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自身の学級経営にかかわる課題について、様々な資料をもとに調べておくこと。	H・J	第12回	【テーマ】学習者の視点に立った授業実践力を磨く2 【計画内容】研究会の授業を教科ごとに科目担当教員とともに模擬授業方式で検証し、学習者の立場に立った板書や発問の在り方を学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】研究会で参観する授業について調べ、自分なりの指導の展開をイメージしておくこと。	M			
	第5回	【テーマ】学級・保育室経営2「担任の役割や実務(含む事務)」 【計画内容】担任の役割について、現場教師の実践を聞き、担任業務の内容を知るとともに、担任としての見通しを持つ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】担任の役割や事務について、あらかじめ書籍等で調べておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】フィールドワークの交流1 【計画内容】研究会や研修での経験を交流し、子どもの発達段階をとらえる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】子どもの発達段階の視点について、予習しておくこと。	F・M			
	第6回	【テーマ】学級・保育室経営3「学級経営案の作成」 【計画内容】現場教師の実際の学級経営の話聞き、学級経営案の書き方を学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】学級経営案について、書籍等で調べておくこと。	A・H	第14回	【テーマ】フィールドワークの交流2 【計画内容】研究会や研修での経験を交流し、望ましい教師の在り方について協議する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】望ましい教師の在り方の視点について、予習しておくこと。	F・M			
	第7回	【テーマ】学級・保育室経営4「4月当初の実務内容」 【計画内容】一番忙しい新学期の実務について理解を深めることで、教師生活をスムーズにスタートさせられるよう準備する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前配付資料に目を通しておくこと。	A・H	第15回	【テーマ】現代の教育課題を踏まえた、教育観・指導観・子ども観などの在り方 【計画内容】これまでの授業を振り返り、教師としての仕事への強い意識を育む。(全教員) 【授業時間外の学修内容】今後の仕事に対する意気込みをまとめておくこと。	G・K			
	第8回	【テーマ】学級・保育室経営5「教室掲示・環境づくり」(全教員) 【計画内容】子どもの学習を意欲的なものとする教室の環境整備の在り方を演習を交えて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前配付資料に目を通しておくこと。	B・F・H						
テキスト		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社、4491034606 文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、4577814226 教師の働き方研究会、2020年、『教職1年目の働き方大全』、明治図書出版株式会社、9784183310170							
参 考 書		講義時に説明します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分		30%	30%	30%		10%		
	補足		交流作品	課題レポート	まとめレポート		作品制作等		
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	二宮孝行、磯島年成 / 小学校教諭						
		科目との関連	二宮孝行、磯島年成 / 小学校教員教諭の経験を生かした指導						
質問への対応		随時対応します。							
資 格		[教]幼・小1種_必修							
そ の 他		上記テキスト「教職1年目の働き方大全」は小のみ。 免許状取得に必要な当該科目以外のすべての科目を修得済み、あるいは修得見込みであること。 この講義は、教員としての深い知識や望ましい行動、そして多様な業務内容を理解することで、4月から教師として働く準備となる講義です。毎時課題を解決しながら、より真剣に取り組んでほしいものです。実践的な内容を重視します。							

科 目 名			算数科指導法Ⅲ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			三浦 公裕					
授 業 の 目 的	ねらい	小学校算数科と中学校以降の数学科の接続について検討し、数学の体系について学ぶ。道内の小学校や中学校で使用されている教科書の内容と学習指導要領の内容の関連を捉えることで、数学的活動を取り入れた望ましい算数科指導のあり方を探る。小集団グループによる教材研究や研究協議を通して算数科教育についての理解を深める。						
	到達目標	(1)算数科における今日的な課題について理解し、その改善に努めている。 (2)小学校算数科の内容を体系的に見つめ直し、指導事項について理解を深めている。 (3)子供の数学的活動について、数学的な価値を理解し、授業に生かしている。 (4)算数の内容を中高の数学へ接続の意義を十分に理解し、数学の楽しさと有効性を理解している。 (5)おもしろ算数教室(地域活動)の計画・実践・評価を意欲的に取り組もうとしている。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】算数・数学における内容の体系とは何か。 【計画内容】「算数科概論」や「算数科指導法Ⅰ・Ⅱ」との内容の違い、指導事項の関連を概観する。 【授業時間外の学修内容】指定のテキスト第2章p.21-p.29を読み、算数科の目標や内容について深めておくこと。	A・K	第9回	【テーマ】D領域「データの活用」の体系化2 模擬授業 【計画内容】「データの活用」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I		
	第2回	【テーマ】A領域「数と計算」の体系化1 模擬授業 【計画内容】「数と計算」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A・B・I	第10回	【テーマ】A領域「数と計算」と中学校数学との関連1 授業観察 【計画内容】中学校数学の「数と計算」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I		
	第3回	【テーマ】A領域「数と計算」の体系化2 模擬授業 【計画内容】「数と計算」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	A・B・J	第11回	【テーマ】A領域「数と計算」と中学校数学との関連2 授業観察 【計画内容】中学校数学の「文字式や方程式」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I		
	第4回	【テーマ】B領域「図形」の体系化1 模擬樹長 【計画内容】「図形」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I	第12回	【テーマ】B領域「図形」と中学校数学との関連3 授業観察 【計画内容】中学校数学の「図形の性質」「面積と体積」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I		
	第5回	【テーマ】B領域「図形」の体系化2 模擬授業 【計画内容】「図形」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I	第13回	【テーマ】C領域「測定・変化の関係」と中学校数学との関連4 授業観察 【計画内容】中学校数学の「比例と反比例・一次関数」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I		
	第6回	【テーマ】C領域「測定・変化と関係」の体系化1 模擬授業 【計画内容】「測定・変化と関係」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I	第14回	【テーマ】D領域「データの活用」と中学校数学との関連5 授業観察 【計画内容】中学校数学の「確率・資料の整理」の学習を通して、算数教育の役割について考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I		
	第7回	【テーマ】C領域「測定・変化と関係」の体系化2 模擬授業 【計画内容】「測定・変化と関係」における目標と内容を理解し、具体的な問題を通して考えを深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I	第15回	【テーマ】おもしろ算数教室への取り組み。 【計画内容】おもしろ算数教室に参加し、地域の小学生と交流を深める。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I		
	第8回	【テーマ】D領域「データの活用」の体系化1 模擬授業 【計画内容】「データの活用」における小学校算数と中学校数学の接続のあり方とその留意点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した課題に取り組む。	B・J・I					
テキスト			文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 算数編』					
参 考 書			『中学数学』、教育出版 国立教育研究所、2011年、『評価規準の作成』 『数学Ⅰ』、東京書籍					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			10% 記録用紙作成		50% 課題提出	40% 演習・発表	
課題に関するフィードバックの方法			課題用紙を返却し、学んだ内容や疑問点について考察するとともに、グループ討議や全体の場合において意見交流を行う。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	中学校教諭専修免許(数学) 高等学校専修免許(数学)					
		科目との関連	学校現場で数学科を担当した経験をもとに実践的な指導を行う。教科書選定委員として小学校「算数」の教科書を検証する。					
質問への対応			440研究室で対応する。					
資 格			[教]小1種_選択					
そ の 他			実際に算数や数学の問題に取り組む演習を多く取り入れる。自ら課題を解決することで、数学の面白さと日常生活への活用について関心を高めていることを期待する。「算数科指導法Ⅱ」を修得していることが望ましい。各自作成したレポートを返却し、学んだ内容を個人やグループで振り返り、まとめの講評を行う。					

科 目 名				理科指導法Ⅲ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		横山 光							
授 業 の 目 的	ねらい	小学校教育における、各学年の理科の目標や内容を理解し、自然体験や日常生活との関連を図った学習及び自然環境と人間との関わりなどの学習に重点を置いて、児童と同じような視点で自然や様々な現象に対する疑問をいただき、それを科学的に追求することの楽しさを分かち合える指導原理を学びます。模擬授業は、観察・実験の中で場面ごとに扱い、実践力を高めます。							
	到達目標	(1)各学年の理科の目標と内容を理解している。 (2)各学年で実施する観察・実験の方法や、留意点について理解している。 (3)子供の素朴概念を重視した、観察・実験や授業の構成をすることができる。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「理科概論」、「理科指導法Ⅰ」、「理科指導法Ⅱ」の内容を復習しながら、本講義にて扱う学習内容について概要を学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスで15回の流れを十分に確認しておくこと。また、これまでの講義で使用した教科書を用いて復習しておくこと。	L	第9回	【テーマ】模擬授業の計画(観察・実験の選定) 【計画内容】前時までに検討した観察・実験を含む授業について、領域、単元を決定し、模擬授業を行うための指導案を検討します。 【授業時間外の学修内容】簡単な指導案を事前に作成しておくこと。	B・H			
	第2回	【テーマ】児童の素朴概念を引き出す学び 【計画内容】自然事象に対する児童の素朴概念をどのように引き出し、主体的な学びへとつなげるか議論します。 【授業時間外の学修内容】事前に提示された単元に関して、児童がもつと思われる素朴概念の事例を調べておくこと。	H	第10回	【テーマ】模擬授業の計画(観察・実験の準備) 【計画内容】前時までに検討した観察・実験を含む授業について、模擬授業で行う観察・実験の準備をします。 【授業時間外の学修内容】簡単な指導案を事前に作成しておくこと。	C・H			
	第3回	【テーマ】児童の素朴概念を生かした観察・実験 【計画内容】自然事象に対する児童の素朴概念を生かした、主体的な観察・実験について学びます。 【授業時間外の学修内容】素朴概念をどのように観察・実験につなげていくか考察しておくこと。	C・H	第11回	【テーマ】模擬授業(エネルギー領域) 【計画内容】計画したエネルギー領域の観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【授業時間外の学修内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。	C・H			
	第4回	【テーマ】児童の素朴概念と科学的な思考 【計画内容】自然事象に対する児童の素朴概念を、どのように科学的な思考に移行させるのか、観察・実験を通して考えます。 【授業時間外の学修内容】事前に提示された観察・実験について、その方法を調べておくこと。	C・H	第12回	【テーマ】模擬授業(生命領域) 【計画内容】計画した生命領域の観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【授業時間外の学修内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。	C・H			
	第5回	【テーマ】観察・実験の検証(エネルギー領域) 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。	C・H	第13回	【テーマ】模擬授業(粒子領域) 【計画内容】計画した粒子領域の観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【授業時間外の学修内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。	C・H			
	第6回	【テーマ】観察・実験の検証(生命領域) 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。	C・H	第14回	【テーマ】模擬授業(地球領域) 【計画内容】計画した地球領域の観察・実験を含む模擬授業を実際に行い、その内容について検討します。 【授業時間外の学修内容】模擬授業に必要な観察・実験の準備をしておくこと。	C・H			
	第7回	【テーマ】観察・実験の検証(粒子領域) 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。	C・H	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本講義で扱った各領域のまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】本講義全体で使用した資料や記録、データを準備しておくこと。	F・H・L			
	第8回	【テーマ】観察・実験の検証(地球領域) 【計画内容】小学校理科で主に扱われる、観察・実験の展開方法について、既習事項を元に検証します。 【授業時間外の学修内容】該当する領域の観察・実験の手法について予習しておくこと。また、関連する素朴概念について復習しておくこと。	C・H						
テキスト		講義時に説明します。							
参 考 書		文部科学省、2018年『小学校学習指導要領解説 理科編』、東洋館出版社 講義時に説明します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			60%		40%			
	補 足			毎回の 授業レポート		討議内容			
課題に関する フィードバックの方法		毎時間提出のレポートをもとに、質問や改善点について次時に解説する。							
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	北海道内公立小・中学校勤務(1997～2011)、北海道立教育研究所附属理科教育センター研究 研修主事(2011～2014)						
		科目との関連	教育現場における理科教員の経験と、教員に対する研修経験を活かし、現場で生きる理科教育を伝えることができる。						
質問への対応		基本的に授業中での質疑を求めますが、Teamsのチャットによる質問等も随時受け付けます。							
資 格		[教]小1種_選択							
そ の 他		「理科概論」「理科指導法Ⅰ」「理科指導法Ⅱ」の受講後に受講するのが望ましいが、未履修者でも教師を目指す者の受講は可能。 観察、実験、模擬授業を通して、教師として必要な基礎的な素養を身につけて欲しい。							

科 目 名		生活科指導法Ⅲ		授業形態		講義		単 位 数		2	
教 員 名		西出 勉									
授 業 の 目 的	ねらい	生活科の改訂の趣旨や教科目標、内容について理解するとともに指導計画の作成や学習指導の進め方等について学びます。また、幼稚園等との連携や他教科等や総合的な学習の時間との関連について学びます。									
	到達目標	(1)生活科の教科目標や内容について理解することができる。 (2)指導計画の作成や内容の取扱い、学習評価等について理解し、学習指導案を作成することができる。 (3)スタートカリキュラムや幼稚園等との連携について理解することができる。 (4)生活科と他教科等や総合的な学習の時間との関連について理解することができる。 (5)カリキュラム・マネジメントの考え方を生かした授業改善の意義について理解することができる。									
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義の紹介、成績の評価方法、生活科の現状と課題等について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】他教科等との関連 【計画内容】生活科と他教科等との関連(合科的・関連的な指導)について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K					
	第2回	【テーマ】生活科の目指すもの 【計画内容】学習指導要領をもとに、改訂の経緯及び基本方針、生活科の改訂の趣旨及び要点について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】スタートカリキュラム 【計画内容】幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続する役割を担っているスタートカリキュラムについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K					
	第3回	【テーマ】生活科の教科目標及び内容 ① 【計画内容】生活科の教科目標の構成や趣旨、資質能力の三つの柱等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】幼稚園等との連携 【計画内容】幼稚園と小学校の連携・接続に関する教育活動の意義や生活科を中心とした指導計画の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K					
	第4回	【テーマ】生活科の教科目標及び内容 ② 【計画内容】生活科の内容構成の具体的な視点や構成要素、階層性について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K	第12回	【テーマ】総合的な学習の時間との関連 【計画内容】生活科と総合的な学習の時間との関連について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K					
	第5回	【テーマ】学習指導の進め方 ① 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において試行錯誤や繰り返す活動の設定を重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K	第13回	【テーマ】学習指導案の作成と学習評価 <模擬授業①> 【計画内容】生活科の評価計画を位置付けた学習指導案を作成し、検討します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K・H					
	第6回	【テーマ】学習指導の進め方 ② 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において伝え合い交流する場の設定を重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K	第14回	【テーマ】学習指導案の作成と学習評価 <模擬授業②> 【計画内容】生活科の学習指導案をもとに模擬授業を実施するとともに、授業改善の視点について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K・H					
	第7回	【テーマ】学習指導の進め方 ③ 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において振り返り表現する機会の設定を重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】講義の内容をふり返るとともに、今後の課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付した資料等について、理解を深めておくこと。	A					
	第8回	【テーマ】学習指導の進め方 ④ 【計画内容】教科書を活用し、学習過程において児童の多様性を生かし、学びをより豊かにすることを重視した学習指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A・K								
テキスト		講義時に説明します。									
参 考 書		文部科学省、2018年『小学校学習指導要領解説 生活編』、東洋館出版社 講義時に説明します。									
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他				
	配分補足			70% レポート		30%					
課題に関するフィードバックの方法		レポートの内容を振り返り、講義内容との関連について説明します。									
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	小学校教諭								
		科目との関連	小学校教諭としての業務経験をもとに、実務に即した指導を行う。								
質問への対応		随時、対応します。									
資 格		[教]小1種_選択									
そ の 他		「生活科指導法Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。									

科 目 名				図画工作科指導法Ⅲ		授業形態		講義		単 位 数		2	
教 員 名				湯浅 大吾									
授 業 の 目 的		ねらい		本講義では「図画工作指導法Ⅰ・Ⅱ」で学んだ理念や知識をもとに、さらに具体的に実技を通して実践力を高める。なお、この講義では実際に小学校で授業をすることを前提としているため「図画工作」の教科書にある題材を中心に取り組む。また学習指導要領に示されている材料・用具については重点的にとりあげる。さらに鑑賞についてはアートカードや対話による鑑賞も扱う。なお、これらの講義は対話的な深い学びを生み出すための方法論も取り入れていく。									
		到達目標		(1)図画工作の指導力を高める。 (2)子供の表現活動を円滑に行うための教育的技術を理解し向上させる。 (3)子供への造形教育が滞りなく行われるための技術の基礎を身につける。									
授 業 の 計 画		第1回		【テーマ】ガイダンス 【計画内容】受講に関する情報提供をする。 【授業時間外の学修内容】図書館で「図画工作」の教科書を見ておくこと。	A	第9回		【テーマ】教材研究⑧ 【計画内容】紙を用いた工作について学び実践する。 【授業時間外の学修内容】上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H				
		第2回		【テーマ】教材研究① 【計画内容】鉛筆・クレヨン・パステルを用いた描画について学び実践する。 【授業時間外の学修内容】上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H	第10回		【テーマ】教材研究⑨ 【計画内容】木材や粘土を用いた工作について学び実践する。 【授業時間外の学修内容】上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H				
		第3回		【テーマ】教材研究② 【計画内容】水彩絵の具を用いた描画について学び実践する。 【授業時間外の学修内容】上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H	第11回		【テーマ】教材研究発展：平面 【計画内容】これまでに学んだ技法を用いて(または効果的に組み合わせで)立体作品の制作を行う。 【授業時間外の学修内容】平面で表すという視点で「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H				
		第4回		【テーマ】教材研究③ 【計画内容】墨を用いた制作と考察を行う。 【授業時間外の学修内容】上記の画材に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H	第12回		【テーマ】教材研究発展：立体 【計画内容】これまでに学んだ技法を用いて(または効果的に組み合わせで)立体作品の制作を行う。 【授業時間外の学修内容】立体で表すという視点で「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H				
		第5回		【テーマ】教材研究④ 【計画内容】「対話による美術鑑賞」について実践的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】web サイト：鑑賞教育.jp を見ておくこと。	B・H	第13回		【テーマ】教材研究発展：造形遊び 【計画内容】教科書に載っている造形遊びに実際に取り組んでみる。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の「造形遊び」を見ておくこと。	B・H				
		第6回		【テーマ】教材研究⑤ 【計画内容】「アートカード」を用いた鑑賞学習について実践的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書で日本や世界の名画を見ておくこと。	B・H	第14回		【テーマ】作品鑑賞・発表会 【計画内容】これまで制作した作品や複製画などを用いた鑑賞会について。 【授業時間外の学修内容】「図画工作」の教科書の鑑賞や展示に関連する内容を見ておくこと。	B・H				
		第7回		【テーマ】教材研究⑥ モダンテクニック 【計画内容】スパッタリング・ドリップングを用いた制作と考察を行う。 【授業時間外の学修内容】上記の技法に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H	第15回		【テーマ】まとめ 【計画内容】まとめとレポート作成。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義をふりかえっておくこと。	L				
		第8回		【テーマ】教材研究⑦ モダンテクニック 【計画内容】マーブリング・デカルコマニー・フロッター・ジュ・パチック・スクラッチコラージュを用いた制作と考察を行う。 【授業時間外の学修内容】上記の技法に関連する「図画工作」の教科書を見ておくこと。	B・H								
テキスト		講義時に説明します。											
参 考 書		文部科学省、2018年、「小学校学習指導要領解説 図画工作編」、日本文教出版 講義時に説明します。											
成績評価の方法				筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他				
		配分				50%	30%	20%					
課題に関するフィードバックの方法		補足											
実務経験と授業の関連		該当		経 験 内 容	小学校教諭								
				科目との関連	小学校で30年間勤務。その間北海道造形教育連盟研究部長等を歴任し、幼・小・中学校における造形教育の研究を推進。全道の幼・小・中教員対象の研修会の講師の経験多数。								
質問への対応		2つの方法のいずれでもかまいません。 (1)講義終了時に声をかけてください。時間のかかるものは、相談に応じます。 (2)メールでの質問 E-Mail:yuasa@hokusho-u.ac.jp											
資 格		[教]小1種_選択											
そ の 他		図工や美術が好きなのはもちろん、苦手意識を持っている人もぜひ、受講してください。子どもが楽しく図工を学べるために。											

科 目 名		家庭科指導法Ⅲ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		木下 教子						
授 業 の 目 的	ねらい	小学校家庭科教育の意義や目標、指導内容、指導方法などについて学習する。豊かな教育観をもち、自ら学び、創造し行動できる優れた教師としての資質を養う。						
	到達目標	(1)家庭科の特質を理解して、児童に指導することができる。 (2)言語活動、観察、実験、問題解決的な学習を培う授業実践ができる。 (3)衣食住の生活において、日本の生活文化の大切さを育む授業実践ができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】家庭科における課題から、家庭科教育の指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】子どもたちの家庭での家事に携わる実態について調べる。	A	第9回	【テーマ】衣生活授業づくりの実践Ⅲ 【計画内容】「衣服の着用と手入れ」の実験を伴う資料の取扱いにおける授業研究と教材作成における研究。 【授業時間外の学修内容】ICTを活用し、マークやその意味を復習しておく。	D		
	第2回	【テーマ】身近な消費生活と環境 【計画内容】物を生かして快適に生活しよう 【授業時間外の学修内容】子どもたちの消費生活の課題について調べる。	A	第10回	【テーマ】家庭科と他教科、他内容との関連を図った授業の研究 【計画内容】消費生活・環境を中心に、児童の興味関心を継続させ、思考力を高める授業について、ICTを活用した教材を通じ研究する。 【授業時間外の学修内容】安全、快適、健康の視点から復習する。	A		
	第3回	【テーマ】環境教育 1 【計画内容】グループごとに環境教育のテーマを決めて、環境に配慮した生活の指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域や家庭の環境問題について調べる。	H	第11回	【テーマ】日常の食事と調理の基礎 【計画内容】食育と関連づけて行事食についての指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】年間の行事食について調べる。	A		
	第4回	【テーマ】環境教育 2 【計画内容】グループごとに食生活における環境教育の教材を作る。 【授業時間外の学修内容】環境に配慮した学校における取り組みを調べる。	H	第12回	【テーマ】行事食の調理計画を作成する 【計画内容】雑煮の作り方について、指導法及び板書計画の作成をする。 【授業時間外の学修内容】料理の調理作業、時間配分について考える。	D		
	第5回	【テーマ】環境教育 3 【計画内容】グループごとに冬の住生活における環境教育の教材を作る。 【授業時間外の学修内容】インターネット、図書館などで教材作りの資料を収集する。	H	第13回	【テーマ】郷土料理の調理実習 【計画内容】地域の郷土料理を作る。 【授業時間外の学修内容】だしのとり方、野菜の切り方などを確認する。	D		
	第6回	【テーマ】家庭科5・6年生の授業内容のふり返り 【計画内容】学習指導要領、食生活、衣生活、住生活分野の過去問を解く。 【授業時間外の学修内容】小学校家庭科 学習指導要領を読む。	A	第14回	【テーマ】家庭科の授業を通して家庭との連携をはかる 【計画内容】児童と親を対象に家庭科通信の作成をする。 【授業時間外の学修内容】家庭科で既習したことを児童が実践できる場を考える。	A		
	第7回	【テーマ】衣生活授業づくりの実践Ⅰ 【計画内容】衣生活「生活を豊かにするための布を用いた製作」における基礎基本の定着を重視した指導のポイントと教材研究。 【授業時間外の学修内容】手縫いやミシン縫いの基礎基本、用具の安全な取り扱いなど教科書を復習する。	A	第15回	【テーマ】講義のまとめと確認 【計画内容】これまでの学習をふり返り家庭科教育の課題をまとめる。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領、ノート、プリント等を復習する。	A		
	第8回	【テーマ】衣生活授業づくりの実践Ⅱ 【計画内容】題材計画と授業展開における支援の実践について安全指導における授業場面での演習を行う。 【授業時間外の学修内容】授業で使用した QR コードの活用について復習する。	D					
テキスト		浜島京子他、2020年、『新しい家庭5・6』、東京書籍、978-4-487-10590-8						
参 考 書		文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 家庭編』、東洋館出版社 プリントを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			80%		20%		
課題に関するフィードバックの方法		授業中に説明する。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	管理栄養士					
		科目との関連	管理栄養士の経験を活かして家庭科教育の指導方法を教授する。					
質問への対応		講義中に対応します。						
資 格		[教]小1種_選択						
そ の 他		高度情報化、少子高齢化、環境問題等への対応力を身につけるために、新聞等の資料で現実社会で起こっていることを把握してほしい。						

科 目 名		小学校教育研究Ⅲ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		二宮 孝行						
授 業 の 目 的	ねらい	変化の激しい教育現場での課題に向き合うために、具体的な場面を想定した対応策を調査したり議論したりする事を通して、教師としての指導力向上を目指します。						
	到達目標	(1)教育現場の課題を具体的に見いだすことができる。 (2)課題を解決する方策について、根拠をもった持論を展開することができる。 (3)討議によって、議論を深めることができる。 (4)実践によって、新しく視野を広げることができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】教育現場の課題の抽出 【計画内容】教育現場にどのような課題があるか、議論によって洗い出します。 【授業時間外の学修内容】事前に教育現場の現状について情報を集めておくこと。	H	第9回	【テーマ】教育現場の実際(英語・外国語活動) 【計画内容】英語・外国語活動の実践例について調べます。 【授業時間外の学修内容】英語・外国語活動について、事前学習をしておくこと。	A・L		
	第2回	【テーマ】教育現場の課題の絞り込み 【計画内容】教育現場にどのような課題があるか、議論によって洗い出し絞り込みます。 【授業時間外の学修内容】事前に教育現場の現状について情報を集めておくこと。	H	第10回	【テーマ】教育現場の課題(英語・外国語活動) 【計画内容】英語・外国語活動について、集団討議を行います。 【授業時間外の学修内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。	H		
	第3回	【テーマ】教育現場の実際(ICT 機器の活用法) 【計画内容】ICT 機器活用の実践例について調べます。 【授業時間外の学修内容】ICT 機器活用について、どの教科で活用可能か事前学習をしておくこと。	A・L	第11回	【テーマ】教育現場のあり方(英語・外国語活動) 【計画内容】英語・外国語活動のあり方について、グループワークでまとめたことを発表・討議します。 【授業時間外の学修内容】発表する課題について、事前準備をしておくこと。	F		
	第4回	【テーマ】教育現場の実際(ICT 機器の活用法) 【計画内容】ICT 機器活用方法について、集団討議を行います。 【授業時間外の学修内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。	H	第12回	【テーマ】教育現場の実際(NIE の取り組み) 【計画内容】NIE の実践例について調べます。 【授業時間外の学修内容】NIE について、どの教科で活用可能か事前学習をしておくこと。	A・L		
	第5回	【テーマ】教育現場の実際(ICT 機器の活用法) 【計画内容】ICT 機器活用方法について、グループワークでまとめたことを・討議します。 【授業時間外の学修内容】発表する課題について、事前準備をしておくこと。	F	第13回	【テーマ】教育現場の課題(NIE の取り組み) 【計画内容】NIE の取り組みについて、集団討議を行います。 【授業時間外の学修内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。	H		
	第6回	【テーマ】教育現場の実際(プログラミング学習) 【計画内容】プログラミング学習の実践例について調べます。 【授業時間外の学修内容】プログラミング学習について事前学習をしておくこと。	A・L	第14回	【テーマ】教育現場のあり方(NIE の取り組み) 【計画内容】NIE の取り組みについて、グループワークでまとめたことを発表・討議します。 【授業時間外の学修内容】発表する課題について、事前準備をしておくこと。	F		
	第7回	【テーマ】教育現場の実際(プログラミング学習) 【計画内容】プログラミング学習について、集団討議を行います。 【授業時間外の学修内容】討議する課題について、事前学習をしておくこと。	H	第15回	【テーマ】発表会・まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義で扱った教育現場の課題について、あらためてまとめたものをグループごとに発表する。 【授業時間外の学修内容】発表内容を整理し、準備しておくこと。	F・L		
	第8回	【テーマ】教育現場の実際(プログラミング学習) 【計画内容】プログラミング学習について、グループワークでまとめたことを発表・討議します。 【授業時間外の学修内容】発表する課題について、事前準備をしておくこと。	F					
テキスト		プリントを使用します。						
参 考 書		講義に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50% プレゼン テーション内容		50% グループワーク の参加姿勢		
課題に関する フィードバックの方法		自由討論の場面を設け、その場で学生の質問に回答する。また発表の場面を設け、コメントを行う。						
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	小学校教諭					
		科目との関連	小学校教諭の経験をもとに実践的な指導について教授する。					
質問への対応		随時対応します。						
資 格								
そ の 他		初等教育コースの選択科目です。集団討議等を繰り返し、教育問題について視野を広げます。 講義中、調査したり発表したりする場面があります。ノートP C、タブレットを持参すること。						

科 目 名		幼児教育研究Ⅲ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		工藤 ゆかり						
授 業 の 目 的	ねらい	保育現場に絵本の存在は欠かせません。絵本を保育者が読み聞かせることになり、子どもは耳で言葉を聞きながら目で絵本の絵を楽しみ、イメージの世界を広げて想像力をはたかせます。子どもの育ちのために絵本を効果的に保育に取り入れるための絵本の選書の在り方、読み聞かせの実践力、絵本から生活や遊びへ展開する実践力を身に付けることを目的として学びを進めます。						
	到達目標	(1)保育の中の絵本の意義や価値について理解する (2)様々な絵本を読み、遊びや生活に応じた選書する力を身に付ける (3)絵本の読み聞かせ実践力を身に付ける (4)絵本から生活や遊びへ展開する実践力を身に付ける						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第1回 保育の中の絵本の意義や価値について理解する 第2回 0・1・2歳児向けの絵本を選び、選書のポイントについて交流する 第3回 0・1・2歳児向けの絵本の読み聞かせ実践 第4回 0・1・2歳児向けの絵本の選書と読み聞かせのあり方のふり返りと評価 第5回 3歳児向けの絵本の選び方、選書のポイントについて交流する 第6回 3歳児向けの絵本の読み聞かせ実践 第7回 4歳児向けの絵本の選び方、選書のポイントについて交流する 第8回 4歳児向けの絵本の読み聞かせ実践 第9回 5歳児向けの絵本の選び方、選書のポイントについて交流する 第10回 5歳児向けの絵本の読み聞かせ実践 第11回 3・4・5歳児向けの絵本の選書と読み聞かせのあり方のふり返りと評価 第12回 絵本から生活や遊びへの展開の実践紹介 第13回 絵本から生活や遊びへの展開を考える 第14回 絵本から生活や遊びへの展開案の交流① 第15回 絵本から生活や遊びへの展開案の交流② 【授業時間外の学修内容】 様々な絵本を読んでおくこと							A・B・L
テキスト		浅木 尚美、2016年、『絵本から学ぶ子どもの文化』、同文書院、9784810314397						
参 考 書		文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、9784577814475 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説』、フレーベル館、9784577814482 内閣府、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、9784577814499						
成績評価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足		50%	50%				
課題に関する フィードバックの方法		読み聞かせ、保育実践案については、実践後に評価します。						
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	幼稚園教諭・幼児教育担当指導主事					
		科目との関連	幼稚園教諭・幼児教育担当指導主事の経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応		授業中・授業後に質問を受けます。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		こどもの理解と援助			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		狩野 信也						
授 業 の 目 的	ねらい	この授業では、乳幼児の定型発達と非定型発達について学習します。その後、「こども理解」のための多様な視点や方法について理解し、様々な事例を通して、保育の場における援助の仕方について体験的に学びます。また、保育現場のVTRを下に、保育士の環境設定や働きかけによりどのような力を身に付けたか、また、保育現場で直面する問題も取り上げ、どのように解決していったらよいかを協同で学習します。						
	到達目標	(1)こども理解と評価を通じた保育実践について理解できる。 (2)こどもの発達(定型発達・非定型発達)と発達理解に基づいた保育実践について理解を深めることができる。 (3)生活と遊びを通して学ぶこどもの経験や学習の過程を理解できる。 (4)保育における発達援助について理解し、具体的な対応ができる。 (5)幼小の円滑な接続における課題や就学に向けての支援について理解できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】個人差に応じたこども理解と、保育士がもちたいこども観 【計画内容】8回の授業展開と到達目標について説明します。その後、保育における幼児理解について理解を深めると共に、幼児を理解する時に保育士が陥りやすい認知バイアスの存在と修正について、具体的な事例や体験を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストを復習してください。					A・B・C・H	
	第2回	【テーマ】乳幼児期の認知発達の理解と園生活における社会性の発達について 【計画内容】乳幼児期の言語発達、知的発達、社会性の発達、情動の発達について事例を通して学び、今まで学んだ乳幼児の発達についての知識を整理します。 【授業時間外の学修内容】参考図書を読んでおくにより理解が深まります。					A・J・H・K	
	第3回	【テーマ】幼児の発達を促すための実践例と事例研究を通じたこども理解について 【計画内容】S町にあるNこども園の実践例を下に、計画的・意図的な保育実践の大切さやこどもの活動を促す環境構成について学びます。その後、様々な保育の場面を下に、保育士がどのような働きかけをしたら良いか、また、どんな声かけをしたらよいかを考えます。 【授業時間外の学修内容】参考図書を読んでおくにより理解が深まります。					B・H・J・K	
	第4回	【テーマ】幼児の障がいと発達についての理解 【計画内容】発達障がいや愛着障がいについて事例を通して理解し、保育の場においてどのように気づき、どのように支援を行い、どのように関係機関につなげていくかを学びます。 【授業時間外の学修内容】参考図書を読んでおくにより理解が深まります。					A・H・J	
	第5回	【テーマ】こどもや親への具体的ななかかわり方について 【計画内容】傾聴技法やアサーションスキルトレーニングを通して、こどもや親へのかかわり方の具体的な技法を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストを復習したり、実際に学んだことを試してみてください。					E・H・N	
	第6回	【テーマ】発達援助のための考え方、援助の仕方 【計画内容】実際の保育の場面をVTRで視聴した後、保育士の援助の仕方について学びます。また、学びの過程を通して、どのような力が身についてきたかを見取り、非認知的能力の大切さについて考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストを復習してください。					B・H・J	
	第7回	【テーマ】発達しょう害やその疑いがあるこどもへの具体的ななかかわり方や援助の仕方について 【計画内容】具体的な事例を通して発達障がいやその疑いがある子への具体的ななかかわり方や援助の仕方について考えます。 【授業時間外の学修内容】参考書を読んでおくにより理解が深まります。					A・F・H・J	
	第8回	【テーマ】発達の連続性を意識した保育実践の考え方と、こども理解と援助についての振り返り 【計画内容】小学校への円滑な接続のための基礎知識や課題、発達障がいやその疑いのある子への移行支援について学びます、その後、授業全体の振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】全8回のテキストを復習しておいてください。					A・B・L	
テキスト		狩野信也、2020年、自作テキスト改訂版						
参 考 書		無藤隆、2008年、『幼児の心理と保育』、ミネルヴァ書房、4-623-03428-5191 菊野春雄編著、2016年、『乳幼児の発達臨床心理学』、北大路書房、978-4-7628-2937-6						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補 足	50%		30%		20%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	こども園園長、こども発達相談センター所長、児童指導員、発達相談員、発達検査員、小学校校長・教諭、公認心理師					
		科目との関連	今までの経験を下に、実践的な事例などを下に指導します。					
質問への対応		講義の終末または合間の休憩時間に指導します。						
資 格		[教]保育士_必修						
そ の 他								

科 目 名			こどもの食と栄養			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			木下 教子						
授 業 の 目 的	ねらい	小学校家庭科教育の意義や目標、指導内容、指導方法などについて学習する。豊かな教育観をもち、自ら学び、創造し行動できる優れた教師としての資質を養う。							
	到達目標	(1)家庭科の特質を理解して、児童に指導することができる。 (2)言語活動、観察、実験、問題解決的な学習を培う授業実践ができる。 (3)衣食住の生活において、日本の生活文化の大切さを育む授業実践ができる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】家庭科における課題から、家庭科教育の指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】子どもたちの家庭での家事に携わる実態について調べる。	A	第9回	【テーマ】衣生活授業づくりの実践Ⅲ 【計画内容】「衣服の着用と手入れ」の実験を伴う資料の取扱いにおける授業研究と教材作成における研究。 【授業時間外の学修内容】ICTを活用し、マークやその意味を復習しておく。	D			
	第2回	【テーマ】身近な消費生活と環境 【計画内容】物を生かして快適に生活しよう 【授業時間外の学修内容】子どもたちの消費生活の課題について調べる。	A	第10回	【テーマ】家庭科と他教科、他内容との関連を図った授業の研究 【計画内容】消費生活・環境を中心に、児童の興味関心を継続させ、思考力を高める授業について、ICTを活用した教材を通じ研究する。 【授業時間外の学修内容】安全、快適、健康の視点から復習する。	A			
	第3回	【テーマ】環境教育 1 【計画内容】グループごとに環境教育のテーマを決めて、環境に配慮した生活の指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域や家庭の環境問題について調べる。	H	第11回	【テーマ】日常の食事と調理の基礎 【計画内容】食育と関連づけて行事食についての指導法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】年間の行事食について調べる。	A			
	第4回	【テーマ】環境教育 2 【計画内容】グループごとに食生活における環境教育の教材を作る。 【授業時間外の学修内容】環境に配慮した学校における取り組みを調べる。	H	第12回	【テーマ】行事食の調理計画を作成する 【計画内容】雑煮の作り方について、指導法及び板書計画の作成をする。 【授業時間外の学修内容】料理の調理作業、時間配分について考える。	D			
	第5回	【テーマ】環境教育 3 【計画内容】グループごとに冬の住生活における環境教育の教材を作る。 【授業時間外の学修内容】インターネット、図書館などで教材作りの資料を収集する。	H	第13回	【テーマ】郷土料理の調理実習 【計画内容】地域の郷土料理を作る。 【授業時間外の学修内容】だしのとり方、野菜の切り方などを確認する。	D			
	第6回	【テーマ】家庭科5・6年生の授業内容のふり返り 【計画内容】学習指導要領、食生活、衣生活、住生活分野の過去問を解く。 【授業時間外の学修内容】小学校家庭科 学習指導要領を読む。	A	第14回	【テーマ】家庭科の授業を通して家庭との連携をはかる 【計画内容】児童と親を対象に家庭科通信の作成をする。 【授業時間外の学修内容】家庭科で既習したことを児童が実践できる場を考える。	A			
	第7回	【テーマ】衣生活授業づくりの実践Ⅰ 【計画内容】衣生活「生活を豊かにするための布を用いた製作」における基礎基本の定着を重視した指導のポイントと教材研究。 【授業時間外の学修内容】手縫いやミシン縫いの基礎基本、用具の安全な取り扱いなど教科書を復習する。	A	第15回	【テーマ】講義のまとめと確認 【計画内容】これまでの学習をふり返り家庭科教育の課題をまとめる。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領、ノート、プリント等を復習する。	A			
	第8回	【テーマ】衣生活授業づくりの実践Ⅱ 【計画内容】題材計画と授業展開における支援の実践について安全指導における授業場面での演習を行う。 【授業時間外の学修内容】授業で使用した QR コードの活用について復習する。	D						
テキスト		浜島京子他、2020年、『新しい家庭5・6』、東京書籍、978-4-487-10590-8							
参 考 書		プリントを使用します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			80%		20%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法		授業中に説明する。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	管理栄養士						
		科目との関連	管理栄養士の経験を活かして家庭科教育の指導方法を教授する。						
質問への対応		講義中に対応します。							
資 格		[教]保育士_必修							
そ の 他		高度情報化、少子高齢化、環境問題等への対応力を身につけるために、新聞等の資料で現実社会で起こっていることを把握してほしい。							

科 目 名			保育の計画と評価		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			丸谷 雄輔					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義の目的は、現代社会の中で求められる幼児教育の意義や幼稚園、保育所、認定こども園の在り方について理解を深めると共に、社会情勢の変化等に伴い、地域に根差した幅広い保育実践の在り方が求められる保育現場の現状と課題を把握し、幼児教育の実践について幅広い観点から学びことを目指します。 また、教職員の研修や自己研鑽と保育者の人間性や専門性の向上についても理解を深め、園の運営やクラス経営をどのように対応したらよいかについても考察していきます。						
	到達目標	(1)幼児教育の意義について理解する。 (2)遊びの本質と保育者の役割について理解する。 (3)保育現場の現状と課題について理解する。 (4)家庭・地域との連携について理解する。 (5)保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 保育の仕事を考える 【計画内容】 保育の仕事と保育者の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第9回	【テーマ】 保育実践を学ぶ(1) 【計画内容】 多様な保育実践を知り、保育の視野を広げる。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H		
	第2回	【テーマ】 新しい時代に求められる幼児教育(1) 【計画内容】 幼児教育の歴史と未来について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第10回	【テーマ】 学びを深める園内研修 【計画内容】 保育の質向上を支える保育者間の連携・協働について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H		
	第3回	【テーマ】 新しい時代に求められる幼児教育(2) 【計画内容】 幼児教育と小学校教育の違いについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第11回	【テーマ】 保育実践を学ぶ(2) 【計画内容】 多様な保育実践を知り、保育の視野を広げる。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H		
	第4回	【テーマ】 遊びを中心とした保育実践 【計画内容】 幼稚園教育要領について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第12回	【テーマ】 保育実践を支える家庭との連携 【計画内容】 子どもの育ちを共有し、支えてもらう役割について考える。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H		
	第5回	【テーマ】 子どもの育ちを支えるデイリープログラム 【計画内容】 自由遊びと設定活動についての意図を理解し、園生活の一日を知る。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第13回	【テーマ】 地域と繋がる保育実践 【計画内容】 子どもの育ちを支える地域の環境資源について考える。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H		
	第6回	【テーマ】 教育課程と指導計画 【計画内容】 保育実践の質を支える全体的な計画の必要性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第14回	【テーマ】 子どもの育ちを繋げる幼小の接続 【計画内容】 幼児期の育ちと小学校以降の教育との関係性について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H		
	第7回	【テーマ】 保育の振り返りと記録 【計画内容】 保育の質向上を支える記録の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H	第15回	【テーマ】 保育者としてのキャリアアップ(授業のまとめと振り返り) 【計画内容】 保育現場の中でのキャリアアップイメージを理解し、質の高い保育者の資質・能力について考える。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H		
	第8回	【テーマ】 保育環境の重要性 【計画内容】 子どもの姿に合わせた環境の意義について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】 他の教科書等と照らし合わせながら講義内容を振り返ること。	A・H					
テキスト		講義時に説明します。						
参 考 書		文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			70%		30%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	幼稚園園長					
		科目との関連	幼稚園園長の経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応		授業前後の時間に対応する。その他必要に応じて個別対応有り。						
資 格		[教]保育士_必修						
そ の 他								

科目名		障害児保育		授業形態		演習		単位数		2	
教員名		神田 英治									
授業の目的	ねらい	障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学ぶとともに、障害乳幼児の早期発見・早期療育について、乳幼児の発達検査等を活用して、運動、生活、対人関係、遊び、言語活動などの発達診断と評価、発達予測を行い、生育歴や養育環境を考慮した個々のよりよい指導実践に役立つ知識を学びます。また、視覚障害、聴覚・言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱・虚弱、情緒障害、発達障害、重度・重複障害の幼児の指導事例から、障害児保育の指導の実際、指導上の配慮と工夫について理解を深めます。社会的養護を通して、家庭支援や児童家庭福祉等について理解し、また保育相談支援の実際についても理解を深めます。									
	到達目標	(1)障害乳幼児の歴史の変遷及び地域での包摂について学び、早期発見・早期療育について理解する。特に、北海道の聴覚障害乳幼児療育事業や盲・聾学校幼稚園における早期教育相談と早期教育の概要を理解する。 (2)発達検査の活用方法・内容を学び、発達診断・評価から発達予測を行い、指導計画の作成について理解する。 (3)視覚障害、聴覚・言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱・虚弱、情緒障害、発達障害、重度・重複障害の幼児の指導事例から、障害児保育の指導の実際、指導上の配慮と工夫について理解を深める。 (4)文部科学省の特別支援学校幼稚園教育要領について学び、幼稚園の教育の基本、教育の目標、教育課程の編成、ねらい及び内容等、指導計画の作成を理解する。 (5)厚生労働省の改訂保育所保育指針について理解するとともに、社会的養護内容と保育士等の倫理、保育相談支援の実際について学ぶ。また、幼保連携型こども園教育・保育要領の子育て支援についても学びます。									
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス及び講義内容の考え方について 【計画内容】障害児保育を支える理念や歴史の変遷及び地域での包摂について学び、「気になる子ども」の障害の疑いについての理解と障害児保育の指導と諸課題について、全体像を説明し、15回の講義展開を具体的に説明します。また、講義内容の各人の考え方を発表し、検討・考察します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。講義内容の考え方に関する質問紙を配付・回収し、発表する。	A・F・K	第9回	【テーマ】病弱・身体虚弱の子ども(てんかん児も含む)の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について 【計画内容】病弱・身体虚弱幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F					
	第2回	【テーマ】「気になる子ども」の行動や生活の様子と障害の疑いに関する理解について 【計画内容】「気になる子ども」の行動や生活の様子と障害の疑いから、早期発見・早期療育について学びます。特に発達検査の活用方法・内容について理解を深め、実践的な指導に応用する力を養います。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F	第10回	【テーマ】落ち着きのない子ども(発達障害:注意欠陥多動性障害 ADHD)、人のかかりが気になる子ども(発達障害:自閉症スペクトラム障害 ASD)、学習につまずきの子ども(発達障害:学習障害 LD)の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について 【計画内容】注意欠陥・多動性障害、自閉症、学習障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F					
	第3回	【テーマ】視覚障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について 【計画内容】視覚障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。特に、北海道の盲学校における早期教育相談・早期療育について理解します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F	第11回	【テーマ】文部科学省の特別支援学校幼稚園教育要領について(幼稚園教育要領も参考) 【計画内容】文部科学省の特別支援学校幼稚園教育要領について学び、幼稚園の教育の基本、教育の目標、教育課程の編成、ねらい及び内容等、指導計画の作成を理解します。また、幼稚園教育要領との比較・検討も行い理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト及び配付したプリントを読んでおくこと。	A					
	第4回	【テーマ】聴覚障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について 【計画内容】聴覚障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。特に、北海道の聴覚障害乳幼児療育事業と聾学校における早期教育相談・早期療育について理解します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F	第12回	【テーマ】厚生労働省の改訂保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説について 【計画内容】厚生労働省の改訂保育所保育指針について理解するとともに、社会的養護内容と保育士等の倫理、保育相談支援の実際について学びます。また、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の新制度の子育て支援についても学びます。放課後児童クラブについても理解を深めます 【授業時間外の学修内容】テキスト及び配付したプリントを読んでおくこと。	A・F					
	第5回	【テーマ】言語障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導ー特に言語発達遅滞についてー 【計画内容】言語障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導。特に、最も多い言語発達遅滞について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F	第13回	【テーマ】発達検査法ー遠城寺式乳幼児分析的発達検査法改訂新版についてー 【計画内容】心身障害児を取り巻く保育・幼児教育について理解し、臨床面接観察法による実態把握、発達に影響する親の養育態度と養育環境、発達臨床心理検査の一つとしての遠城寺式乳幼児分析的発達検査法改訂新版についての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト及び配付したプリントを読んでおくこと。	B・E F・H					
	第6回	【テーマ】発達全般に遅れのある子ども(知的障害)について 【計画内容】言語発達遅滞幼児の障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F	第14回	【テーマ】発達検査法の結果と考察、発達診断と障害予測についてー遠城寺式乳幼児分析的発達検査法改訂新版ー 【計画内容】発達検査を活用した障害乳幼児の早期発見・早期療育並びに発達予測、指導方法について理解するとともに、検査の評価・分析の実際も事例を通して学びます。また、乳幼児の発達映像からその発達時期と行動分析の特徴を学び、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト及び配付したプリントを読んでおくこと。	B・F・H					
	第7回	【テーマ】発達全般に遅れのある子ども(知的障害)の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について 【計画内容】知的障害幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・F	第15回	【テーマ】発達検査法の実技演習課題のまとめ 【計画内容】発達検査を活用した障害乳幼児の早期発見・早期療育並びに発達予測、事例方法について、実際の事例を通して再確認し、学習の習熟度調査をします。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリント等を再確認しておくこと。	B・F・H					
	第8回	【テーマ】体の動かし方が気になる子ども(運動障害:肢体不自由)の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について 【計画内容】運動障害(肢体不自由)幼児の早期発見と早期療育並びに障害特性と指導について学びます。また、具体的な指導のポイントについても理解を深めます。更に、重度・重複障害の医療的ケアについても学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読んでおくこと。	A・B・E・F								
テキスト		遠城寺宗徳ほか、2009年、『遠城寺式乳幼児分析的発達検査法改訂新装版』、慶應義塾大学出版会、978-4-76641-6213 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館、978-4-57781-4482 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館、978-4-57781-4499 厚生労働省、2017年、『放課後児童クラブ運営指針解説書』、フレーベル館、978-4-57781-4277									
参考書		文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚園教育要領 / 小学部・中学部学習指導要領』、海文堂出版、978-4-30312-4243 村井憲男ほか、2001年、『「気になる子ども」の保育と育児』、福村出版、978-4-57112-0961 徳田克己ほか、1997年、『ハンディのある子どもの保育ハンドブック』、福村出版、978-4-57112-0886 前田泰弘ほか、2019年、『実践に生かす障害児保育・特別支援教育』、萌文書林、978-4-89347-326-4									
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他				
	配分			60%		40%					
課題に関するフィードバックの方法		障害児保育に関する考え方や指導方法・内容、乳幼児の発達臨床並びに発達診断と障害との関係などについて、学生自らが思考・類推する能力を発揮できるように、教科書や参考資料から検討・考察させるように提示し、指導する。									
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	国立特殊教育研究所研究員、道立特殊教育センター研究員、室長、盲学校・聾学校・養護学校教諭、教頭(早期教育相談)、校長、札幌市子ども育成課巡回相談員、厚生労働省指定一放課後児童指導員都道府県認定資格研修・講師								
		科目との関連	実務経験をともに、障害児の早期発見・療育等の実際を教授する。								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。 E-Mail: dosankookenda@siren.ocn.ne.jp									
資格		[教]保育士_必修									
その他		幼児教育コース専門科目です。今年度は、コロナ禍による面接授業ができない場合、実際の臨床面接観察法や発達検査法の実技演習が困難になります。実技演習は、レポート提出に替える場合もあるので、ご理解ください。現場に行った時の障がい有する乳幼児への対応や支援について、しっかり学んでほしいと思っています。お互いに顔の見える講義になることを心から祈念しています。講義テキストの遠城寺式乳幼児分析的発達検査法(改訂新装版)は必携ですから、必ず購入すること。									

科 目 名	保育実習Ⅱ				授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名	工藤 ゆかり、市原 純、岡 健吾							
授 業 の 目 的	ねらい	保育所の機能、役割について、現場での具体的な実践を通して学ぶ。 既習科目や「保育実習Ⅰ」での学びを踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。保育士の業務内容や職業倫理、子どもへのかかわりや援助の方法を学ぶ。 子どもの発達過程や個々の状況に基づいた保育の計画、観察、記録、自己評価を行い、保育者となるための自己の課題を明確にすることを到達目標とする。						
	到達目標	(1)保育所、児童福祉施設等の役割や機能をより実践的、具体的に理解する。 (2)子どもの観察やかかわりを通して子どもへの理解をより一層深める。 (3)子どもの心身の発達状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について具体的な保育実践に即して理解を深める。 (4)保育の計画や支援計画、観察、記録及び自己評価等について実践的、具体的に理解する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 ○実習施設と実習期間 ・実習施設と実習期間については、保育所実習において10日間である。 ○実施時期と実習施設 ・実施時期は、9月の期間を基本とし、実習する施設については、受け入れ施設と大学が協議のうえ決定する。 ○保育所(園)実習の内容(「保育実習Ⅰ」の実習成果や課題をさらに深めるものであること。) 1. 子どもの観察や援助活動(かかわり)を通して子どもへの理解を深める。 2. 子どもの発達過程に基づいた保育・教育の計画や「領域」ごとの保育内容について理解する。 3. 保育所の生活を理解し、保育の内容や活動を通して、保育所の役割と機能について学ぶ。 4. 保育・教育課程と子どもの観察、記録、省察・自己(他者)評価やチームワークなどについて理解する。 5. 現場の実習を通して、専門職としての保育士に期待される役割と職業倫理について理解する。 【授業時間外の学修内容】 実習にかかわるテキストや資料を熟読し、より高い自己課題を持って臨むこと。							D
テキスト	相浦雅子ほか、2020年、『ワークシートで学ぶ保育所実習』、同文書院							
参 考 書	プリントや参考資料等を配付し使用します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			40%			60%	
	補 足			事前の課題提出			実習施設の 評価・実習日誌	
課題に関する フィードバックの方法								
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事					
		科目との関連	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに指導する。					
質問への対応	実習中の学生への対応は、随時訪問指導、面談、電話、メール等により対応します。							
資 格	[教]保育士_選必							
そ の 他	「保育実習Ⅱ」履修者は、実習を開始する前に「保育原理」「保育内容総論」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」を履修しておく必要があります。							

科 目 名		保育実習Ⅲ			授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		工藤 ゆかり、市原 純、岡 健吾						
授 業 の 目 的	ね ら い	児童福祉施設等の機能、役割について、現場での具体的な実践を通して学びます。 既習科目や「保育実習Ⅰ」での学びを踏まえ、子どもの保育等や保護者支援について総合的に学びます。 保育士の業務内容や職業倫理、子どもへのかかわりや援助の方法を学びます。 子どもの発達過程や個々の状況に基づいた保育の計画、観察、記録、自己評価を行い、保育者としての自己の課題を明確にすることを到達目標とします。						
	到達目標	(1)児童福祉施設等の役割や機能をより実践的、具体的に理解する。 (2)子どもの観察やかかわりを通して子どもへの理解をより一層深める。 (3)子どもの心身の発達状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について具体的な保育実践に即して理解を深める。 (4)保育の計画や支援計画、観察、記録及び自己評価等について実践的、具体的に理解する。						
授 業 の 計 画		【計画内容】 ○実習施設と実習期間 ・実習施設と実習期間については、児童福祉施設等実習において10日間である。 ○実施時期と実習施設 ・実施時期は8～9月の期間を基本とし、実習する施設については、受け入れ施設と大学が協議のうえ決定する。 ○児童福祉施設等における実習の内容(「保育実習Ⅰ」の実習成果や課題をさらに深めるものであること。) 1. 子どもの観察と、ひとり一人の発達の違いに応じた援助やかかわりを通し、子どもへの理解を深める。 2. 子どもの心身の状況に基づいた養護の内容や援助支援などの養護技術について理解する。 3. 児童福祉施設の生活を理解し、施設の役割と機能について学ぶ。 4. 児童福祉施設等における支援計画、記録、考察・自己(他者)評価やチームワーク等について理解する。 5. 現場の実習を通して、専門職としての保育士に期待される役割と職業倫理について理解する。 【授業時間外の学修内容】 実習にかかわるテキストや資料を熟読し、より高い自己課題を持って臨むこと。						D
テキスト		和田上貴昭・那須信樹・原孝成、2020年、『ワークシートで学ぶ施設実習』、同文書院、978-4-8103-1494-6						
参 考 書		プリントや参考資料等を配付し、使用します。						
成績評価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			40%			60%	
	補 足			事前の 課題提出			実習施設の 評価・実習日誌	
課題に関する フィードバックの方法								
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事					
		科目との関連	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに指導する。					
質問への対応		実習中の学生への対応は、随時訪問指導、面接、電話、メール等により対応します。						
資 格		[教]保育士_選必						
そ の 他		「保育実習Ⅲ」履修者は、実習を開始する前に「保育原理」「保育内容総論」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習Ⅰ」「保育実習指導Ⅲ」を履修しておく必要があります。						

科 目 名		保育実習指導Ⅱ		授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		工藤 ゆかり、市原 純、岡 健吾					
授 業 の 目 的	ねらい	「保育実習Ⅰ」の成果や課題を踏まえ、保育現場での自己の学びを振り返り、他の実習生の学びの報告から自己評価を行います。自らの新たな課題を整理し学習目標を明確にするとともに、「保育実習Ⅱ」に向けて課題解決のための取り組みを行います。現代の保育を取り巻く状況や多様な保育形態を知り、これからの保育者に求められる資質・能力や保育所の課題について考えることができることを到達目標とします。					
	到達目標	(1)実習での自己の学びを振り返る(自己評価)するとともに、新たな課題や学習目標を明確にする。 (2)他の実習生の報告から多様な保育の現状を把握し、今後の保育者に求められる資質・能力や保育所の課題を考えることができる。 (3)「保育実習Ⅱ」に向けて自己課題に取り組む。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】改めて保育所での実習の意義や目的について確認し、「保育実習Ⅱ」の概要を把握し、実習計画全体について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】責任実習の計画立案～0・1・2歳児の保育～ 【計画内容】0・1・2歳児の実態をとらえ、保育を計画する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B	
	第2回	【テーマ】実習での学びの振り返り①～実習経験の自己の振り返り 【計画内容】自らの実習経験を振り返り、成果と課題を整理する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・L	第10回	【テーマ】責任実習の計画発表～0・1・2歳児の保育～ 【計画内容】互いの保育計画を交流し合い、自分の保育の質を高め、同時に幅も広げる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B	
	第3回	【テーマ】実習での学びの振り返り②～実習経験の自己の振り返り 【計画内容】自らの実習経験を振り返り、成果と課題を整理し報告資料としてまとめる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・L	第11回	【テーマ】責任実習の計画立案～3・4・5歳児の保育～ 【計画内容】3・4・5歳児の実態をとらえ、保育を計画する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・L	
	第4回	【テーマ】保育所実習報告① 【計画内容】他者の報告を踏まえ、自己の振り返りについて見直し、整理する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・F	第12回	【テーマ】責任実習の計画発表～3・4・5歳児の保育～ 【計画内容】互いの保育計画を交流し合い、自分の保育の質を高め、同時に幅も広げる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・L	
	第5回	【テーマ】保育所実習報告② 【計画内容】他者の報告を踏まえ、多様な保育展開があることに気づき、子ども理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・F	第13回	【テーマ】今日的な保育所保育の現状と課題 【計画内容】今日的な保育所保育の現状と課題について話し合う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・L	
	第6回	【テーマ】保育所実習報告③ 【計画内容】他者の報告を踏まえ、多様な保育展開があることに気づき、子ども理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・F	第14回	【テーマ】「保育実習Ⅱ」の計画立案 【計画内容】「保育所実習Ⅱ」に向けて自らの課題を整理しながら、保育実習の計画を立案する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B・L	
	第7回	【テーマ】保育所実習報告④ 【計画内容】他者の報告を踏まえ、保育所保育の課題について考える。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義の振り返りとともに、実習生に求められる社会的責務と責任ある行動や自己の実習課題を理解し、意欲的に実習に臨むことができる意識の涵養を図る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	A・B・L	
	第8回	【テーマ】保育実習Ⅱの計画立案 【計画内容】自己課題を再構築し、保育実習Ⅱの計画を立案する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】資料等の事前学習や指示された課題に取り組んでおくこと。	B				
テキスト		相浦雅子・那須信樹・原孝成、2020年、『ワークシートで学ぶ保育所実習』、同文書院、978-4-8103-1493-9					
参 考 書		プリントや参考資料等を配付し使用します。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			40% 指導案・課題提出		20%	40% 保育参観
課題に関するフィードバックの方法		課題やレポートは適宜返却し、指導する。再提出を求めることもある。					
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事				
		科目との関連	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに授業を展開する。				
質問への対応		初回講義時に説明します。					
資 格		[教]保育士 選必					
そ の 他							

科 目 名			保育実習指導Ⅲ		授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			工藤 ゆかり、市原 純、岡 健吾					
授 業 の 目 的	ねらい	「保育実習Ⅲ」の意義と目的を理解し、「保育実習Ⅰ」及び既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得します。さらに、保育士の専門性と職業倫理についても理解する。事後指導をととして実習の総括を行い、保育に関する課題を明確にします。						
	到達目標	(1)「保育実習Ⅰ」での自己の学びを振り返り、既習科目と関連付け、新たな課題や学習目標を明確にする。 (2)他の実習生の報告から、多様な保育の展開や課題を把握し、保育者になる自分に求められる資質・能力や保育所に求められる課題を考えることが出来る。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】保育所での実習の意義と目的について確認し、「保育実習Ⅲ」の概要を把握し、実習計画全体について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「考え、実践する施設実習」に目を通しておくこと。	A	第9回	【テーマ】様々な児童福祉施設等の理解① 【計画内容】様々な児童福祉施設等の種類及びそれぞれが果たす役割について調べ学習を通して理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A・B		
	第2回	【テーマ】実習での学びのふり振り返り① 【計画内容】自己の実習経験を振り返り、成果と課題を整理する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「保育実習Ⅰ」の施設実習の日報を読んでおくこと。	A・L	第10回	【テーマ】様々な児童福祉施設等の理解② 【計画内容】様々な児童福祉施設等での保育士の役割について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A・B		
	第3回	【テーマ】実習での学びのふり振り返り② 【計画内容】自らの実習経験を振り返ったものを基に、同じような課題をもつ仲間との協議を通して、課題を明確にし、課題解決の方法を探る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「保育実習Ⅰ」での成果と課題をまとめておくこと。	B・H	第11回	【テーマ】様々な児童福祉施設等の理解③ 【計画内容】児童福祉施設等について調べたことを全体に発表し、協議することで理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	F		
	第4回	【テーマ】実習での学びのふり振り返り③ 【計画内容】明確になった課題の解決に向けて、文献学習、グループ協議を通して取り組む。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題解決に関する文献等を読んでおくこと。	B	第12回	【テーマ】養護計画 【計画内容】社会的養護施設における養護の在り方について考え、養護計画を考える。(全教員) 【授業時間外の学修内容】社会的養護施設の果たすべき役割を理解しておくこと。	A・B		
	第5回	【テーマ】実習での学びのふり振り返り④ 【計画内容】課題の解決の在り方を協議し、相手に分かりやすいプレゼンテーションの準備を進める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題解決に関する文献等を読んでおくこと。	B	第13回	【テーマ】支援計画 【計画内容】障害児・者施設における支援の在り方について考え、支援計画を考える。(全教員) 【授業時間外の学修内容】障害児・者施設の果たすべき役割を理解しておくこと。	A・B		
	第6回	【テーマ】実習での学びのふり振り返り⑤ 【計画内容】実習での学びを振り返りて明確になった課題の解決の在り方を発表し、全体で協議することを通して、多様な保育の展開や保育所の課題を知る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題解決に取り組んだプレゼンテーションを準備しておくこと。	F	第14回	【テーマ】児童福祉施設等の現状と課題及び保育士の果たすべき役割(全教員) 【計画内容】児童福祉施設等の今日的課題について理解する。また、プライバシーの保護と守秘義務、保育士の職業倫理について学び、実習生としての実習時に対する心構えや態度について考える。(全教員) 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A・B		
	第7回	【テーマ】「保育実習Ⅲ」の実習計画① 【計画内容】「保育実習Ⅲ」の課題の明確化と実習全体計画を作成する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「保育実習Ⅲ」の実習の概要について理解しておくこと。	A・B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義の振り返りとともに、自己の実習課題及び実習生としての心構えや態度について理解し、意欲的に実習に望む意識を持つ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「保育実習Ⅲ」の実習日報を整えておくこと。	B・L		
	第8回	【テーマ】「保育実習Ⅲ」の実習計画② 【計画内容】自己課題を基に、実習生調書を作成する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「保育実習Ⅲ」にて取り組みたいことを明確にしておくこと。	A・B					
テキスト		和田上貴昭・那須信樹・原孝成、2020年、『ワークシートで学ぶ施設実習』、同文書院、978-4-8103-1494-6						
参 考 書		浦田雅夫、2015年、『考え、実践する施設実習』、保育出版社、978-4-905493-16-7						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		30%	70%				
	補 足		課題解決プレゼンテーション					
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事					
		科目との関連	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに授業を展開する。					
質問への対応		授業中・授業後に質問を受けます。						
資 格		[教]保育士_選必						
そ の 他								

科 目 名			保育実践演習		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			工藤 ゆかり、市原 純、岡 健吾					
授 業 の 目 的	ねらい	これまでに学習した保育関係科目及び「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での経験を通して学び得たことを振り返り、自身の成果と課題を明確にします。その上で、これからの保育者に求められる資質・能力を再確認し、自己課題に対する取り組みの方法を検討します。グループ討論やプレゼンテーションによる事例研究や教材研究など、アクティブラーニング的な学習により、これらの課題を達成することを目指します。						
	到達目標	(1)自らの学びを振り返り、保育士として身に付けておくべき知識や技能を習得したことを確認することができる。 (2)保育に関する今日的な動きについて把握し、その背景や今後の方向性について相互に検討したり、複眼的に理解することができる。 (3)子どもだけでなく、保育士仲間や保護者、地域の人々などと良好な人間関係を築くために、問題解決の対応や判断方法を考察することができる						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】「保育実践演習」の内容と意義について理解する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】実習報告会の準備② 【計画内容】実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどのプレゼンテーションの在り方を考え、作成する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 プレゼンテーションの在り方について、自分の考えをまとめておくこと。	H・F		
	第2回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のふり振り返り？ 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」をふり振り返り、実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどを考える。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 実習日誌に目を通しておくこと。	A・L	第10回	【テーマ】実習報告会？ 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での課題解決型学習のまとめをプレゼンテーションする。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 プレゼンテーションの準備をしておくこと。	F		
	第3回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のふり振り返り② 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」をふり振り返り、実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどをレポートにまとめる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 実習日誌に目を通しておくこと。	L・B	第11回	【テーマ】実習報告会② 【計画内容】実習先保育所・施設の特徴、実習課題と評価・反省、実習で取り組んだこと・学んだこと、これから実習する人へのアドバイスなどをプレゼンテーションする。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 プレゼンテーションの準備をしておくこと。	F		
	第4回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のふり振り返り？ 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」をふり振り返り、自己課題に対する取り組みと残る課題について理解し、ワークシートにまとめる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 自身の実習課題を確認し、成果と課題をまとめておくこと。	L・B	第12回	【テーマ】保育者としてのマナーと常識 【計画内容】子どもの最善の利益を守ることのできる保育者としての基本マナーと常識について、演習を通して身に付ける。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 保育者としてのマナーや常識について、調べ学習を行っておくこと。	A・B		
	第5回	【テーマ】季節に合わせた保育活動の実践 【計画内容】秋の自然物を活かした保育活動を考え、実践する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 秋の自然物を活かした保育活動について調べ学習を行っておくこと。	E	第13回	【テーマ】こども家庭福祉とは 【計画内容】保育士が行う児童家庭福祉について考え、保育士の役割について理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 社会福祉、こども家庭福祉、こども家庭支援の心理学等の科目を振り返り、考えをまとめておく。	A・B		
	第6回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のふり振り返り④ 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」をふり振り返り、課題が共通する仲間と話し合い、課題解決の方法を考える。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 保育実習を振り返り、課題を明確にしておくこと。	H	第14回	【テーマ】子どもの言葉や感性を育てる保育現場での絵本の活用の在り方 【計画内容】子どもの情操、意欲、生活態度、自主性、行動力、探究心、思考力、表現力を育む絵本を選定し、実際に読み聞かせを行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 自分が読み聞かせる絵本を選定しておくこと。	F		
	第7回	【テーマ】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のふり振り返り？ 【計画内容】「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」をふり振り返り、課題解決に向けて調べ学習を行い、エビデンスに基づく解決方法を導き出す。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 課題解決にかかわる文献・資料を収集しておくこと。	H	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】これまでの内容をふり振り返り、改めて保育士になることの意識と役割を確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 第14回までの授業内容を確認しておくこと。	A・L		
	第8回	【テーマ】実習報告会の準備① 【計画内容】課題解決型学習のまとめを行い、効果的なプレゼンテーションの在り方について検討し、作成する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】 プレゼンテーションの在り方について、自分の考えをまとめておくこと。	H・F					
テキスト		厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館、978-4-577-81423-9 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説』、フレーベル館、978-4-577-81448-2 内閣府、2017年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館、978-4-577-81424-6 内閣府、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館、978-4-577-81449-9						
参 考 書		文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』、フレーベル館、978-4-577-81422-2 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、978-4-577-81448-2						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		20%	40%			40%	
	補 足		音楽遊び・絵本の読み聞かせ	演習			グループワーク・発表	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事					
		科目との関連	工藤ゆかり / 幼稚園教諭、幼児教育担当指導主事の経験をもとに授業を展開する。					
質問への対応		オフィスアワー						
資 格		[教]保育士_必修						
そ の 他		演習、グループワークなど実践的な学習を含みますので積極的に受講して下さい。						

科 目 名		学校保健組織活動論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		島瀬 史子						
授 業 の 目 的	ねらい	養護教諭として、どのように学校における保健組織活動を進めていけばよいでしょうか。本講義では、学校保健組織活動を実践的に展開できるような能力を養います。						
	到達目標	(1)学校における保健組織活動の内容が理解できる。 (2)学校における連携の具体的な方法を提示できる。 (3)学校保健組織活動を組織的に展開できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・学校保健組織活動とは何か 【計画内容】学校保健の領域について考え、学校保健組織活動の意義を理解します。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L	第9回	【テーマ】学校保健組織活動⑧栄養教諭との連携 【計画内容】よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、栄養教諭との連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L		
	第2回	【テーマ】学校保健組織活動①校内における校務分掌 【計画内容】校内における校務分掌について理解し、効果的な連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L	第10回	【テーマ】学校保健組織活動⑨特別支援教育コーディネーターとの連携 【計画内容】よりよい保健管理を進める上で特別支援教育コーディネーターとの連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L		
	第3回	【テーマ】学校保健組織活動②校内における各種委員会 【計画内容】学校内における各種委員会(アレルギー対策委員会、いじめ・不登校対策委員会等)について、具体的に学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L	第11回	【テーマ】学校保健組織活動の実際① 【計画内容】問題行動の児童生徒に関わる連携について検討します 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L		
	第4回	【テーマ】学校保健組織活動③学校保健委員会 【計画内容】学校保健委員会について、具体的に学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L	第12回	【テーマ】学校保健組織活動の実際② 【計画内容】発達障害の問題を抱える児童生徒に関わる連携について検討します。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L		
	第5回	【テーマ】学校保健組織活動④地域学校保健委員会 【計画内容】地域学校保健委員会について、具体的に学びます。 【授業時間外の学修内容】『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L	第13回	【テーマ】学校保健組織活動の実際③ 【計画内容】虐待の問題を抱える児童生徒に関わる連携について検討します。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L		
	第6回	【テーマ】学校保健組織活動⑤学校三師との連携 【計画内容】よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、学校三師との連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L	第14回	【テーマ】学校保健組織活動の実際④ 【計画内容】身体的健康課題を抱える児童生徒に関わる連携について検討します。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L		
	第7回	【テーマ】学校保健組織活動⑥スクールカウンセラーとの連携 【計画内容】よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、スクールカウンセラーとの連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L	第15回	【テーマ】まとめと確認・学校保健組織活動について 【計画内容】学校保健組織活動について学んだことを振り返り、まとめます。また、学習不足の点や自己課題について把握します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめをして臨みます。	A・G・L		
	第8回	【テーマ】学校保健組織活動⑦スクールソーシャルワーカーとの連携 【計画内容】よりよい学校保健組織活動を進めるうえで、スクールソーシャルワーカーとの連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読んで臨みます。	A・B・F・H・L					
テキスト	学校保健・安全実務研究会、2020年、『新訂版 学校保健実務必携』、第一法規 三木とみ子、2018年、『新訂 養護概説』、ぎょうせい							
参 考 書	プリントを使用します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50%		50%		
課題に関するフィードバックの方法	課題は、添削して返却します。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	養護教諭、学校保健担当指導主事、高等学校教頭					
		科目との関連	養護教諭、学校保健担当指導主事、高等学校教頭の経験に基づく授業を展開する。					
質問への対応	オフィスアワーを活用してください。							
資 格								
そ の 他								

科 目 名				保健室経営演習Ⅰ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名				島瀬 史子					
授 業 の 目 的	ねらい	学校教育において、養護教諭は保健室経営を円滑に進めるため、どのような目標や計画を立て、実践しているのでしょうか。本演習では、保健室経営について、実践の基本となる理論に重点を置き、体験的に学びます。							
	到達目標	(1)保健室経営経営計画に関し、健康課題に基づいた計画を立てることができる。 (2)保健室経営を効果的に進めることができるような具体的な方法を示すことができる。 (3)保健室経営の評価の観点および評価方法を検討し、示すことができる。 (4)養護実践の視点から保健室経営を行うことが理解できる。							
	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・保健室経営とは何か 【計画内容】これまでの学習をもとに、保健室経営と学校経営の関係について確認する。 【授業時間外の学修内容】保健室経営と学校経営に関係について調べ、整理しておく。	A・B・F・H・L	第9回	【テーマ】保健室経営における保健情報の収集について学ぶ 【計画内容】保健室経営における子どもの健康課題解決のための保健情報の内容や方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第2回	【テーマ】保健室の機能と役割について検討し、保健室経営計画の必要性について理解する 【計画内容】保健室の機能と役割について理解を深め、具体的にどのようなことかを検討し明らかにする。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第10回	【テーマ】保健室経営における健康相談活動について学ぶ 【計画内容】保健室経営における子どもの健康情報の収集から連携までを含めた健康相談活動について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学習指導要領』をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
授 業 の 画	第3回	【テーマ】保健室経営の根拠となる法律や答申について考える 【計画内容】保健室経営の根拠となる審議会答申や学校保健法についてよく理解し、保健室経営に必要な養護教諭の資質能力を検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第11回	【テーマ】保健室経営におけるカウンセリングの機能を活かした健康相談活動について学ぶ 【計画内容】 カウンセリングの機能を健康相談に活かし、児童生徒理解を深める方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第4回	【テーマ】保健室経営における救急処置について学ぶ 【計画内容】保健室で行う、救命および悪化防止のための救急処置、軽度の傷病に対する救急処置について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第12回	【テーマ】保健室経営における組織活動について学ぶ 【計画内容】保健室経営における関係者との連携の具体的な方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第5回	【テーマ】保健室経営における健康診断について学ぶ 【計画内容】保健室経営における健康診断実施要領の立案のための視点等について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第13回	【テーマ】保健室経営計画の実践について学ぶ 【計画内容】これまでに学んだことを活かして、保健室経営計画を作成し、児童生徒の健康課題の解決に向けた取り組みや保健室経営目標等について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第6回	【テーマ】保健室経営における環境衛生について学ぶ 【計画内容】保健室経営における日常の環境衛生の内容や方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第14回	【テーマ】保健室経営の評価の方法について考える 【計画内容】保健室経営について、学校教育として評価されるための評価の観点や方法等について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第7回	【テーマ】保健室経営における保健教育について学ぶ 【計画内容】保健教育の目標や展開、評価について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第15回	【テーマ】まとめと確認・保健室経営を円滑に進めるために 【計画内容】保健室経営について学んだことを振り返り、まとめる。また、自己課題について把握し、課題解決の方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめ、自己の学習を省察して臨む。	A・B・F・G・H・L			
	第8回	【テーマ】保健室経営における個別の保健指導について学ぶ 【計画内容】保健室経営における個別の指導の内容や方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L						
テキスト		学校保健・安全実務研究会、2020年、『新訂版 学校保健実務必携』、第一法規 三木とみ子、2018年、『新訂 養護概説』、ぎょうせい							
参 考 書		講義時に説明します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足			50% 課題プリント 提出		50% 発表等			
課題に関する フィードバックの方法		課題は、添削して返却します。							
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	養護教諭、学校保健担当指導主事						
		科目との関連	養護教諭、学校保健担当指導主事の経験に基づく授業を展開する。						
質問への対応		オフィスアワーを活用してください。							
資 格									
そ の 他									

科 目 名			保健室経営演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			島瀬 史子						
授 業 の 目 的	ねらい	学校教育において、養護教諭は保健室経営を円滑に進めるため、どのような目標や計画を立て、実践のためにどのような工夫をしているのでしょうか。 本演習では、保健室経営の充実を図るための養護教諭としての具体的な役割について、体験的に学びます。							
	到達目標	(1)保健室経営計画に関し、目標や計画を立て、実践の手だてを具体的に示すことができる。 (2)保健室という場を生かして、養護教諭の専門性を発揮することができる。 (3)効果的な保健室経営のために、組織的な学校保健活動を進めることができる。 (4)効果的な保健室経営のために、具体的に工夫することができる。 (5)効果的な保健室経営のための文書管理を行うことができる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・保健室経営とは何か 【計画内容】保健室経営について学習を深め、校種別の効果的な保健室経営について確認する。 【授業時間外の学修内容】保健室の機能や役割について調べ、整理しておく。	A・B・H・L	第9回	【テーマ】中学校における効果的な保健室経営 【計画内容】中学校の養護教諭の執務を理解するとともに、効果的な保健室経営の実践について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第2回	【テーマ】ほけんだよりを使用しての保健室経営について考える 【計画内容】ほけんだよりを作成し、保護者や児童生徒に保健室経営について周知することについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第10回	【テーマ】高等学校における効果的な保健室経営 【計画内容】高等学校の養護教諭の執務を理解するとともに、効果的な保健室経営の実践について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第3回	【テーマ】掲示物を使用しての保健室経営について考える 【計画内容】保健室経営に必要な掲示物を作成し、検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第11回	【テーマ】特別支援学校における効果的な保健室経営 【計画内容】特別支援学校の養護教諭の執務を理解するとともに、効果的な保健室経営の実践について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第4回	【テーマ】導線を意識した保健室経営を考える 【計画内容】養護教諭の導線を考え、子どもが来室したときを想定し、保健室の配置について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第12回	【テーマ】各校種における効果的な保健室経営の実践 【計画内容】各校種における効果的な保健室経営の実践で学んだことを活かし、校種に応じた取り組みについて検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第5回	【テーマ】効果的な保健室経営のための健康相談活動のあり方について学ぶ(1) 【計画内容】効果的な保健室経営のための健康相談活動コーナーの設置について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第13回	【テーマ】効果的な保健室経営の実践(1) 【計画内容】これまで学んだことを活かし、保健室経営計画を立案する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第6回	【テーマ】効果的な保健室経営のための健康相談活動のあり方について学ぶ(2) 【計画内容】効果的な保健室経営のための健康相談活動の実践について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L・N	第14回	【テーマ】効果的な保健室経営の実践(2) 【計画内容】前回の保健室経営計画の発表を振り返り、ポスターにまとめて発表する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』や『学校保健実務必携』をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L			
	第7回	【テーマ】効果的な保健室経営のための文書管理(1) 【計画内容】保健室に必要な文書管理について学び、実際の文書作成を体験するとともに、文書の保管について検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】保健室経営について学んだことを振り返り、まとめる。また、自己課題について把握し、課題解決のための方法について検討する。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を振り返り、全体のまとめ、自己の学習を省察して臨む。	A・G・H・L			
	第8回	【テーマ】効果的な保健室経営のための文書管理(2) 【計画内容】保健室に必要な文書管理について学び、実際の文書作成を体験するとともに、文書のファイリングについて検討する。 【授業時間外の学修内容】『養護概説』等をよく読み、臨む。	A・B・F・H・L						
テキスト		学校保健・安全実務研究会、2020年、『新訂版 学校保健実務必携』、第一法規 三木とみ子、2018年、『新訂 養護概説』、ぎょうせい							
参 考 書		講義時に説明します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			50%		50%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法		課題は、添削して返却します。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	養護教諭、学校保健担当指導主事						
		科目との関連	養護教諭、学校保健担当指導主事の経験に基づく授業を展開する。						
質問への対応		オフィスアワーを活用してください。							
資 格									
そ の 他									

科 目 名		教職実践演習(養護教諭)		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		今野 洋子、野口 直美					
授 業 の 目 的	ねらい	大学4年間で学習知および経験知と、養護実習等で培われた実践力や指導力の教育実践知とのさらなる統合を図り、使命感や責任感に裏打ちされた実践的指導力を有する教員としての資質向上を図る。					
	到達目標	(1)教育的愛情を基盤とした使命感や責任感ある養護教諭としての資質が身についている。 (2)社会の一員としての社会性や人間関係調整能力が身についている。 (3)児童生徒の理解に立った保健室経営を実践する能力が身についている。 (4)地域や学校の特性、児童生徒の実態を踏まえた保健教育に関する指導力が身についている。 (5)学校保健の要として機動的な組織運営のためのコーディネート力やマネジメント力が身についている。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション：学びの軌跡を確認する(履修カルテ) 【計画内容】3年次までに獲得した教職員としての力量、養護教諭としての専門性等についてふりかえり、自己評価を行います。その上で、本講義で獲得すべき資質能力について理解し、さらなる実践力育成のための目標を設定します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの自分の学習の成果をまとめておきます。	A・B	第9回	【テーマ】保護者との連携：保護者からの相談場面を想定し討議を通してモデルプランを立てる 【計画内容】保護者からの相談場面を想定し、保護者との信頼関係を確立し、互いに協力しあえるような相談内容や方法について検討します。事例提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事例提供グループは相談の上、授業の準備をします。また、保護者からの相談や要望について調べ、授業に臨みます。	B	
	第2回	【テーマ】現代の教育課題：調査した内容を発表しグループ討論を行う 【計画内容】現代の教育課題について理解を深め、課題解決のための方法について考察します。日本の教育課題について、背景と要因、現状について調べ、レポートにまとめたものをもとに、グループで討論します。グループ討論の内容は、全体で共有します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】現代の教育課題について、視点を定め、レポートにまとめて授業に臨みます。	B	第10回	【テーマ】スクールカウンセラーとの連携：現職のスクールカウンセラーの講話および質疑応答を行う 【計画内容】現職のスクールカウンセラーからの講話を通じ、教職員として、また養護教諭としてどのように連携すればよいか考えます。また、質疑応答の中で、さらに考えを深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】スクールカウンセラーの先生にお聞きしたいことをまとめて、授業に臨みます。	B	
	第3回	【テーマ】児童生徒の発達段階に応じた特性の理解：事例をもとに討論を行う 【計画内容】児童生徒の発達段階に応じた特性を理解し、どのように支援をすればよいか、討論します。事例提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。事例をもとに討議し、解決に向けての支援を考えます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事例提供グループは相談の上、事例を用意します。また、児童生徒の発達段階の特性について調べ、授業に臨みます。	B	第11回	【テーマ】栄養教諭との連携：栄養教諭と養護教諭の実践事例について学び討論を行う 【計画内容】栄養教諭と養護教諭との連携について、どのように協力すればよいか、実践事例から学び、検討します。栄養教諭を招いての講話、学校訪問による学習も計画しています。(全教員) 【授業時間外の学修内容】栄養教諭について調べ、まとめておきます。	B	
	第4回	【テーマ】保健室登校の課題：保健室登校についてディベートを行う 【計画内容】ディベートを通じ、保健室登校の教育的意義について、また、養護教諭の保健室経営の観点から、保健室登校にどう取り組むべきか、考えを深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】保健室登校の事例について調べ、具体的な支援や課題について理解した上で授業に臨みます。	B	第12回	【テーマ】模擬学校保健委員会：健康診断の結果提示を中心にロールプレイングを行う 【計画内容】健康診断の結果を保護者や地域にどう発信し、協働していくか、模擬学校保健委員会を通じ、学習を深めます。提案内容は、グループが担当します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】提案担当グループは相談の上、授業の準備をします。また、学校保健委員会について調べ、授業に臨みます。	B	
	第5回	【テーマ】模擬児童生徒保健委員会：児童生徒保健委員会への指導場面を想定しロールプレイングを行う 【計画内容】健康課題解決のための児童生徒保健委員会の取り組みと、養護教諭としての指導について考え、体験的に学びます。課題提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題提供グループは相談の上、課題を用意します。また、児童生徒保健委員会の取り組みについて調べ、授業に臨みます。	B	第13回	【テーマ】模擬授業2：地域の特性や保護者の願い、専門家の活用等を生かした保健指導を行う 【計画内容】地域の特性や保護者の願い、専門家の活用等を生かした保健指導を企画し、模擬授業を行います。保健指導の実践や評価を通じ、深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】提案担当グループは相談の上、授業の準備をします。	B	
	第6回	【テーマ】模擬学年会：他の教師との学年会を想定しロールプレイングを行う 【計画内容】児童生徒への支援のために、他の教師とどのように共通理解をし、どのように協働していくか、体験的に学びます。課題提供については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】課題提供グループは相談の上、課題を用意します。また、各分掌など学校の組織について調べ、授業に臨みます。	B	第14回	【テーマ】養護教諭の研修：現職の養護教諭の研修会に参加するフィールドワークを行う 【計画内容】現職養護教諭の研修会に参加させてもらい、養護教諭の研究課題や研究動向について学習を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】研修とは何か、教職員または養護教諭にとっての研究の意義を調べておきます。	B	
	第7回	【テーマ】模擬職員会議：健康診断の事後措置についての提案場面を想定しロールプレイングを行う 【計画内容】職員会議において、養護教諭として健康診断の事後措置について提案する場面を想定し、体験的に学習を深めます。提案内容については、グループが担当となり、資料を用意して提示します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】提案担当グループは相談の上、課題を用意します。また、健康診断について調べ、授業に臨みます。	B	第15回	【テーマ】まとめとふりかえり 【計画内容】本講義をふりかえり、獲得した資質能力や実践力について、自己評価を行います。また、さらに高めるためにどのようにすべきか、検討します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習をふりかえり、資質能力について自己評価を行い、まとめておきます。	A・B	
	第8回	【テーマ】模擬授業1：養護教諭の専門性を生かした保健学習を行う 【計画内容】兼職発令されたと仮定し、養護教諭による保健学習を行い、授業体験・授業評価を通じ、養護教諭の専門性を生かした保健学習について検討します。授業担当グループを決め、授業を展開します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】授業担当グループは相談の上、授業の準備をします。また、兼職発令および保健学習について調べ、授業に臨みます。	B				
テキスト		文部科学省、『学習指導要領』 学校保健・安全実務研究会、2009年、『学校保健実務必携』、第一法規、978-4-474-05673-2 三木とみ子、2009年、『養護概説』、ぎょうせい、978-4-324-08594-3					
参 考 書		『教育小六法』、第1回の講義のときに一覧表を提示します。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート		平時	
課題に関するフィードバックの方法		毎回のワークシート・課題は添削の上、返却します。最終レポート課題は、「本演習で身についた養護教諭としての資質能力および養護教諭としての自己課題」とします。					
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	今野洋子、野口直美 / 養護教諭				
		科目との関連	今野洋子、野口直美 / 養護教諭の経験に基づく実践演習の展開ができる。				
質問への対応		オフィスアワーおよび講義の前後を大いに活用してください。					
資 格		[教]養教1種_必修					
そ の 他		教職としての実践力を高められるよう意欲的に授業に臨みましょう。 免許状取得に必要な当該科目以外のすべての科目を修得済み、あるいは修得見込みであること。 遅刻・欠席は認めません。					

科 目 名		養護教諭教育研究Ⅲ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		今野 洋子、斉藤 ふくみ						
授 業 の 目 的	ねらい	養護教諭が養成・研修を通し、生涯学び続けていくためにはどのような資質能力が必要でしょうか。本講義では、「養護教諭教育研究Ⅰ・Ⅱ」に引き続き、生涯学び続けられる養護教諭の基礎となる研究能力について体験的に学びます。特に、本講義では、研究発表の具体的な方法について学びます。						
	到達目標	(1)生涯学び続けるための研究能力を向上させる。 (2)研究に必要な資質能力を獲得する。 (3)研究発表に必要な知識・技能を高める。 (4)研究発表のための抄録の作成ができる。 (5)効果的な研究発表ができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・本学習での目標設定・研究について学ぶ 【計画内容】本学習での自己の目標設定を行い、研究について理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「養護教諭教育研究Ⅰ・Ⅱ」の復習をして臨む。	A・G・L	第9回	【テーマ】抄録の書き方を学ぶ(3) 【計画内容】作成した抄録を検討し、理解を深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】抄録を修正して臨む。	A・G・L		
	第2回	【テーマ】論文構成について学ぶ(1) 【計画内容】論文構成について確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自分の卒業研究の目次を作成して臨む。	A・G・L	第10回	【テーマ】研究発表の仕方を学ぶ(1) 【計画内容】研究発表のパワーポイントの作り方を学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでに作成したパワーポイントを復習して臨む。	A・G・L		
	第3回	【テーマ】論文構成について学ぶ(2) 【計画内容】学術論文として構成されているか、確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】文献をよく読んで臨む。	A・G・L	第11回	【テーマ】研究発表のパワーポイントの作り方を学ぶ(2) 【計画内容】効果的なパワーポイントの作り方を体験的に学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】パワーポイントを作成して臨む。	A・G・L		
	第4回	【テーマ】要旨について学ぶ(1) 【計画内容】論文の要旨は、どのようなことを記述すればよいか構成について知る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】論文の要旨をよく読んで臨む。	A・G・L	第12回	【テーマ】研究発表のパワーポイントの作り方を学ぶ(3) 【計画内容】効果的なアニメーションについて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】パワーポイントを作成して臨む。	A・G・H・L		
	第5回	【テーマ】要旨について学ぶ(2) 【計画内容】要旨の作成を通し、体験的に学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】要旨を作成して臨む。	A・G・L	第13回	【テーマ】研究発表のパワーポイントの使い方を理解する(4) 【計画内容】作成したパワーポイントを検討する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】パワーポイントを作成して臨む。	A・G・H・L		
	第6回	【テーマ】要旨について学ぶ(3) 【計画内容】要旨を検討し、学びを深める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】要旨を修正して臨む。	A・G・L	第14回	【テーマ】研究発表の討議について理解する 【計画内容】研究発表で討議の時間にそなえて準備することを学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】抄録・パワーポイント・発表原稿を作成して臨む。	A・G・L		
	第7回	【テーマ】抄録の書き方を学ぶ(1) 【計画内容】卒業研究の抄録の構成について学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】卒業研究抄録集をよく読んで臨む。	A・G・L	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】学んだことを振り返ってまとめる。(全教員) 【授業時間外の学修内容】研究発表に必要なものを全て作成して臨む。	A・G・L		
	第8回	【テーマ】抄録の書き方を学ぶ(2) 【計画内容】卒業研究の抄録を書き、体験的に学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】抄録を書いて臨む。	A・G・L					
テキスト		講義時に説明します。						
参 考 書		各種学会誌等						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50% 最終レポート・ 授業時の課題作成		50% 発表等		
課題に関する フィードバックの方法		ワークシート・課題は添削の上、返却します。						
実務経験と 授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義時間やオフィスアワーを活用してください。						
資 格								
そ の 他		卒業研究に役立ちます。養護教諭を目指す学生にとって有意義な科目です。						

科 目 名		合奏Ⅲ		授業形態		演習		単 位 数		2	
教 員 名		千葉 圭説									
授 業 の 目 的	ねらい	吹奏楽形態による「合奏」を通じ、チューニングや音階、バランス、ハーモニーなど合奏としての基本トレーニング方法について学ぶと共に、合奏指導力の向上を目指す。同時に技術的に平易な楽曲練習を通じ、楽曲演奏に必要な基本トレーニングの効果的な方法についても学びながら、合奏における個人やパートの役割、特に打楽器の役割を意識し合奏として一体感のある演奏表現を目指す。また学校現場での合奏方法についても経験、学ぶ。									
		(1)合奏指導力向上のためのポイントを理解する。 (2)個人及びアンサンブルとしての基本的な練習方法が身につく。 (3)個人やパートの役割を理解し一体感をもって演奏できる。									
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】30回の授業概要説明、担当楽器及びパート、チューニングなど基礎的な奏法を確認する。 【授業時間外の学修内容】各自選択する楽器について、奏法の基本及び手入れ方法を確認しておくこと。	B・E	第16回	【テーマ】後学期での授業について 【計画内容】後学期での授業内容と演奏発表の確認 【授業時間外の学修内容】前学期の内容を復習しておくこと。	B・E					
	第2回	【テーマ】合奏における個々人の役割を学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)を通じ、合奏における個々人の役割について確認する。 【授業時間外の学修内容】音階など基本トレーニングを確認しておくこと。	B・E	第17回	【テーマ】合奏における個々人の役割を学ぶ 【計画内容】前期での復習として教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)を通じ、合奏における個々人の役割について確認する。 【授業時間外の学修内容】音階など基本トレーニングを確認しておくこと。	B・E					
	第3回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低い楽曲を使用した合奏により、個人の役割に加えパートとしての役割について確認する。 【授業時間外の学修内容】基本トレーニングの音階を練習し、楽曲との調関係を確認しておくこと。	B・E	第18回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低い楽曲を使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】音階など基本トレーニングを確認しておくこと。	B・E					
	第4回	【テーマ】個人及びパートの役割を認識し、個人の演奏技術の安定化を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低い楽曲を使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】自分が担当する楽器の奏法について、基礎基本を確認しておくこと。	B・E	第19回	【テーマ】合奏におけるパートとしての役割を学ぶ？ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低から中程度の楽曲を使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B・E					
	第5回	【テーマ】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低い楽曲を使用した合奏により、個人はもとよりパートとしての演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】基本トレーニング(バランスとハーモニー)を練習しておくこと。	B・E	第20回	【テーマ】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低から中程度の楽曲を合奏におけるパートとしての役割を学ぶ 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階・ハーモニーなど)と難易度の低から中程度の楽曲を使用した合奏により、個人の奏法をチェックしながら演奏技術の安定化を目指す。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B・E					
	第6回	【テーマ】各グループで、アクティブ・ラーニングの活用により、合奏における役割に合った演奏表現を目指す。 【計画内容】楽器群に分かれて教則本を利用した基本トレーニング(音階など)と難易度の低い楽曲を使用した合奏により、役割に合った演奏表現ができるよう演奏技術の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】奏法の基礎基本を見直し個人練習をしておくこと。	B・E	第21回	【テーマ】各グループで、アクティブ・ラーニングの活用により、合奏における役割に合った演奏表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B・E					
	第7回	【テーマ】各グループで、アクティブ・ラーニングの活用により成果を生かし、豊かなハーモニーの響きを目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の低い楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】ハーモニー練習を意識し、音程に注意した練習をしておくこと。	B・E	第22回	【テーマ】後期中間発表により、これまでの学習成果を確認する。 【計画内容】演奏会形式による後期中間発表 【授業時間外の学修内容】基本を重視し、より安定した演奏ができるよう準備しておくこと。	B・E					
	第8回	【テーマ】中間発表により、これまでの学習成果を確認する。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニングと難易度の低い楽曲を使用した合奏を発表し、これまでの学習成果について自己点検を行い自分の考えを発表する。 【授業時間外の学修内容】基礎基本を重視し、より安定した演奏ができるよう準備しておくこと。	B・E	第23回	【テーマ】合奏曲の演奏表現において、打楽器との一体感ある演奏を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏の基本トレーニングと難易度の低い楽曲を使用した合奏練習において、低音楽器や打楽器の役割を意識し、一体感のある演奏ができるための方法を考える。 【授業時間外の学修内容】バランスとハーモニーの練習により、パートとして演奏技術の安定化を目指す。	B・E					
	第9回	【テーマ】打楽器の役割を意識し、一体感のある演奏を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏の基本トレーニングと難易度を考慮した楽曲を使用した合奏練習において、打楽器の役割を意識し、一体感のある演奏ができるための方法を考える。 【授業時間外の学修内容】発音の仕方やテンポに注意した練習をしておくこと。	B・E	第24回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】楽曲演奏を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かしハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B・E					
	第10回	【テーマ】アクティブ・ラーニングの活用により、グループ毎の安定した演奏を目指す。 【計画内容】楽器群に分かれて、教則本を利用した基本トレーニングと難易度を考慮した楽曲を使用した分奏練習により、打楽器と一体感のある演奏表現の安定化を図る。 【授業時間外の学修内容】発音の仕方やテンポに注意した練習をしておくこと。	B・E	第25回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B・E					
	第11回	【テーマ】合奏曲の演奏表現において、打楽器との一体感ある演奏を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏の基本トレーニングと難易度を考慮した楽曲の合奏において、打楽器との一体感ある演奏表現ができるよう工夫する。 【授業時間外の学修内容】各自演奏曲の役割を考え、音量や音程を考えた練習をしておくこと。	B・E	第26回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B・E					
	第12回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】これまでの基本練習の成果を踏まえ、楽曲演奏において一体感のある演奏表現に必要なポイントを考えてから練習する。 【授業時間外の学修内容】楽曲におけるパートの役割を確認しておくこと。	B・E	第27回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B・E					
	第13回	【テーマ】演奏発表の準備を進める 【計画内容】演奏発表に向け、仕上げとしてそれぞれの役割を生かした演奏表現を確認する。 【授業時間外の学修内容】各自個人での調性練習をしておくこと。	B・E	第28回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B・E					
	第14回	【テーマ】演奏発表会のリハーサル・楽曲表現を仕上げる 【計画内容】演奏発表会での実力発揮を目指し、本番を想定したリハーサルを実施する。発表会に必要な準備作業を行う。 【授業時間外の学修内容】楽曲表現に必要な演奏力向上を向上させるための練習をしておくこと。	B・E	第29回	【テーマ】楽曲演奏において、合奏の基本トレーニングの成果を生かした豊かな表現を目指す。 【計画内容】教則本を利用した合奏としての基本トレーニング(音階など)と難易度の中程度の楽曲を使用した合奏において、分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。 【授業時間外の学修内容】バランスやリズムについてトレーニングする。	B・E					
	第15回	【テーマ】前期・演奏会形式での発表 【計画内容】演奏発表を行い、学習成果の振り返りを行う。有観客での演奏会実施。 【授業時間外の学修内容】演奏発表に向けた確認練習をしておくこと。	B・E	第30回	【テーマ】後期・演奏発表会（有観客） 【計画内容】これまでの楽曲の分奏練習の成果を生かし、ハーモニーの豊かな響きを体験する。中程度の難易度の曲を中心とする。演奏会の実施により普段の演奏技術を維持できるか、お客さんに対しての演奏効果を考えて準備する。 【授業時間外の学修内容】基本的な楽器のメンテナンスと共により良い音楽を作ることができるようイメージする。	B・E					
テキスト		文部科学省、『中学校学習指導要領 / 高等学校学習指導要領』各種楽曲									
参 考 書		J.D プロイハー・G.B. ゼップ、1993年、『3Dバンド・ブック』、音楽之友社									
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他				
	配分					40%	60%				
	補足					平時	各演奏会				
課題に関するフィードバックの方法											
実務経験と授業の関連	経 験 内 容										
	科目との関連										
質問への対応		随時、質問等に応じます。 オフィスアワーを活用してください。									
資 格											
そ の 他		「合奏Ⅰ」と「合奏Ⅱ」は同時展開授業です。									

科 目 名		教育実習事後指導			授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名		坂田 朋優						
授 業 の 目 的	ねらい	中学校や高等学校での教育実習全般を振り返り、成果や反省をもとに、深めておくべき課題を明確にすることによって、教師としての教育に対する使命感や責任感をへの理解を高め、意欲的に取り組む態度を身につける。						
	到達目標	(1)教育実習を振り返り、自己評価ができる。 (2)教科指導・生徒指導等の重要性を理解し、今後の自身の課題を見出すことができる。 (3)教育者としての資質や能力を身につけることができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業の概要や授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】 教育実習で指導を受けた内容を振り返り、整理しておくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 教育実習の自己評価 【計画内容】 教育実習での成果や反省をもとに自己評価を行う。 【授業時間外の学修内容】 教育実習の日報を見て、振り返っておくこと。					G・H	
	第3回	【テーマ】 教育実習報告会の準備 【計画内容】 教育実習報告会開催するために、各自発表の準備を行う。 【授業時間外の学修内容】 発表内容を整理しておくこと。					G・H	
	第4回	【テーマ】 教育実習報告会の開催 【計画内容】 教育実習報告会で各自発表を行う。 【授業時間外の学修内容】 発表するために必要な準備を各自しておくこと。					F・H	
	第5回	【テーマ】 教育実習報告会の感想のレポート発表 【計画内容】 教育実習報告会を終えて、自分の実習内容との違い等について意見交換を行う。 【授業時間外の学修内容】 教育実習報告会のレポートをまとめておくこと。					H	
	第6回	【テーマ】 教科指導の課題についてⅠ 【計画内容】 教科指導の課題についてレポートにまとめ、意見交換を行う。 【授業時間外の学修内容】 教科指導について振り返っておくこと。					G・H	
	第7回	【テーマ】 教科指導の課題についてⅡ 【計画内容】 教科指導の重要性や、各自で必要な指導方法や指導技術を確認する。 【授業時間外の学修内容】 教科指導について振り返っておくこと。					A・H	
	第8回	【テーマ】 振り返りとまとめ 【計画内容】 教育実習について振り返り、今後の自身の課題を見出します。 【授業時間外の学修内容】 今後の課題についてまとめておくこと。					A・H・L	
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』						
参 考 書		文部科学省、『中学校学習指導要領』 文部科学省、『高等学校学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			50%		50%		
課題に関する フィードバックの方法								
実務経験と 授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格		[教]中・高1種(音楽)_必修						
そ の 他		「教育実習」を終了した学生に限ります。						

科 目 名		教育実習Ⅰ			授業形態	実習	単 位 数	4
教 員 名		坂田 朋優、岡元 敦司、千葉 圭哉						
授 業 の 目 的	ねらい	これまでの教職科目で培われた知識・技能・態度等をもとに、中学校または高等学校の実習校において、校長先生はじめ指導教員、教職員の指導のもとに、教員として必要なさまざまな事項について具体的に学びます。その中から、教師としての使命感・責任感、かつ実践的指導力、また学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指す資質・能力を高めることを目的とします。						
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持てる。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 ○実習計画 法令や実習学校により定められた期間(原則2週間)中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。 1 実習校の教育活動等の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について他 2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解をととした学級指導 3 教職の理解 (1)教職への自己の適性 (2)教職の使命感・責任感 なお、大学において、事前学習・事後学習があります。 ○展開方法 事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。 実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』を熟読し、内容をすべて把握しておくこと。							D
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 総則・音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 総則・音楽編』						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分					30%	70%	
	補 足						実習校における実習の評価	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[教]中1種(音楽)_必修、高1種(音楽)_選必						
そ の 他		教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適格性に欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消しまたは停止します。 生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。						

科 目 名		教育実習Ⅱ			授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		坂田 朋優、岡元 敦司、千葉 圭説						
授 業 の 目 的	ねらい	これまでの教職科目で培われた知識・技能・態度等をもとに、高等学校の実習校において、校長先生はじめ指導教員、教職員の指導のもとに、教員として必要なさまざまな事項について具体的に学びます。その中から、教師としての使命感・責任感、かつ実践的指導力、また学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指す資質・能力を高めることを目的とします。						
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持てる。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 ○実習計画 法令や実習学校により定められた期間中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。 1 実習校の教育活動等の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について 2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解をととした学級指導 3 教職の理解 (1)教職への自己の適性 (2)教職の使命感・責任感 なお、大学において、事前学習・事後学習があります。 ○展開方法 事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。 実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』を熟読し、内容をすべて把握しておくこと。							D
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、『中学校学習指導要領解説 総則・音楽編』 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 総則・音楽編』						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足					30%	70% 実習校における実習の評価	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[教]高1種(音楽)_選必						
そ の 他		教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適格性が欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消しまたは停止します。生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。						

科 目 名				教職実践演習(中・高)		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名				岡元 敦司、坂田 朋優、千葉 圭説					
授 業 の 目 的	ねらい	3年半の教職に関する履修状況を踏まえ、中学校・高等学校の教員に必要な資質や能力について、各自が「自己の学びの軌跡」として振り返るとともに、実践的指導力として不足している知識や技能を補い、その定着を図る。							
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)生徒についての理解力や学級経営能力が身についている。 (4)中学校・高等学校の音楽教育の意義・理解を深め具体的な指導力が身についている。							
	第1回	【テーマ】講義の概要 【計画内容】履修カルテをもとに、これまでの学びの軌跡を確認し、自分自身の課題を明確にする。教職科目の履修内容について各自確認をする。(千葉圭説) 【授業時間外の学修内容】教職に関する科目等についての履修の内容等を確認する。	A	第9回	【テーマ】学外研修1の1 【計画内容】地域の小学校・中学校・高校に出向き、研究授業に参加する。(岡元敦司) 【授業時間外の学修内容】指導案を参考に自分の考えをまとめておく。	G・H・M			
	第2回	【テーマ】教育実習の振り返り・課題(1) 【計画内容】教育実習を振り返り、それぞれの自己分析を行い、各自の今後の課題を探る。(千葉圭説) 【授業時間外の学修内容】実習ノートを見直し、どのような課題があったかを書き出しておく。	A・G	第10回	【テーマ】学外研修1の2 【計画内容】先に実施した学外研修について話し合い、各自でレポートを作成する。(岡元敦司) 【授業時間外の学修内容】指導案を参考に自分の考えをまとめておく。	G・H・M			
授 業 の 計 画	第3回	【テーマ】教育実習の振り返り・課題(2) 【計画内容】グループワークによる課題整理意見交換により、各自の今後の課題整理及び発表を行う。(千葉圭説) 【授業時間外の学修内容】前回の実習課題を整理しノートにまとめておく。	A・G・H	第11回	【テーマ】学外研修2の1 【計画内容】地域の小学校・中学校・高校に出向き、研究授業に参加する。(坂田朋優) 【授業時間外の学修内容】指導案を参考に自分の考えをまとめておく。	G・H・M			
	第4回	【テーマ】グループワークによる教材研究 【計画内容】音楽科教育における教材研究の重要性を再確認するとともに、各グループでお互いに不足している知識を補い、個人の課題を発見し学ぶ。(千葉圭説) 【授業時間外の学修内容】今までの教材研究資料をまとめておく。	A・G・H	第12回	【テーマ】学外研修2の2 【計画内容】先に実施した学外研修について話し合い、各自でレポートを作成する。(坂田朋優) 【授業時間外の学修内容】指導案を参考に自分の考えをまとめておく。	G・H			
	第5回	【テーマ】教材研究に基づく学習指導案の作成 【計画内容】前回の教材研究を基に学習形態・指導と評価等を工夫した学習指導案の作成を行う。(千葉圭説) 【授業時間外の学修内容】今までの教材研究をまとめておき、指導案作成の準備をしておく。	A・G・H	第13回	【テーマ】学外研修3の1 【計画内容】課外学習としての音楽教育の在り方を、学外の音楽活動の実践(鑑賞・表現)を通して学習する。(坂田朋優) 【授業時間外の学修内容】鑑賞については下調べを行い、表現については十分に準備する。	G・H・M			
	第6回	【テーマ】模擬授業(第1グループ) 【計画内容】模擬授業を行う。受けた側から検討を加え、今後のお互いの課題・改善点を探る。(岡元敦司) 【授業時間外の学修内容】教育実習時の学習指導案や日誌等を準備し、模擬授業の準備をしておく。	A・F・G・H	第14回	【テーマ】学外研修3の2 【計画内容】先に実施した学外研修について話し合い、各自でレポートを作成する。(坂田朋優) 【授業時間外の学修内容】自分の考えをまとめておく。	F・G・H・M			
	第7回	【テーマ】模擬授業(第2グループ) 【計画内容】模擬授業を行う。受けた側から検討を加え、今後のお互いの課題・改善点を探る。(岡元敦司) 【授業時間外の学修内容】教育実習時の学習指導案や日誌等を準備し、模擬授業の準備をしておく。	A・F・G・H	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】全15回の授業で学んだこと、そこから得た課題を話し合い、グループワークとして意見をまとめ、発表する。(坂田朋優) 【授業時間外の学修内容】自分の考えをまとめておく。	A・G・H・M			
	第8回	【テーマ】学級経営 【計画内容】実習で担当した学級を想定し、学級経営案や指導計画案を作成する。(岡元敦司) 【授業時間外の学修内容】学級経営にどのようなことが必要か、事項をまとめておく。	A・G・H						
テキスト		文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2019年、『高等学校学習指導要領』、東山書房							
参 考 書		プリントを使用します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			60%		40%			
	補 足			レポートなど		発表			
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		適宜対応します。							
資 格		[教]中・高1種(音楽)_必修							
そ の 他		実践演習で自己の課題を解決するために意欲的に取り組む姿勢が是非とも望まれます。課題分析や課題解決への積極性を養うため、授業に臨む基本的な生活習慣は厳守を望みます。免許状取得に必要な当該科目以外の全ての科目を修得済み、あるいは修得見込みであること。							

芸 術 学 科
学 科 専 門 科 目

科 目 名	博物館実習					授業形態	実習	単 位 数	3
教 員 名	林 亨、山下 圭介、横山 光								
授 業 の 目 的	ねらい	「博物館概論」、「博物館資料論」、「博物館経営論」といった、いわゆる座学の講義において学んだ博物館に関する知識を、実際に博物館へ出向き実務の体験・実習を通じて定着させる。また、実際に博物館・美術館に出向く、いわゆる館務実習に先立って、学内において実習に必要な事柄と学芸員としての心構えなどを学ぶ。							
	到達目標	(1)各講義で学んだ内容を実習を通して理解する。 (2)館務実習を通して博物館施設の役割を理解する。 (3)館務実習を通して学芸員の役割を理解する。							
授 業 の 計 画	【計画内容】 [前学期] 第1回 学内実習：館務実習に向け、関連講義で学んだ内容を振り返る。 第2回 見学実習へ向けたオリエンテーション 第3～ 6回 見学実習：近隣博物館の見学を行う。 第7～14回 学内実習：学内において、館内展示の実習を行う。 第15回 館務実習へ向けたオリエンテーション：各施設から連絡事項を確認し、館務実習へ向けた最終確認を行う。 [後学期] 不定期 館務実習：各個別実習 最終回 まとめ：実習報告・反省会の開催 【授業時間外の学修内容】 あらかじめ用意される資料の内容を理解すること。 学芸員任用資格取得に関する科目で学習した内容を十分に復習すること。 また、講義内で訪問する施設以外にも積極的に訪問し、多くの博物館や美術館を見学することが望ましい。								B・D
テキスト	講義時に説明します。								
参 考 書	講義時に説明します。								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			40%			60%		
	補 足			各種実習 レポート等			館務実習の 評価		
課題に関する フィードバックの方法									
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資 格	[芸]学芸員_必修								
そ の 他	いわゆる館務実習は近隣に所在する施設に7月～11月中(施設によって異なる期間)に出向いて行うもので、その館の学芸員の指導の下、10日間程度行う実習です。実習終了後に報告反省会を開き実習内容を報告します。 学芸員任用資格取得の必修科目を履修済みであること。 上記必修科目の評価点が「良」以上であることを受講条件とします。 実習費20,000円の納入が必要です。								

科目名			創作テキスタイル		授業形態	演習	単位数	2
教員名			大信田 静子、青山 重美					
授業の目的	ねらい	私たちは生まれた時から、布、繊維に触れ、布に関わってきています。近年手作りの良さが見直され身近に存在する様々な素材は生活を豊かにする大切な関係を結んでいる存在です。その素材を活用し、創作的な作品を制作していきます。既成概念にとらわれない自由な発想のもと、創り手として個性を意識しながら制作していく力を養います。						
	到達目標	(1)様々な素材の扱い方、活用法を身につける。 (2)身近にある素材からまとめ上げる構成力を身につける。 (3)ファッション＝五感で感じるものを追求する力を身につける。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義内容を紹介し、30回の講義展開について説明します。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第16回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D		
	第2回	【テーマ】 作品の方向性、デザインの検討 【計画内容】 様々なテキスタイルの参考資料を参考に各自デザイン及び素材の検討をしていきます。(大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 素材、デザインを考えてくること。	D	第17回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材、色のバランスを検討していきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D		
	第3回	【テーマ】 デザインの選定 【計画内容】 各デザインに合わせ素材集め及び素材を作っていきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 素材、デザインを考えてくること。	D	第18回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材、色のバランスを検討していきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D		
	第4回	【テーマ】 素材のサンプル制作 【計画内容】 作品に合わせサンプル素材作りをしていきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 素材作りを進めておくこと。	D	第19回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材の縫製方法を検討していきます。素材を作品に合わせ、組み立てていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D		
	第5回	【テーマ】 素材のサンプル制作 【計画内容】 作品に合わせサンプル素材作りをしていきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 素材作りを進めておくこと。	D	第20回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材の縫製方法を検討していきます。素材を作品に合わせ、組み立てていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第6回	【テーマ】 素材のサンプル制作 【計画内容】 作品に合わせ素材作りをしていきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 素材作りを進めておくこと。	D	第21回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第7回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 サンプルから作品に合う素材を選定します。選定した素材を作品に合わせ制作していきます。(大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第22回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第8回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 サンプルから作品に合う素材を選定します。選定した素材を作品に合わせ制作していきます。(大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第23回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第9回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第24回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第10回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第25回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 素材を作品に合わせ、組み立てていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第11回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第26回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品に合わせて縫製していきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第12回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第27回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品に合わせて縫製していきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第13回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第28回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品に合わせて縫製していきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第14回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第29回	【テーマ】 作品制作 【計画内容】 作品のバランスを確認、仕上げの方法と装飾を考えて生きます。 (青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品制作を進めておくこと。	D		
	第15回	【テーマ】 作品合わせ素材作り 【計画内容】 選定した素材を作品に合わせ制作していきます。 (大信田静子・青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品の素材制作を進めておくこと。	D	第30回	【テーマ】 作品の総仕上げ 【計画内容】 作品の総仕上げ及び発表の方法について話し合い、まとめていきます。(青山重美) 【授業時間外の学修内容】 作品のトータルバランスの確認をしておくこと。	F		
テキスト	プリントを使用します。							
参考書	講義時に説明します。							
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			60%	40%			
補足				デザイン性・素材縫製・独創性	作品への取り組み・意欲・態度			
課題に関するフィードバックの方法	作品制作の過程及びデザイン性も含め作品評価していきます。							
実務経験と授業の関連	経験内容							
	科目との関連							
質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	製作した作品は学外発表会(ファッションショー)で発表することもあります。							

科 目 名		舞踊専門研究			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		田 光子						
授 業 の 目 的	ねらい	日本をはじめ世界の舞踊を探る。 各国の舞踊の歴史や踊りの動きを知ることでその表現の意味や芸術性、文化について理解を深める。 また、実際に世界の舞踊にもチャレンジしてみよう。						
	到達目標	(1)舞踊・ダンスの歴史を学ぶ。 (2)日本をはじめとして世界各国の舞踊・ダンスを学ぶ。 (3)世界各国のフォークダンスを踊ってみる。 (4)体(ダンス)の動きを知る。 (5)身体(ダンス)を使った表現方法を探る。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義概要、講義展開方法、評価などについて説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ミュージカル(日本)について / 作品鑑賞② 【計画内容】日本のミュージカル作品を鑑賞する。 【授業時間外の学修内容】作品内容、登場人物、動きを確認する。	B		
	第2回	【テーマ】舞踊・ダンスとは？フォークダンスについて 【計画内容】舞踊・ダンスについて学ぶ。フォークダンス発表に向けての準備。 【授業時間外の学修内容】授業概要について理解する。フォークダンスについて調べる。	B	第10回	【テーマ】アイリッシュダンス(アイルランド) 【計画内容】アイリッシュダンスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】アイリッシュダンスについて調べる。	B		
	第3回	【テーマ】オペラ座 【計画内容】オペラ座の歴史を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】オペラ座の歴史を調べる。	B	第11回	【テーマ】フラダンス 【計画内容】フラダンスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】フラダンスについて調べる。	B		
	第4回	【テーマ】バレエの歴史 【計画内容】バレエの歴史を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】バレエについて調べる。	B	第12回	【テーマ】ピナ・パウシュ タンツテアター(ドイツ) 【計画内容】アメリカのモダンダンスとドイツの表現主義をあわせもつピナ・パウシュのタンツテアターについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ピナ・パウシュについて調べる。	B		
	第5回	【テーマ】バリ・オペラ座バレエ学校、バレエ団について / バレエ(フランス)作品鑑賞① 【計画内容】バレエ作品を鑑賞する。バリ・オペラ座バレエ学校、バレエ団について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】作品内容、登場人物、動きを確認する。	B	第13回	【テーマ】宝塚公演 【計画内容】宝塚歌劇団について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】宝塚歌劇団について調べる。	B		
	第6回	【テーマ】フォークダンス発表 【計画内容】フォークダンスの実技あるいは、Power point 発表をした後、レポート提出する。 【授業時間外の学修内容】フォークダンス各自発表準備をしてくる。レポート提出。	B・F	第14回	【テーマ】日本あるいは世界各国の舞踊・ダンスに関する発表 【計画内容】舞踊・ダンスについて発表する。 【授業時間外の学修内容】各自発表準備をする。	B・F		
	第7回	【テーマ】英国ロイヤルバレエ団について / バレエ(イギリス)作品鑑賞② 【計画内容】英国ロイヤルバレエ団について学ぶ。作品内容、登場人物、動きを確認する。 【授業時間外の学修内容】英国ロイヤルバレエ団について調べてくる。	B	第15回	【テーマ】発表と総評 【計画内容】各自発表と総評をする。 【授業時間外の学修内容】発表準備と提出。	B・F		
	第8回	【テーマ】ミュージカル(アメリカ)について / 作品鑑賞① 【計画内容】ブロードウェイミュージカルについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ミュージカルについて調べる。	B					
テキスト		プリントを配付します。						
参 考 書		講義内にて説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			70%		20%	10%	
	補 足			レポート・発表				
課題に関するフィードバックの方法		課題など提出後、学んだ内容を振り返りながら確認します。講義内、または Teams 内の課題提出にてフィードバックを行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義内にて随時受け付けます。 E-Mail:chun@wm.hokusho-u.ac.jp (641研究室) 講義前後および Teams 内のチャットでも対応します。						
資 格								
そ の 他		遅刻・欠席はしないこと。授業の積極的な参加を重要視する。 チャレンジ授業の時は動きやすい服装を準備する。発表などは提出期日を厳守すること。 オンライン授業の場合は、ビデオ・マイクはオンで行いますので、ご了承ください。						

科 目 名			構造力学演習			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			千里 政文						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は、建築構造力学および力学の基礎的知識として、構造設計を行う為の基礎的知識と解析手法について学ぶ。具体的には構造計画の流れと考え方を踏まえた上で、代表的各種構造物の材料・部材と設計の考え方、接合法などについて解説を通して理解を目指す。							
	到達目標	(1)各種構造物も構造形式から始まり構造の全貌、その各部構造の原理・性質・特徴など総合的に把握する。 (2)本授業構造力学演習は、建築における構造力学の基礎を修得することを目指す。 (3)本授業を通じて、構造力学演習のための必要な知識と技術を身に付けてください。							
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】 授業ガイダンス：授業の展開説明 【計画内容】 講義内容を具体的に説明する。 【授業時間外の学修内容】 関連する分野の資料を事前に学習し、講義ノートを1冊用意しておくこと。	A・B	第9回	【テーマ】 構造設計：設計応力(短期応力、長期応力、応力の組み合わせ) 【計画内容】 構造設計：設計応力(短期応力、長期応力、応力の組み合わせ)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			
	第2回	【テーマ】 鉄骨構造：部材の設計(柱、柱脚、筋かい、仕口・継ぎ手) 【計画内容】 鉄骨構造：部材の設計(柱、柱脚、筋かい、仕口・継ぎ手)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第10回	【テーマ】 構造設計：構造計算(許容応力度設計) 【計画内容】 構造設計：構造計算(許容応力度設計)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			
	第3回	【テーマ】 鉄骨構造：部材の接合部(リベット、ボルト、Hボルト、溶接の接合) 【計画内容】 鉄骨構造：部材の接合部(リベット、ボルト、Hボルト、溶接の接合)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第11回	【テーマ】 地盤と基礎：地盤(土の種類、地盤の種類、土の性質) 【計画内容】 地盤と基礎：地盤(土の種類、地盤の種類、土の性質)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			
	第4回	【テーマ】 鉄骨構造：部材の接合部(各種接合の併用) 【計画内容】 鉄骨構造：部材の接合部(各種接合の併用)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第12回	【テーマ】 地盤と基礎：地盤(地質調査と許容地耐力度)基礎(直接基礎、杭基礎、各種の杭) 【計画内容】 地盤と基礎：地盤(地質調査と許容地耐力度)基礎(直接基礎、杭基礎、各種の杭)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			
	第5回	【テーマ】 鉄骨構造：その他の鉄骨造(軽量鉄骨構造、鋼管構造) 【計画内容】 鉄骨構造：その他の鉄骨造(軽量鉄骨構造、鋼管構造)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第13回	【テーマ】 構造物の応力：荷重、反力、構造物の安定・不安定、静定と不静定 【計画内容】 構造物の応力：荷重、反力、構造物の安定・不安定、静定と不静定について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			
	第6回	【テーマ】 鉄骨構造：その他の鉄骨造(軽量鉄骨構造、鋼管構造)※鉄骨構造のまとめとして、小テスト・レポート提出 【計画内容】 鉄骨構造：その他の鉄骨造(軽量鉄骨構造、鋼管構造)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第14回	【テーマ】 静定構造物の応力(応力の種類)、応力度(垂直、せん断、曲げ)、部材の変形、座屈※総合のまとめとして、小テスト・レポート提出 【計画内容】 静定構造物の応力(応力の種類)、応力度(垂直、せん断、曲げ)、部材の変形、座屈について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			
	第7回	【テーマ】 構造設計：構造計画、荷重計算(固定荷重、積載荷重、積雪荷重) 【計画内容】 構造設計：構造計画、荷重計算(固定荷重、積載荷重、積雪荷重)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B	第15回	【テーマ】 不静定構造物(ラーメン、はり)の応力(応力の種類)、応力度(垂直、せん断、曲げ)、部材の変形、座屈※総合のまとめとして、小テスト・レポート提出 【計画内容】 不静定構造物(ラーメン、はり)の応力(応力の種類)、応力度(垂直、せん断、曲げ)、部材の変形、座屈について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B			
	第8回	【テーマ】 構造設計：荷重計算(風圧力、地震力、土圧・水圧) 【計画内容】 構造設計：荷重計算(風圧力、地震力、土圧・水圧)について具体的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 予習復習し課題に取り組むこと。	A・B						
テキスト		浅野清昭、2018年、『やさしい 建築構造力学演習問題集 解法手順を身につける書き込み式ワークブック』、学芸出版、978-4-7615-1368-9							
参 考 書		浅野清昭、2017年、『改訂版 図説 やさしい構造力学』、学芸出版、978-4-7615-2655-9							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配補	分足		60%		40%			
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	1級建築士						
		科目との関連	1級建築士として働いた知識を実践的教育に役立てている。						
質問への対応		Teams のチャットで対応します。							
資 格		[芸]1級建築士_必修、2級建築士_選必							
そ の 他		「構造のかたちと力」を習得済みであることが履修の条件となります。まだ、履修していない場合は事前学習が必要となります。 受講するには、指定の教科書を入手し、持参することが必要となります。 この講義では講義連絡・課題提出・資料配付等で、チームコード「 a6p23p4 」を入力しチームに参加ください。							

科 目 名			デジタルコンテンツ制作		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			松澤 衛					
授 業 の 目 的	ねらい	ゲーム開発ツールを用いて、オリジナルのゲームコンテンツの制作を行います。ゲーム制作に必要な基礎的な技術の習得の他、ゲーム内容の考案から、制作に必要な工程の把握を行い、その後の実作業に至る一連の流れを経験することで、コンテンツ制作に必要な技能の習得を目指します。						
	到達目標	(1)コンテンツ制作に関わる一連の技能の習得。 (2)個人が今まで学習してきた知識・技術の発展と応用力を身につける。 (3)作業をする際に重要な、計画性や作業工程の把握が適切に行えるようになる。 (4)ゲーム開発ツールの具体的な使用方法を理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義の進め方に関する説明や、講義で用いるゲーム開発ツールについての説明を行います。 【授業時間外の学修内容】 シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】 ゲーム制作(1) 【計画内容】 決定したスケジュールに伴い、実際に制作を進めて行きます。 【授業時間外の学修内容】 決定したスケジュールと内容を良く把握しておく。	B・L		
	第2回	【テーマ】 ゲーム開発ツールの基本的な使い方(1) 【計画内容】 開発ツールの基本的な使用方法を把握するために、簡潔なゲームの制作を複数回の授業に渡って進めて行きます。 【授業時間外の学修内容】 開発ツールを使う事でどのようなゲームが制作可能か事例等を調べておく。	B・L	第10回	【テーマ】 ゲーム制作(2) 【計画内容】 引き続き制作を進めます。制作を進める上で不都合や行き詰まりが生じた場合は都度計画の見直しを行います。 【授業時間外の学修内容】 ここまでの進捗状況をきちんと把握しておく。	B・L		
	第3回	【テーマ】 ゲーム開発ツールの基本的な使い方(2) 【計画内容】 引き続き簡潔なゲームの制作を通じて、キャラクターの移動方法の把握や、衝突判定の実装方法を学びます。またその際に必要なプログラミングについても学習します。 【授業時間外の学修内容】 前回までに学んだ内容を復習して開発ツールに馴染んでおく。	B・L	第11回	【テーマ】 ゲーム制作(3) 【計画内容】 引き続き制作を進めます。事前に立てたスケジュールと現在の進捗状況を照らし合わせ、必要であればスケジュールの変更や、ゲーム内容の見直しを行います。 【授業時間外の学修内容】 制作が円滑に進まない場合に備え、代替案も用意しておく。	B・L		
	第4回	【テーマ】 ゲーム開発ツールの基本的な使い方(3) 【計画内容】 引き続き簡潔なゲームの制作を行います。ゲームとして成立させるために必要な、各種ユーザーインターフェースの作成方法や、効果音の設定方法、画面の遷移方法等を学びます。 【授業時間外の学修内容】 プログラミングを行う機会が増えてくるので、前回までに用いたコードの内容をよく理解しておく。	B・L	第12回	【テーマ】 ゲーム制作(4) 【計画内容】 ゲームとして動作する状態にまで制作を進めて行きます。 【授業時間外の学修内容】 スケジュールに遅れが無いよう、作業を進めておく。	B・L		
	第5回	【テーマ】 ゲーム開発と物理演算(1) 【計画内容】 開発ツールに標準で備わっている物理演算機能を用いた簡潔なゲームの制作を行います。物理演算機能についての理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】 前回までに学習したゲーム制作の一連の流れを復習しておく。	B・L	第13回	【テーマ】 ゲーム制作(5) 【計画内容】 現状のゲームの動作確認を行い、不具合の修正や、ゲームバランスの調整など、より魅力的なコンテンツに仕上げるための改善点を把握します。 【授業時間外の学修内容】 ある程度動作確認ができる状態までに仕上げておく。	B・L		
	第6回	【テーマ】 ゲーム開発と物理演算(2) 【計画内容】 引き続き物理演算機能を用いたゲームの制作を行います。キャラクターのアニメーション方法など、ゲームのクオリティアップに関する部分も学びます。 【授業時間外の学修内容】 物理演算機能を使う事でどのようなゲームを制作できそうかイメージしておく。	B・L	第14回	【テーマ】 ゲーム制作(6) 【計画内容】 前回確認した改善点を元にゲームの修正作業を行います。 【授業時間外の学修内容】 改善点をきちんと把握し、その具体的な実装方法をイメージしておく。	B・L		
	第7回	【テーマ】 ゲームのアイデアを考える 【計画内容】 今まで学習した内容を踏まえ、オリジナルのゲームの制作を始めます。まずはどのようなゲームを制作するのかアイデアを決定します。 【授業時間外の学修内容】 自分が作りたいゲーム内容のある程度イメージしておく。また、参考になりそうなゲームが無いと事前に調査し、また事前にある程度必要な工程をイメージしておく。	A・J・L	第15回	【テーマ】 プレゼンテーション 【計画内容】 制作したゲームのプレゼンテーションを行います。実際にゲームをプレイし改善点などの講評を行います。 【授業時間外の学修内容】 制作したゲームを魅力的に伝えられるプレゼンテーション方法を検討しておく。	F・L		
	第8回	【テーマ】 開発工程の把握 【計画内容】 前回決定したアイデアを元に、開発に必要な工程や、実現方法を整理して把握します。その後具体的な開発スケジュールを決定します。 【授業時間外の学修内容】 事前にある程度必要な工程をイメージしておく。	A・J・L					
テキスト		講義時に説明します。						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	足		20%	40%	40%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応	基本的には講義時間内に対応しますが、その他の方法等についてはオリエンテーション時に説明します。 Microsoft Teams を使用します。							
資 格								
そ の 他								

科 目 名			演劇と映画		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			松澤 衛、村松 幹男					
授 業 の 目 的	ねらい	映画と演劇という似て非なるメディアについて考察する。その上で、一つのスクリプト(それをもとに脚本とシナリオを作成する)を使って演劇上演と映画制作の両方を体験する。そのことを通して映画と演劇について考察を深める。						
	到達目標	(1)演劇の特徴を理解する。 (2)映画の特徴を理解する。 (3)演劇と映画の共通点と違いを理解する。 (4)演劇と映画の制作の流れを理解できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の展開について説明する。特にスクリプト(映像化のためのシナリオ、舞台化のための脚本の元になるもの)について説明する。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと	A・H・L	第9回	【テーマ】演劇と映画(5) 映画の撮影プラン・撮影スケジュールを決める 【計画内容】シナリオを元に映像化するための撮影プラン、撮影スケジュールを考える。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】シナリオから映像化するためのイメージを考える。	A・H・L		
	第2回	【テーマ】映画鑑賞(舞台にもなっている映画を鑑賞) 【計画内容】映画と芝居のある作品を選定し、まず映画鑑賞をする。終了後芝居の脚本を配付する。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】舞台にも映画にもなっている作品を調べておくこと。	A・H・L	第10回	【テーマ】演劇と映画(6) 映画の撮影 【計画内容】撮影プランに従った撮影を行う。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】撮影方法を考える。	A・H・L		
	第3回	【テーマ】映像と舞台脚本 【計画内容】見た映画について検討する。演劇の脚本との違いについて考える。(松澤衛・村松幹男) 【授業時間外の学修内容】脚本を読んでくこと。	A・H・L	第11回	【テーマ】演劇と映画(7) 映画の撮影、編集 【計画内容】撮影の続きと、映像編集を行う。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】映像を元に編集方法を考える。	A・H・L		
	第4回	【テーマ】演劇映像鑑賞(映画鑑賞で観た映画の舞台版を鑑賞) 【計画内容】舞台のDVDを鑑賞する。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】舞台を映像化した作品を調べておくこと。	A・H・L	第12回	【テーマ】演劇と映画(8) 映画の編集 【計画内容】シナリオにあう編集を行う。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】映像を元に編集方法を考える。	A・H・L		
	第5回	【テーマ】演劇と映画(1) 映画と舞台の鑑賞を通して違いを考える 【計画内容】脚本を読み、映画と演劇を鑑賞した作品を利用して演劇と映画について考える。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】映画と演劇の違いについて自分なりにまとめて置くこと。	A・H・L	第13回	【テーマ】演劇と映画(9) 演劇の稽古① 【計画内容】演劇の稽古を行う。発表のための準備を行う。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】脚本を読み直し、舞台化に向けて自分の役割を考えておくこと。	A・H・L		
	第6回	【テーマ】演劇と映画(2) スクリプトの検討 【計画内容】演劇化、映画化のためスクリプト(脚本・シナリオの元になるもの)について考える。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】スクリプトについて考えておくこと。	A・H・L	第14回	【テーマ】演劇と映画(10) 演劇の稽古② 【計画内容】演劇の稽古。発表に向けての準備。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】キャストは自分の役を演じられるようにしておくこと。スタッフはプランを完成させること。	A・H・L		
	第7回	【テーマ】演劇と映画(3) シナリオ・脚本制作 【計画内容】箱書きを決め、シナリオ・脚本を完成させる。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】スクリプトから全体の流れを考える。	A・H・L	第15回	【テーマ】舞台発表&映画上映 【計画内容】舞台発表、制作した映画を鑑賞する。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】舞台発表の準備をしておくこと。	A・F・H・L		
	第8回	【テーマ】演劇と映画(4) シナリオ・脚本を元に配役・スタッフを決める 【計画内容】脚本を元に配役、スタッフを決定する。(松澤衛) 【授業時間外の学修内容】シナリオ・脚本を元に自分のポジションを考える。	A・H・L					
テキスト		プリントを配付します。						
参 考 書		授業時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			30%	30%	20%	20%	
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		Microsoft Teams を使用します。						
資 格								
そ の 他		受講者数によって、内容が変更になるかもしれません。 第8回にスクリプトの講評を行い、第15回の「舞台発表&映画上映」時に発表の講評を行う。						

科 目 名		卒業研究			授業形態	演習	単 位 数	4
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	「専門演習Ⅰ・Ⅱ」で学習した知識や表現方法をもとに、芸術学科の5つの領域(美術、服飾美術、インテリア・建築、メディアデザイン、舞台芸術)に関連する専門分野を、それぞれのゼミナールで教員と学生とが協力して運営し、実践を交えながら研究を深めます。また、自らの芸術活動の基盤づくりをします。						
	到達目標	(1)専門領域に関する自らの課題を見つけ、独自の課題に取り組む学習方法や研究方法を学ぶ。 (2)学習・研究・実践によって、専門性を深める。 (3)学外での表現活動によりコミュニケーションとしての芸術の意義を学習する。 (4)卒業発表会(制作展、演奏会、公演、発表会)において学外発表し、社会から評価を受ける。						
授 業 の 計 画		【計画内容】 第1回　オリエンテーション 卒業研究としてゼミナールで研究することについて：自らの課題を掘り下げ、研究成果を上げる方法についての概要を学びます。 第2回～第6回　専門領域を深めるということ 表現法と鑑賞法の深化：専門領域での表現方法と鑑賞方法との多様な研究により、芸術の創作活動の幅を広げるスキル(技術)を、実践を通して学びます。 第7回～第12回　専門領域において課題を掘り下げること 研究領域の確立：専門領域の中でも独自の課題を掘り下げのためのスキル(技術)を学びます。 第13回～第15回　卒業研究における中間発表：独自の課題研究についての中間報告・中間発表をします。 第16回～第20回　専門領域を活用すること 芸術活動の研究：専門領域での表現・鑑賞・創作の芸術活動が、社会においていかに貢献するかを研究します。 第21回～第30回　卒業研究のまとめ 卒業制作展、卒業公演、学外発表会など：卒業研究での集大成として自らの課題研究の発表をします。 【授業時間外の学修内容】 卒業研究として、自らの作品・演技・パフォーマンス・論文の制作・発表にむけて、各授業ごとに準備をすすめること。						B
テキスト	初回講義時に説明します。							
参 考 書	初回講義時に説明します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配　　分				60%	40%		
	補　　足				作品制作が課題になる場合がある。			
課題に関するフィードバックの方法	ゼミの担任に相談してください。							
実務経験と授業の関連		経　験　内　容						
		科目との関連						
質問への対応	各担当教員から説明します。							
資　　格								
そ　の　他								

教職に関する科目

科 目 名	教育実習事後指導				授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名	林 亨、山下 圭介							
授 業 の 目 的	ねらい	教育実習による成果と課題を振り返り、教師を志す者として自らの課題を明確にすることで、教師としての資質や能力を向上させる。また、より意欲的に研修に取り組む態度を身に付ける。						
	到達目標	(1)教育実習における教科指導や生徒指導等の重要性を理解できる。 (2)教師としての在り方や使命感・責任感を理解できる。 (3)教師としての研修の意義を理解できる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 1. ガイダンス(林亨・山下圭介) 教育実習を終え、事後の各自の対応について確認し、その実習体験内容を今後の教職にどう活かすかについて学びます。 2. グループワーク(林亨・山下圭介) (1)教育実習の成果や反省点についてグループ討議します。 (2)討議内容に基づき、教育実習で学んだことをレポートにまとめます。 3. 教育実習報告会(林亨・山下圭介) 各自の実習報告とグループワークによるまとめのプレゼンテーションを行い、教育実習で学んだ成果を共有するとともに、今後の教師としての資質や能力を向上させるための課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】 教育実習を振り返り、その成果と反省点を踏まえて自己の課題を明確にしてくる。							A・G・H・I
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』							
参 考 書	文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領及び解説 美術編』、日本文教出版株式会社 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編』、教育図書株式会社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			60% レポート等		40%		
課題に関する フィードバックの方法								
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	林 亨 / 中学校、高等学校教諭					
		科目との関連	林 亨 / 中学校および高等学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[芸]中・高1種(美術)_必修							
そ の 他	「教育実習」を終了した学生に限ります。							

科 目 名		教育実習Ⅰ			授業形態	実習	単 位 数	4
教 員 名		林 亨、山下 圭介						
授 業 の 目 的	ねらい	これまでの教職科目で培われた知識・技能・態度等をもとに、中学校または高等学校の実習校において校長先生はじめ指導教員、教職員の指導のもとに、教員として必要なさまざまな事項について具体的に学びます。その中から、教師としての使命感・責任感、かつ実践的指導力、また学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指す資質・能力を高めることを目的とします。						
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持てる。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 ○実習計画 法令や実習学校により定められた期間(原則2週間)中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。 1 実習校の教育活動等の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について 2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解を通じた学級指導 3 教職の理解 (1)教職への自己の適性 (2)教職の使命感・責任感 なお、大学において、事前学習・事後学習があります。 ○展開方法 事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。 実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。	B・D						
	【授業時間外の学修内容】 『教育実習の手引き』を熟読し、内容をすべて把握しておくこと。							
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、平成30年、『中学校学習指導要領及び解説 美術編』、日本文教出版株式会社 文部科学省、平成30年、『高等学校学習指導要領及び解説 芸術編 音楽編 美術編』、教育図書株式会社						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			20%		30%	50%	
	補 足						実習終了時 実習校における評価	
課題に関する フィードバックの方法								
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	林亨 / 中学校、高等学校教諭					
		科目との関連	林亨 / 中学校および高等学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[芸]中1種(美術)_必修、高1種(美術)_選必						
そ の 他		教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適格性に欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消しまたは停止します。 生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。						

科 目 名		教育実習Ⅱ			授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		林 亨、山下 圭介						
授 業 の 目 的	ねらい	これまでの教職科目で培われた知識・技能・態度等をもとに、中学校または高等学校の実習校において校長先生はじめ指導教員、教職員の指導のもとに、教員として必要なさまざまな事項について具体的に学びます。その中から、教師としての使命感・責任感、かつ実践的指導力、また学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指す資質・能力を高めることを目的とします。						
	到達目標	(1)教科指導・生徒指導について、生徒理解をもとに計画を立て、指導できる。 (2)学校の役割を具体的に知り、教員としての使命感・責任感を持てる。 (3)教職への適性を探り、具体的な課題を発見できる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 ○実習計画 法令や実習学校により定められた期間(原則2週間)中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行います。 1 実習校の教育活動等の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の職務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導内容、方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談並びに部活動について他 2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解を通じた学級指導 3 教職の理解 (1)教職への自己の適性 (2)教職の使命感・責任感 なお、大学において、事前学習・事後学習があります。							B・D
	○展開方法 事前学習では、模擬授業や先に実施した者からのアドバイス等を受け、事後学習では、教育実習のまとめをし、教職の適性について考えます。 実習校の教育実習オリエンテーションから、全日程の展開は実習校にゆだねられています。感謝の心を忘れず、謙虚かつ積極的に生徒と関わり、学びます。 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』を熟読し、内容をすべて把握しておくこと。							
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』 文部科学省、平成30年、『中学校学習指導要領及び解説 美術編』、日本文教出版株式会社 文部科学省、平成30年、『高等学校学習指導要領及び解説 芸術編 音楽編 美術編』、教育図書株式会社							
参 考 書	講義時に説明します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			20%		30%	50%	
	補 足						実習終了時 実習校における評価	
課題に関する フィードバックの方法								
実務経験と 授業の関連	該当	経 験 内 容	林亨 / 中学校、高等学校教諭					
		科目との関連	林亨 / 中学校および高等学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[芸]高1種(美術)_選必							
そ の 他	教職課程を履修している者で、教育実習前に定められている科目を修得(『教育実習の手引き』『教職課程履修の手引き』参照)した者が受講できます。ただし、本人の頭髪・服装・態度、学ぶ姿勢、部活動の指導、他の点で教師としての適格性に欠けると認められる場合は、教育実習の履修を取消しまたは停止します。 生徒との明るく楽しい活動が、教科指導のための生徒理解や熱意溢れる教育研究や生き生きした授業につながります。生徒を指導する責任を常に自覚しながら、教師として明るく、謙虚に学ぶ態度で、自ら貴重な体験とすることを期待します。							

科 目 名			教職実践演習(中・高)		授業形態	講義・演習	単 位 数	2
教 員 名			林 亨、山下 圭介					
授 業 の 目 的	ねらい	3年半の教職に関する履修状況を踏まえ、中学校・高等学校の美術科教員に必要な資質や能力について、各自が「自己の学びの軌跡」として振り返るとともに、実践的指導力として不足している知識や技能を補い、その定着を図る。						
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)生徒理解や学級経営等が理解できている。 (4)教科内容の理解と具体的な指導力が身についている。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】履修カルテをもとに、これまでの学びの軌跡を確認し、自分自身の課題を明確にする。 【授業時間外の学修内容】教職に関する科目等についての履修の内容等を確認すること。	A・B・L	第9回	【テーマ】領域別教材研究(平面・絵画) 【計画内容】これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、平面・絵画領域における教材研究を深める。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ平面絵画領域の教材関連資料を収集しておくこと。	A・B		
	第2回	【テーマ】グループワークによる討論 【計画内容】現今の教育課題と学校現場における課題の整理を行う。グループに分かれて討論を実施する。 【授業時間外の学修内容】教育実習時の学習指導案、日誌等を準備して、各自の課題をしておくこと。	A・H	第10回	【テーマ】領域別教材研究(立体・彫刻) 【計画内容】これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、立体・彫刻領域における教材研究を深める。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ立体・彫刻領域の教材関連資料を収集しておくこと。	A・B		
	第3回	【テーマ】グループワークによる教材研究 【計画内容】美術科教育における教材研究の重要性を確認するとともに、各グループでお互いに不足している知識を補い個人の課題を発見し学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今までの教材研究資料をまとめておくこと。	A・H	第11回	【テーマ】領域別教材研究(デザイン・工芸) 【計画内容】これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、デザイン・工芸領域における教材研究を深める。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだデザイン・工芸領域の教材関連資料を収集しておくこと。	A・B		
	第4回	【テーマ】教材研究に基づく学習指導計画の検討 【計画内容】前回の教材研究を基に学習形態・指導と評価等を工夫した学習指導計画について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教材研究をまとめておき指導計画案作成の準備をしておくこと。	A・H	第12回	【テーマ】領域別教材研究(映像・鑑賞) 【計画内容】これまで学んだ教科指導内容について問題点を整理しながら、映像・鑑賞領域における教材研究を深める。 【授業時間外の学修内容】これまで学んだ映像・鑑賞領域の教材関連資料を収集しておくこと。	A・B		
	第5回	【テーマ】指導計画に基づく学習指導案の検討 【計画内容】前回の指導計画を基にした学習形態・指導と評価等を工夫した学習指導案の作成について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教材研究をまとめておき指導案作成の準備をしておくこと。	A・H	第13回	【テーマ】現地調査(フィールドワーク)① 【計画内容】教育現場で、現職教員と意見交換を行う。 【授業時間外の学修内容】意見交換の内容について事前準備をすること。	A・M		
	第6回	【テーマ】場面指導と討議 【計画内容】さまざまな場面指導の実際を確認し問題点を整理する。 【授業時間外の学修内容】場面指導のさまざまな事例を収集しておくこと。	A・H	第14回	【テーマ】現地調査(フィールドワーク)② 【計画内容】関連施設や関係機関において実務実習を行う。 【授業時間外の学修内容】実習の事前準備を行うこと。	A・M		
	第7回	【テーマ】学級経営について 【計画内容】望ましい学級経営のあり方に基づき、学級経営案や指導計画案を作成する。また、学級担任の役割や実務について演習する。 【授業時間外の学修内容】学級担任の役割等について、予習しておくこと。	A・H	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】教員として求められる基本的な資質や能力が身についたか、確認する。 【授業時間外の学修内容】「演習」全般を振り返り、指定された学習課題に取り組むこと。	A・G		
	第8回	【テーマ】生徒理解について 【計画内容】観察、心理検査などの演習を行うとともに、カウンセリング活動を行う。また、事例研究(いじめ、不登校、発達障害、学習障害等)を行う。 【授業時間外の学修内容】学習課題に取り組むこと。	A・H					
テキスト		文部科学省、2018年、『中学校学習指導要領及び解説 美術編』、日本文教出版株式会社 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領及び解説 芸術編 音楽編 美術編』、教育図書株式会社 北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』						
参 考 書		自作資料などを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
	補足			レポートなど				
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	林 亨 / 中学校、高等学校教諭					
		科目との関連	林 亨 / 中学校および高等学校教諭の業務経験をもとに実務に即した指導を行う。					
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[芸]中・高1種(美術)_必修						
そ の 他		実践演習で自己の課題を解決するために意欲的に取り組む姿勢が是非とも望まれます。課題分析や課題解決への積極性を養うため、授業に臨む基本的な生活習慣は厳守を望みます。「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の全てを修得済み、あるいは修得見込みであること。						

心理カウンセリング学科 学 科 専 門 科 目

科 目 名			公認心理師の職責		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			新川 貴紀、入江 智也、風間 雅江、小坂 守孝、澤 聡一、佐藤 至英					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、公認心理師に求められる役割や倫理、法的義務、クライアントとの関わり方などについて総合的に学習を行い、公認心理師が様々な領域で行う業務についても具体的に理解できることを目的とする。さらに公認心理師を目指すにあたり自身の課題や解決能力についても理解を深める。						
	到達目標	(1)公認心理師の役割について理解できる。 (2)公認心理師の法的義務と倫理について説明できる。 (3)クライアントの安全の確保について理解できる。 (4)守秘義務、情報の共有や取扱を理解できる。 (5)支援者としての自己課題の発見や能力の開発に積極的に取り組むことができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】公認心理師の役割 【計画内容】公認心理師に求められる役割、知識、技術について(新川貴紀) 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を熟読し、本講義で習得したいことを整理しておくこと	A・G	第9回	【テーマ】教育分野における心理的支援の在り方 【計画内容】教育分野における業務について(澤聡一) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G		
	第2回	【テーマ】公認心理師の法的義務及び倫理 【計画内容】法的義務と倫理的責任について(澤聡一) 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておくこと	A・G	第10回	【テーマ】産業・労働分野における心理的支援の在り方 【計画内容】産業労働分野における業務について(小坂守孝) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G		
	第3回	【テーマ】心理に関する支援を要するものの安全確保 【計画内容】倫理的配慮と安全について(入江智也) 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をしておくこと	A・G	第11回	【テーマ】保健医療領域における心理的支援の在り方① 【計画内容】保健医療分野における業務について(入江智也) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G		
	第4回	【テーマ】情報の適切な取り扱いについて 【計画内容】秘密保持の重要性、秘密保持の例外について(入江智也) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G	第12回	【テーマ】保健医療領域における心理的支援のあり方② 【計画内容】保健医療分野における業務について(風間雅江) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G		
	第5回	【テーマ】司法・犯罪分野における心理的支援の在り方 【計画内容】司法犯罪分野における業務について(新川貴紀) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G	第13回	【テーマ】自己課題発見・解決能力 【計画内容】自己課題の発見について(新川貴紀) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G		
	第6回	【テーマ】福祉分野における心理的支援の在り方① 【計画内容】福祉分野における業務について(澤聡一) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G	第14回	【テーマ】生涯学習への準備 【計画内容】生涯学習の意義と重要性について(風間雅江) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G		
	第7回	【テーマ】福祉分野における心理的支援の在り方② 【計画内容】福祉分野における業務について(佐藤至英) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G	第15回	【テーマ】他職種連携及び地域連携 【計画内容】連携しての支援について(小坂守孝) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G		
	第8回	【テーマ】福祉分野における心理的支援の在り方③ 【計画内容】福祉分野における業務について(風間雅江) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと	A・G					
テキスト		野島一彦(編)、2018年、『公認心理師の職責』、遠見書房、978-4-86616-051-1						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%			60%	
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	保健医療、教育、福祉、産業領域の心理職					
		科目との関連	それぞれの心理職としての経験を活かしての指導					
質問への対応		疑問や質問は、すみやかに担当教員へ問い合わせること。						
資 格		[心]公認心理師_必修						
そ の 他								

科 目 名			関係行政論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			飯田 昭人					
授 業 の 目 的	ねらい	公認心理師に求められる法律・制度の知識を学ぶとともに法的センス(法律を適用するうえでの柔軟な考え方)を身につけることを意識してもらう。公認心理師は保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働などの主要5領域はもちろん、引きこもりや貧困、犯罪被害などの様々なトピックスにおいても活躍を期待されている。 本講義では、各分野の法律・制度などの関連法規の基本的内容を学びながら、公認心理師に求められる社会的役割を法律の視点から考えていくこととする。						
	到達目標	(1)保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野に関連のある法律や制度等について概説できる。 (2)公認心理師法に求められるように公認心理師の業務は、法的な枠組みでの活動であることを理解する。 (3)関係諸機関との連携や協働を円滑に進められるための、公認心理師に必要な法律、制度についての知識を身に付ける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション～講義の進め方や公認心理師法についての概説～ 【計画内容】本講義のねらいや進め方を解説していくとともに、最も重要な法律の一つである公認心理師法について概説し、公認心理師が法律を学ぶ意義を取り上げていく。 【授業時間外の学修内容】テキスト1章を読んでその内容を理解していること。	A	第9回	【テーマ】教育分野に関する法律や制度① 【計画内容】教育分野における基本的な制度について概説する。 【授業時間外の学修内容】テキスト第10章及び第11章を読んでその内容を理解していること。	A		
	第2回	【テーマ】法・制度の基本と公認心理師 【計画内容】テキスト第1章の内容について取り上げる。具体的には、日本国憲法をはじめ公認心理師が関係していく法律について概説したり、立法・行政・司法の関係や法律条文の基本構造を取り上げたりする。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章及び第2章を読んでその内容を理解していること。	A	第10回	【テーマ】教育分野に関する法律や制度② 【計画内容】教育分野における心理支援を行う上で大切な法律や制度について概説する。 【授業時間外の学修内容】テキスト第11章及び第12章13章14章を読んでその内容を理解していること。	A		
	第3回	【テーマ】公認心理師の法的立場と多職種連携 【計画内容】テキスト第2章の内容について取り上げる。具体的には、公認心理師法の概説、多機関や倫理のあり方などについて取り上げる。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章及び第3章を読んでその内容を理解していること。	A	第11回	【テーマ】司法・犯罪分野に関する法律や制度① 【計画内容】司法・犯罪分野における刑事制度について概説する。また、家事問題についても一部概説する。 【授業時間外の学修内容】テキスト第12章及び第13章14章を読んでその内容を理解していること。	A		
	第4回	【テーマ】公認心理師の各分野への展開 【計画内容】テキスト第3章の内容について取り上げる。具体的には、秋分野の法律や制度を概観していくとともに、それらを横断的視点をもって公印心理師として大切にしていくことなどを取り上げる。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章及び第4章5章6章を読んでその内容を理解していること。	A	第12回	【テーマ】司法・犯罪分野に関する法律や制度② 【計画内容】司法・犯罪分野における家事問題について、前回に引き続き概説するとともに、少年非行の各種制度についても概説していく。 【授業時間外の学修内容】テキスト第13章及び第14章15章を読んでその内容を理解していること。	A		
	第5回	【テーマ】保健医療分野に関する法律や制度① 【計画内容】保健医療分野における医療分野全般について概説する。また、精神医療についても一部概説する。 【授業時間外の学修内容】テキスト第4章及び第5章6章を読んでその内容を理解していること。	A	第13回	【テーマ】産業・労働分野に関する法律や制度 【計画内容】主に安全衛生対策に関する法令や体制、心の健康の保持増進に係る法令や制度、過重労働対策に係る法令や制度などを概説していく。 【授業時間外の学修内容】テキスト第15章及び第16章を読んでその内容を理解していること。	A		
	第6回	【テーマ】保健医療分野に関する法律や制度② 【計画内容】保健医療分野における精神医療について、前回に引き続き概説するとともに、地域保健・医療についても概説していく。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章及び第7章8章9章を読んでその内容を理解していること。	A	第14回	【テーマ】法律がいのちの輝きをささえるために～心の健康・障害・多様性・危機をふまえて～ 【計画内容】発達障害、貧困対策、多様性、死と自己決定権など様々なトピックスについて考えていくとともに、公認心理師の未来のあるべき姿などについても考えていく。 【授業時間外の学修内容】テキスト第16章を読んでその内容を理解していること。	A		
	第7回	【テーマ】福祉分野に関する法律や制度① 【計画内容】福祉分野における児童福祉について概説する。また、障害者・障害児福祉についても一部概説する。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章及び第8章9章を読んでその内容を理解していること。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】第1回目から14回目までの講義を振り返り、公認心理師に求められる役割の再確認する。特に公認心理師が知っておかなければならない法律や制度の知識を確固たるものとするとともに、法律をもとに柔軟に考える姿勢を身につけてもらえるよう、一人ひとり考える時間としたい。 【授業時間外の学修内容】第1回目から第14回目の講義全てを振り返り、疑問点などをまとめておく。	A		
	第8回	【テーマ】福祉分野に関する法律や制度② 【計画内容】福祉分野における障害者・障害児福祉について、前回に引き続き概説するとともに、高齢者福祉についても概説していく。 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章及び第9章10章11章を読んでその内容を理解していること。	A					
テキスト		元永拓郎編(法律監修 黒川達雄)、2018年、『関係行政論』、遠見書房、978-4-86616-105-1						
参 考 書		テキストを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		20%	30%	
補	足						リアクションペーパー	
課題に関するフィードバックの方法		毎回の講義終了後にリアクションペーパーを提出してもらいそれを評価する。 また、最終レポート課題を2題課す。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	公認心理師、臨床心理士、元警察職員(少年心理専門官)					
		科目との関連	公認心理師、臨床心理士、元警察職員(少年心理専門官)の経験を活かし、法律を教示する。					
質問への対応		Microsoft Teams のチャットで質問等してください。						
資 格		[心]公認心理師_必修						
そ の 他		公認心理師資格取得を考えるにあたり、関係法規の理解は必須ですので、真剣に受講してください。また、必ずテキストは事前にお読みください。						

科 目 名			現代社会と福祉Ⅰ			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			伊藤 新一郎						
授 業 の 目 的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となってきた。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない／まだはじまったばかりの支援もある。 以上より、本科目では、社会福祉の理念・原理・哲学に加え、現代社会の変化・動向と福祉政策の関係、そしてそれに関わる主体(アクター)間の役割分担、社会福祉や福祉政策の課題などについて理解することを目指す。							
	到達目標	(1)現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 (2)福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 (3)福祉政策の構成要素(政府、市場、家族、個人等)について理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】社会の変化と福祉① 【計画内容】伝統社会から近代社会への移行、福祉国家の成立について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】近代社会・福祉国家について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第9回	【テーマ】福祉政策の発展過程② 【計画内容】戦後から高度経済成長期における福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】戦後復興と高度経済成長期における日本の社会経済について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第2回	【テーマ】社会の変化と福祉② 【計画内容】福祉国家の変容、現代社会の変化と福祉、福祉政策の課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】福祉政策における今日的課題とされる事項について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第10回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策① 【計画内容】1970年代～1980年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】オイルショック・行政改革について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第3回	【テーマ】福祉と福祉政策① 【計画内容】社会福祉の概念と範囲について歴史的展開と今日的動向について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会福祉の概念・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第11回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策② 【計画内容】1990年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】バブル経済の崩壊、失われた10年について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第4回	【テーマ】福祉と福祉政策② 【計画内容】福祉政策の特徴と社会福祉士の役割・機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会福祉士及び介護福祉士法の内容について確認しておく。	A	第12回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策③ 【計画内容】2000年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会福祉基礎構造改革、社会福祉法の成立、契約制度について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第5回	【テーマ】福祉の思想と哲学① 【計画内容】福祉の思想・哲学、市場の論理と倫理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】福祉の思想に関わる人権について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第13回	【テーマ】福祉政策と政治 【計画内容】福祉政策と政治・社会の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日本の政治制度や地域・家族・社会変化の動向について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第6回	【テーマ】福祉の思想と哲学② 【計画内容】福祉の理論的基礎としてのロールズの正義論とセンの潜在能力論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ロールズとセンの主張について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第14回	【テーマ】福祉政策と経済 【計画内容】福祉政策と経済の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今日の政府による経済政策(アベノミクス等)について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第7回	【テーマ】社会政策と福祉政策 【計画内容】社会政策と福祉政策の概念・範囲と両者の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】社会政策と福祉政策の範囲・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】14回までの内容を復習しておく。	A			
	第8回	【テーマ】福祉政策の発展過程① 【計画内容】近代化と福祉政策の関係・展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】近代化・産業化の特徴について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A						
テキスト		毎回、講義資料を配付します。							
参 考 書		必要に応じて紹介する。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	70%				30%			
補 足	足								
課題に関するフィードバックの方法		授業内で適宜質問等を受け付け、できる限りその場で回答する。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		E-Mail: ito@hokusei.ac.jp							
資 格		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必							
そ の 他		・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の受験資格の取得に必要な科目であるため、評価は厳密に行う。 ・社会経済情勢や福祉政策・社会保障の動向に関するマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。							

科 目 名		現代社会と福祉Ⅱ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		吉田 竜平					
授 業 的 目 的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的に解決をしなければならない課題が山積している。例えば介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来への不安と閉塞感の深まりである。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たすべき役割はなおのこと重要となってきた。他方で、既存の制度枠組みでは対応が困難な事象やまだ始まったばかりの制度や支援もある。以上より、本科目では、福祉政策における必要（ニーズ）や関連領域との関係や動向、実際の相談援助における原理・原則、先進諸国の福祉政策の展開、現在の日本における福祉政策理念の重要点と今後の課題などについて理解することを目的とする。					
	到達目標	(1)福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 (2)福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む)の関係について理解する。 (3)相談援助活動と福祉政策の関係について理解する。 (4)福祉政策の国際的動向と課題について理解する。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】福祉政策における必要（ニーズ）と資源 【計画内容】必要（ニーズ）概念と資源について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】必要（ニーズ）概念について、関係する社会福祉士指定科目や、他科目で学習した内容について復習しておく。	A	第9回	【テーマ】福祉サービスと援助活動① 【計画内容】相談援助の原理・原則・方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A	
	第2回	【テーマ】福祉政策の理念・主体・手法 【計画内容】福祉政策の理念、資源配分システム、政策決定と評価について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】福祉政策の理念の基礎となる社会福祉における価値について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第10回	【テーマ】福祉サービスと援助活動② 【計画内容】相談援助と地域福祉の関係と今日的展望、課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A	
	第3回	【テーマ】福祉政策と関連領域① 【計画内容】福祉政策と権利擁護、保健医療、所得保障の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A	第11回	【テーマ】福祉政策の国際比較① 【計画内容】北米、西欧・北欧の福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】アメリカ、イギリス、スウェーデンなどの先進諸国の福祉に関して調べ学習をしておく。	A	
	第4回	【テーマ】福祉政策と関連領域② 【計画内容】福祉政策と雇用、教育、住宅、災害支援の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A	第12回	【テーマ】福祉政策の国際比較② 【計画内容】東アジア諸国の福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】韓国、中国、台湾などの東アジア諸国の福祉に関して調べ学習をしておく。	A	
	第5回	【テーマ】社会福祉制度の体系① 【計画内容】社会福祉制度の仕組みと構造について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A	第13回	【テーマ】福祉政策の課題と展望① 【計画内容】新たな社会的リスクへ対応する福祉政策のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】人間のライフサイクル、ライフコースと典型的な生活課題について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	
	第6回	【テーマ】社会福祉制度の体系② 【計画内容】社会福祉制度と福祉サービスの関係・現状・課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A	第14回	【テーマ】福祉政策の課題と展望② 【計画内容】福祉政策の今日的な理念である地域共生社会、地域包括ケアなどについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域共生社会、地域包括ケアシステムについて調べ学習をしておく。	A	
	第7回	【テーマ】福祉サービスの提供① 【計画内容】福祉サービスの提供・利用方式(措置・高齢・障害・保育など)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】第14回までの講義の復習をしておく。	A	
	第8回	【テーマ】福祉サービスの提供② 【計画内容】福祉サービスの提供における運営管理部門の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士国家試験指定科目の内容を復習しておく。	A				
テキスト		テキストは使用しない。毎回、授業資料を配付します。					
参 考 書		必要があれば、適宜、授業時に紹介する。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	60%		10%		30%	
補 足							
課題に関するフィードバックの方法		学生からの質問内容が、全体で共有することが望ましいものであれば、授業内で取り上げ共有していく。					
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		質問の内容によって、口頭、メールのどちらかで対応する。 連絡先 E-Mail: r-yoshida@hokusei.ac.jp					
資 格		〔心〕精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 〔健〕社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必					
そ の 他		・本科目は、社会福祉士、精神保健福祉士国家試験の指定科目である。 ・福祉政策・社会保障に関する新聞・TV(ニュース、ドキュメンタリー等)のマスコミ報道に関心を持つことが望ましい。					

科 目 名			社会福祉行政・福祉計画論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			林 恭裕					
授 業 の 目 的	ねらい	1990年の社会福祉関係8法の改正により、市町村は老人保健福祉計画の策定が義務付けられたが、その後障害者計画、障害福祉計画、介護保険事業計画などが続き、社会福祉は、計画に基づいて進められることになりました。この授業では、そうした社会福祉に関わる計画の意義とその策定方法に学ぶとともにそうした計画を裏付ける財源の確保、さらには計画の推進方法や推進する組織や団体などについて学びます。						
	到達目標	(1)社会福祉計画の意義と必要性について理解する (2)各種福祉計画に共通する計画の策定の理論と仕組みについて理解する (3)各種計画を進めるための財源の仕組みについて理解する (4)個別の福祉計画の実践について理解する						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この授業の意義と進め方についてガイダンスします。さらに、社会福祉の理念の変遷など、現代社会福祉の概要と課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】居住する市町村の地域福祉計画、老人福祉計画などを市町村のホームページで閲覧しておくこと。	A	第9回	【テーマ】福祉計画の理論と技法(1) 福祉計画の基本的視点 【計画内容】福祉計画とは何か。ここでは、福祉計画の役割、社会体制との関係、福祉計画の概念など福祉計画の基本的視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A		
	第2回	【テーマ】社会福祉制度の展開と福祉計画の概要 【計画内容】戦後の社会福祉制度の変化について、主に法制度から振り返り、福祉計画の概要と今日的役割などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A	第10回	【テーマ】福祉計画の理論と技法(2) 福祉計画のプロセスとニーズ把握 【計画内容】福祉計画を策定するうえで、そのプロセスと留意点について学ぶとともに計画を策定するうえで必要不可欠のニーズ把握について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A		
	第3回	【テーマ】福祉行政の骨格 【計画内容】これまでの福祉行政のなりたちと根拠(憲法)について学ぶとともに実際の福祉行政をすすめる地方自治(分権)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A	第11回	【テーマ】福祉計画の理論と技法(3) 福祉計画の評価と住民参加 【計画内容】福祉計画が有効性を持った計画がどうかは、そのために評価がどうあるべきかが重要になる。市町村をベースに行われる福祉サービスには、住民の参加が必要不可欠。ここでは、福祉計画の評価方法と住民参加の意義と役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A		
	第4回	【テーマ】福祉行政の組織と社会福祉基礎構造 【計画内容】国、都道府県、市町村の組織と役割分担について学び、社会福祉基礎構造と分化している福祉サービスの仕組みについて理解を深める。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A	第12回	【テーマ】福祉計画の実践(1) 老人福祉計画・介護保険事業計画 【計画内容】福祉計画がどのように策定されているかを学ぶ。ここでは、実際の老人福祉計画と介護保険事業計画の策定について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の住んでいる市町村の老人福祉計画・介護保険事業計画を事前に閲覧しておくこと	A		
	第5回	【テーマ】福祉財政の仕組み 【計画内容】福祉サービスを供給するうえで必要な財源の調達について学ぶとともに地方分権との関係でこれからの福祉財政のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A	第13回	【テーマ】福祉計画の実践(2) 障害者計画・障害福祉計画 【計画内容】福祉計画がどのように策定されているかを学ぶ。ここでは、実際の障害者計画と障害福祉計画の策定について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】自分の住んでいる市町村の障害者計画・障害福祉計画を事前に閲覧しておくこと	A		
	第6回	【テーマ】福祉行政の組織、団体と専門職の役割 【計画内容】社会福祉制度の実施を担う国、地方公共団体(都道府県・市町村)、児童相談所などの専門機関、地域包括支援センターなどの相談機関とそこに属する専門職の役割などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A	第14回	【テーマ】福祉計画の実践(3) 地域福祉計画・次世代育成支援行動計画 【計画内容】福祉計画がどのように策定されているかを学ぶ。ここでは、実際の地域福祉計画と次世代育成支援行動計画の策定について学びます。 【授業時間外の学修内容】自分の住んでいる市町村の次世代育成支援行動計画・地域福祉計画を事前に閲覧しておくこと	A		
	第7回	【テーマ】社会福祉計画の歩み 【計画内容】戦後の社会福祉活動において、社会福祉計画の手法は古くから取り組まれており、ここでは社会福祉計画の基本的な考え方とその歩みについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめ(課題と展望) 【計画内容】これまでの授業を振り返り福祉計画の課題についてまとめるとともに今後の在り方について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでに配付したプリントを振り返る。	A		
	第8回	【テーマ】福祉計画の目的と意義 【計画内容】1990年の社会福祉関係8法の改正以後、老人保健福祉計画が義務付けられ福祉計画の重要性が増した。ここでは、福祉計画の意義と目的について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを確認して、事前に関連する事項について学習をしておくこと。	A					
テキスト		プリントを使用します。						
参 考 書		武川正吾編、2005年、『地域福祉計画』、有斐閣、4-641-12260-1						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	80%				20%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		メールでの質問等を受けます。 E-Mail:3018022@ wm.hokusho-u.ac.jp						
資 格		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必 [健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必						
そ の 他		自分の住んでいる町の行政計画に関心を持つこと。住民意識を持ち、住民自治について考えてみよう。						

科 目 名				精神保健福祉学Ⅲ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				古川 奨、今井 博康、寺田 香					
授 業 の 目 的	ねらい	「精神保健福祉学Ⅰ・Ⅱ」(2年次開講)において、精神保健福祉実践に必要な視点、技術、知識について学んだところであるが、本科目では、精神保健福祉援助実習において、制度・政策・その他社会的サービスの活用に触れたことを前提として、精神障害者の生活支援の意義と特徴について再確認を行う。また、めまぐるしく変化する精神保健福祉関連制度、施策等(居住支援や就労支援等)の改正などの最新動向を理解することを目的におく。							
	到達目標	(1)精神障害者の人権について、担当事例や実際の相談援助活動から検討、理解できる。 (2)精神保健福祉士の理念、意義、対象をより具体的に理解できる。 (3)精神保健福祉援助において必要とされる知識、技術を具体的に、实际的に理解できる。 (4)精神保健福祉施策・制度の具体的な活用方法を理解し、制度改正の要点を把握する。 (5)市町村および行政機関における相談援助の概要及び実際を理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】精神障害者の概念と処遇について 【計画内容】精神障害者の概念の考察および歴史の概観。(今井博康・寺田香) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第1章Ⅰなど)を確認しておくこと。	A・K・L	第9回	【テーマ】精神障害者の居住支援(3) 【計画内容】住居支援の実際。(古川奨) 【授業時間外の学修内容】第7回、第8回の講義内容を復習しておくこと。	A・K・L			
	第2回	【テーマ】生活の実態 【計画内容】精神保健福祉援助実習機関を利用する精神障害者の理解。(今井博康・寺田香) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第4章Ⅰなど)を確認しておくこと。	A・K・L	第10回	【テーマ】精神障害者の就労支援(1) 【計画内容】就労支援制度の概要。(古川奨) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第4章Ⅲなど)を確認しておくこと。	A・K・L			
	第3回	【テーマ】精神障害者の生活と人権(1) 【計画内容】精神科医療機関(病院・診療所)設立の法的根拠及びそこで活用される法制度。(今井博康) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第1章Ⅰなど)を確認しておくこと。	A・K・L	第11回	【テーマ】精神障害者の就労支援(2) 【計画内容】関係する組織および専門職の役割と連携。(古川奨) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第4章Ⅲなど)を確認しておくこと。	A・K・L			
	第4回	【テーマ】精神障害者の生活と人権(2) 【計画内容】障害福祉サービス機関設立の法的根拠及びそこで活用される法制度。(今井博康) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第1章Ⅱ、第4章Ⅳなど)を確認しておくこと。	A・K・L	第12回	【テーマ】精神障害者の就労支援(3) 【計画内容】就労支援の実際。(古川奨) 【授業時間外の学修内容】第10回、第11回の講義内容を復習しておくこと。	A・K・L			
	第5回	【テーマ】精神保健福祉士の理念と意義(1)精神保健福祉士の専門性と倫理 【計画内容】(社)日本精神保健福祉士協会倫理綱領を紐解きつつ、その実践への応用を学ぶ。(寺田香) 【授業時間外の学修内容】(社)日本精神保健福祉士協会倫理綱領を確認しておくこと。	A・K・L	第13回	【テーマ】精神障害者の生活支援 【計画内容】行政組織、関連施策・制度(医療保険、所得保障、税制等)。(寺田香) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第1章Ⅲ、第3章など)を確認しておくこと。	A・K・L			
	第6回	【テーマ】精神保健福祉士の理念と意義(2)精神保健福祉士の人権擁護 【計画内容】精神医療の利用及び地域社会生活における人権保障とその擁護への関与を学ぶ。(寺田香) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第1章など)を確認しておくこと。	A・K・L	第14回	【テーマ】精神障害者の処遇についての考察 【計画内容】医療観察法と更生保護制度への考察。(今井博康) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第2章など)を確認しておくこと。	A・K・L			
	第7回	【テーマ】精神障害者の居住支援(1) 【計画内容】住居支援制度の概要。(古川奨) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第4章Ⅱなど)を確認しておくこと。	A・K・L	第15回	【テーマ】精神保健福祉士の展望(まとめ) 【計画内容】現代社会、地域社会の精神保健福祉領域における役割および職域の拡大理解。(今井博康・寺田香) 【授業時間外の学修内容】実習で経験した精神保健福祉士の業務内容、実習場面において必要と感じられた技術・知識について、これまでの講義内容を踏まえ、整理しておくこと。	A・K・L			
	第8回	【テーマ】精神障害者の居住支援(2) 【計画内容】関係する組織および専門職の役割と連携。(古川奨) 【授業時間外の学修内容】テキスト該当部分(第4章Ⅱなど)を確認しておくこと。	A・K・L						
テキスト		精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『精神保健福祉の制度・サービスと生活支援システム(第6版)』、へるす出版、9784892699092							
参 考 書		精神保健医療福祉白書編集委員会、2018年、『精神保健医療福祉白書2018/2019』、中央法規出版、9784805857243							
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他			
	配 分	50%			50%				
	補 足	持ち込み不可			リアクションペーパー、教員の質問へのレスポンス等				
課題に関するフィードバックの方法		・テストについては、解答例・解説資料をテスト終了後に配付する。							
実務経験と授業の関連	該 当	経 験 内 容	精神保健福祉士						
		科目との関連	精神科病院等、精神保健福祉分野における施設での実践経験に基づいた内容を盛り込み教授する。						
質問への対応		リアクションペーパーでも受け付けるが、講義内での積極的な質疑、対面式による質疑を期待する。							
資 格		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必							
そ の 他		精神保健福祉学Ⅰ、精神保健福祉学Ⅱの履修者を対象とする。そのほか、精神保健福祉士受験資格取得のための、他の指定科目(講義系科目ほか「精神保健福祉援助実習」および「精神保健福祉援助実習指導」)を履修していることが望ましい。試験・レポートについては返却し、解説・講評する。							

科 目 名				精神保健福祉援助演習Ⅱ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		今井 博康、尾形 多佳士							
授 業 の 目 的	ねらい	精神障害者及びその家族のより具体的な生活課題、多重生活問題への対処、さらには地域生活の保持と発展、地域社会に存在する諸問題の発見と対応について、精神保健福祉士に求められる価値を基盤としつつ、どのような知識・技術を用いて解決を求めていくかを総合的に理解する。また実習後の本演習の展開においては、実習体験も加味した具体的なイメージ形成、ならびにスーパービジョンの要素を採用した展開により、実践的な精神保健福祉士の養成にあたる。							
	到達目標	(1)専門職としての価値・技能・知識を自覚的に用いることができる。 (2)援助者としての自己への気づきを能動的に行うことができる。 (3)課題発見から情報収集を経て、アセスメントまでできる。 (4)習得した技能を意識的に用いることができる。 (5)相談援助の一連の経過と包括的支援について、事例から具体的に検討することができる。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 諸用語の理解と解説 【計画内容】すでに展開されている、「精神保健福祉援助技術各論」、「精神保健福祉援助実習指導」との連動を視野に入れ、実践上で用いられる諸用語、ならびに制度の基本的理解度を確認する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】 事例検討(3) 【計画内容】雇用・就労支援事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・J			
	第2回	【テーマ】 総合的かつ包括的な相談援助とは 【計画内容】エコシステム理論、ライフモデル、近年注目されるナラティブモデルなどをテーマにして事例をどのように読み解くか、またその視点をどう育てていくかについて解説する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・B	第10回	【テーマ】 事例(3)プレゼンテーション 【計画内容】グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。新たな視点があれば次回以降の参考にする。最後に教員が総括する。 【授業時間外の学修内容】事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	A・J			
	第3回	【テーマ】 事例検討法(1) 【計画内容】事例検討、事例研究、ならびに症例検討の違いについてあらかじめ文献等により各自が調べ、発表と解説を通じて共通理解を得る。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・H・J	第11回	【テーマ】 事例検討(4) 【計画内容】貧困、低所得、あるいはホームレス状態にある精神障害者事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	J			
	第4回	【テーマ】 事例検討法(2) 【計画内容】事例検討、事例研究、ならびに症例検討の違いについてあらかじめ文献等により各自が調べ、発表と解説を通じて共通理解を得る。また、各事例における経過性(インテーク面接から終結)を重視することを教示する。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・H・J	第12回	【テーマ】 事例(4)プレゼンテーション 【計画内容】グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。低所得問題やホームレスが精神障害者特有の課題ではなく、今日の雇用形態や国民生活の不安定さと密接に関連する課題であることを併せて理解する。 【授業時間外の学修内容】事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	F			
	第5回	【テーマ】 事例検討(1) 【計画内容】退院支援あるいは地域移行支援事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・H・J	第13回	【テーマ】 事例検討(5) 【計画内容】他職種連携(チームアプローチ)事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A・H			
	第6回	【テーマ】 事例(1)プレゼンテーション 【計画内容】グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。新たな視点があれば次回以降の参考にする。最後に教員が総括する。 【授業時間外の学修内容】事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	F	第14回	【テーマ】 事例(5)プレゼンテーション 【計画内容】グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。また、本事例に限らずチームによるアプローチはさまざまな形で行われていることの理解を深める。 【授業時間外の学修内容】事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	F			
	第7回	【テーマ】 事例検討(2) 【計画内容】地域生活支援事例を提供し、グループごとに事例検討法に基づいてディスカッションを行う。不明点等は教員に確認しつつ、プレゼンテーションの用意も行う。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	F	第15回	【テーマ】 事例(6) 【計画内容】ピア・サポート、セルフヘルプグループ等に関する事例を紹介する。特に当事者同士のもつ力、「仲間」の力、などに着目するとともに当事者と精神保健福祉士との関係性について検討する。また、実習直前であることから、第1回授業内容について復習を促す。 【授業時間外の学修内容】第5回～第14回までの授業内容について復習しておくこと。	A・L			
	第8回	【テーマ】 事例(2)プレゼンテーション 【計画内容】グループごとにプレゼンテーションを行い、各グループの共通点と相違点を確認する。新たな視点があれば次回以降の参考にする。最後に教員が総括する。 【授業時間外の学修内容】事前に示すプレゼンテーション内容について整理しておくこと。	F						
テキスト		教員作成のレジュメを配付します。							
参 考 書		新版・精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『改訂新版・精神保健福祉士養成セミナー7「精神保健福祉援助演習[基礎][専門]』』、へるす出版、9784892698378							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			40%		60%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		積極的な質疑、対面による質疑を期待する。							
資 格		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必							
そ の 他		本教科を履修登録していない者は、「精神保健福祉援助実習指導」、「精神保健福祉援助実習」を履修出来ない。提出物及び出席を重視するので、積極的な参加が求められる。							

科 目 名				精神保健福祉援助演習Ⅲ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名				今井 博康、古川 奨					
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は「精神保健福祉援助実習」を終えていることを前提に展開する。 実習でのスーパービジョン経験、学びを加味し、精神障害者及びその家族のより具体的な生活課題、多重生活問題への対処、さらには地域生活の保持と発展、地域社会に存在する諸問題の発見と対応について、どのような知識・技術を用いて精神保健福祉士は支援するのか、実践的な検討ができることを目的とする。							
	到達目標	(1)専門職としての価値・技能・知識を自覚的に用いることができる。 (2)援助者としての自己への気づきを能動的に行うことができる。 (3)課題発見から情報収集を経て、アセスメントまでできる。 (4)習得した技能を意識的に用いることができる。 (5)相談援助の一連の経過と包括的支援について、事例から具体的に検討することができる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】精神保健福祉援助実習における経験(1) 【計画内容】「精神保健福祉援助演習Ⅱ」で実施した内容と実習における経験の相違点、共通点について各自の意見を述べる。 【授業時間外の学修内容】実習日誌等から実習内容について振り返っておくこと。	H・L	第9回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(7) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【授業時間外の学修内容】事例検討法について復習し、担当にあたる学生は発表準備をしておくこと。	B・H・J			
	第2回	【テーマ】精神保健福祉援助実習における経験(2) 【計画内容】「精神保健福祉援助演習Ⅱ」で実施した内容と実習における経験の相違点、共通点について各自の意見を述べる。いわゆる座学と実践経験における同異点、ソーシャルワーク理論の必要性に関する復習とまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】実習日誌等から実習内容について振り返っておくこと。	H・L	第10回	【テーマ】理論と実践をつなぐ(1) 【計画内容】全事例のうち、特に個別援助に関連するソーシャルワーク実践モデル、援助的なかかわりの試行について、教員より解説し整理を試みる。 【授業時間外の学修内容】ソーシャルワーク実践モデルについて復習しておくこと。	A・B			
	第3回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(1) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 初回では事例検討とスーパービジョンの焦点の違いについて解説する。 【授業時間外の学修内容】事例検討法について復習し、担当にあたる学生は発表準備をしておくこと。	A・B・H	第11回	【テーマ】理論と実践をつなぐ(2) 【計画内容】全事例のうち、特にグループワークに関連する実践モデルを取り上げ、レクリエーション、タスクグループ、治療的グループ等の特徴の整理、媒介役として精神保健福祉士に求められる知識・技能を解説する。 【授業時間外の学修内容】ソーシャルワーク実践モデルについて復習しておくこと。	A・B			
	第4回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(2) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【授業時間外の学修内容】事例検討法について復習し、担当にあたる学生は発表準備をしておくこと。	B・H	第12回	【テーマ】地域における精神保健福祉(1) 【計画内容】今後、精神保健福祉士に求められる社会の要請(自殺、児童や高齢者虐待、いじめ等)に関する考察を行う。実習体験ならびに演習を応用しながら、現代社会における諸問題にどのような対応が求められるのかを検討する。 【授業時間外の学修内容】児童、虐待・高齢者虐待・いじめに関する問題について復習しておくこと。	A・B・H			
	第5回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(3) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【授業時間外の学修内容】事例検討法について復習し、担当にあたる学生は発表準備をしておくこと。	B・J	第13回	【テーマ】地域における精神保健福祉(2) 【計画内容】今後、さらに精神保健福祉士に求められる社会の要請(アルコール・薬物依存に関する問題、医療観察法を含む司法に関連する問題)に関する考察を行う。実習体験ならびに演習を応用しながら、現代社会における諸問題にどのような対応が求められるのかを検討する。 【授業時間外の学修内容】アルコール・薬物依存に関する問題、医療観察法を含む司法に関連する問題について復習しておくこと。	A・B・H			
	第6回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(4) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【授業時間外の学修内容】事例検討法について復習し、担当にあたる学生は発表準備をしておくこと。	B・J	第14回	【テーマ】地域の再構築と精神保健福祉士 【計画内容】視点を更に広げ、どのような街づくりがメンタルヘルス上においても住みよいと言えるのか、対象とするクライアントと地域社会の双方にまなざしを向けるとはどのようなことか、ディスカッションを行う。 【授業時間外の学修内容】第13回の授業内容を復習しておくこと	B・H・J			
	第7回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(5) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【授業時間外の学修内容】事例検討法について復習し、担当にあたる学生は発表準備をしておくこと。	B・H	第15回	【テーマ】ソーシャルアクションと精神保健福祉士 【計画内容】制度・政策と、それへのアクセスの保障という観点から、ミクロからマクロレベルにおける精神保健福祉士の視点、ならびにソーシャルアクションの方法について考察する。第12回～第15回を総括し、多様な領域における精神保健福祉士の実践のより具体的なイメージを図る。 【授業時間外の学修内容】これまでの演習内容を復習しておくこと。	B・L			
	第8回	【テーマ】実習でのかかわり事例の検討とスーパービジョン(6) 【計画内容】実習において個別に関与した方たちとのかかわりを事例化し、その経過とアセスメントを発表する。 【授業時間外の学修内容】事例検討法について復習し、担当にあたる学生は発表準備をしておくこと。	B・H						
テキスト	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会、2017年、『精神保健福祉士養成セミナー7「精神保健福祉援助演習[基礎] [専門]」<第6版>』、へるす出版、9784892699108 教員作成のレジュメを配付します。								
参 考 書	講義時に説明します。								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			30%		30%	40%		
	補足					グループワークへの参加状況	演習の取組		
課題に関するフィードバックの方法	課題については事前に採点基準を示し、採点后返却し、解説・講評する。								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容								
	科目との関連								
質問への対応	積極的な質疑、対面式による質疑を期待する。								
資 格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必								
そ の 他	「精神保健福祉援助実習指導」、「精神保健福祉援助実習」の履修をする必要がある。 提出物及び出席を重視するので、積極的な参加が求められる。								

科目名		精神保健福祉援助実習指導		授業形態	演習	単位数	3
教員名		今井 博康、寺田 香、古川 奨					
授業の目的	ねらい	3年次後学期から4年次後学期にわたり展開される科目であり、学期ごとの目的・ねらいは以下のとおりである。 (1) (3年次後学期) 実習の意義について理解し、実習に於いて必要な態度・職業倫理の涵養および精神保健福祉援助に係る知識と技術の習得する。春休みに実施する障害福祉サービス事業所等での実習①に備え、実習現場の性格とその概況および対象者について理解し、実習目標を設定する。 (2) (4年次前学期) 障害福祉サービス事業所等での実習①での実習態度および課題への取り組み、達成状況を振り返る。また医療機関での実習②に備え、実習現場の性格と概況および対象者について理解し、主体的な実習目標を設定する。 (3) (4年次後学期) 実習①と②、実習全体の総括を行い、専門的知識および技術について体系立てて理解する。また、特に自己の実習の主体的評価を行い、実習の意義を確認する。					
	到達目標	(1)精神保健福祉士に必要な価値について理解する。 (2)精神保健福祉士に必要な基本的知識を獲得する。 (3)精神保健福祉士に必要な援助技術を習得する。 (4)実習機関で求められるマナー等を獲得する。 (5)主体的な学習態度の必要性を自覚する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】実習①帰学指導 【計画内容】教員によるスーパーバージョン。1週目ということで、実習内容の確認および心身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。2週目に向けて、実習課題を確認する。また実習日誌の記載方法の確認および指導を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D・H・G	第16回	【テーマ】実習②帰学指導(1) 【計画内容】教員によるスーパーバージョン。1週目ということで、実習内容の確認および心身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。2週目に向けて、実習課題を確認する。また実習日誌の記載方法の確認および指導を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D・G・H	
	第2回	【テーマ】実習②巡回指導 【計画内容】巡回指導。学生と教員、現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員の三者面談も行う。2週目ということ1回目の帰学指導内容について確認し、実習課題とその達成状況を確認し、残りの実習の方向性について確認作業を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D・G	第17回	【テーマ】実習②帰学指導(2) 【計画内容】2回目の帰学指導。教員によるスーパーバージョン。実習内容の確認および心身の健康状況及び困りごとなどについて話し合う。3週目に向けて、実習課題を確認する。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D・G・H	
	第3回	【テーマ】グループスーパーバージョン(1) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返り、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	H・L	第18回	【テーマ】実習②巡回指導 【計画内容】巡回指導。学生と教員、現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員、学生と現場実習指導者と教員の三者面談も行う。実習課題の達成状況を確認し、残りの実習の方向性について確認作業を行う。 【授業時間外の学修内容】巡回指導記録、実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D・G	
	第4回	【テーマ】グループスーパーバージョン(2) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返り、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	H・L	第19回	【テーマ】実習②帰学指導(3) 【計画内容】3回目の帰学指導。巡回指導後の実習課題取り組み状況について確認する。 【授業時間外の学修内容】実習記録(日誌、各週達成状況報告)を整理しておくこと。	D・G	
	第5回	【テーマ】個人スーパーバージョン及び実習①報告書作成 【計画内容】教員の個人スーパーバージョンを実施する。また実習報告書の作成に着手する。 【授業時間外の学修内容】グループスーパーバージョンの内容をまとめておくこと。	G	第20回	【テーマ】グループスーパーバージョン(1) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返り、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	H・L	
	第6回	【テーマ】実習①報告書作成と修正 【計画内容】グループセミナー方式により、それぞれが作成した実習報告書を発表し、相互に必要な修正を加える。 【授業時間外の学修内容】個人スーパーバージョンの内容をまとめておくこと。	F・L	第21回	【テーマ】グループスーパーバージョン(2) 【計画内容】実習を終えた学生同士で、教員が展開するグループスーパーバージョンを実施する。実習の主体的振り返り、可能な限り客観的かつ内省的な評価を行う。 【授業時間外の学修内容】実習記録等から実習内容を振り返っておくこと。	H・L	
	第7回	【テーマ】実習①報告書の完成 【計画内容】スーパーバージョン及びグループセミナーで獲得した知見に加え、個別及び教員の指導によって実習報告書を作成する。 【授業時間外の学修内容】個別、教員の指導内容をまとめておくこと。	G	第22回	【テーマ】個人スーパーバージョン及び実習②報告書作成 【計画内容】教員の個人スーパーバージョンを実施する。また実習報告書の作成に着手する。 【授業時間外の学修内容】グループスーパーバージョンの内容をまとめておくこと。	B・G	
	第8回	【テーマ】実践者に学ぶ 【計画内容】精神科医療機関に勤務する精神保健福祉士をゲストスピーカーに迎え、精神科医療機関の現状、精神保健福祉士の業務内容、必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術、実践上の諸課題について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	A・G	第23回	【テーマ】実習②報告書の完成 【計画内容】スーパーバージョン及びグループセミナーで獲得した知見に加え、個別及び教員の指導によって実習報告書を作成する。 【授業時間外の学修内容】個別、教員の指導をまとめておくこと。	B・G	
	第9回	【テーマ】見学実習(2) 【計画内容】精神科医療機関の見学、体験実習を行い、施設・機関・事業者・団体・地域社会等の概要、全体を理解する。 【授業時間外の学修内容】見学先の依頼する法制、関連法制について復習しておくこと。	M	第24回	【テーマ】実習②報告書の修正・確認 【計画内容】第22回で完成させた実習報告書①について、実習②で獲得した知見を踏まえ、内容等を確認し、修正を行う。 【授業時間外の学修内容】実習②の報告書を確認しておくこと。	G	
	第10回	【テーマ】関連法制の整理(2) 【計画内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」を活用し、実習施設が依頼する法制及び精神保健福祉士に求められる関連法制についてグループで整理を行い、関連する文献収集、ならびに要点を整理し、グループメンバーで共有する。 【授業時間外の学修内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」及び、過去の講義科目の資料等を整理しておくこと。	H	第25回	【テーマ】プレ実習報告会(1) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F・G・L	
	第11回	【テーマ】実習②個別課題作成(1) 【計画内容】医療機関を利用する当事者を想定し、求められる面接技法やグループワーク技法を確認する実習を実施し実習目標を立てる。 【授業時間外の学修内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」を読んでおくこと。	B・G	第26回	【テーマ】プレ実習報告会(2) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F・G・L	
	第12回	【テーマ】実習②個別課題作成(2) 【計画内容】設定された実習課題及び目標を達成するためにどのような実習展開を希望するか、その具体案を検討するとともに課題設定の意義を整理し、実習課題及び目標を達成するための実習展開を具体的に検討し、課題設定の意義を整理する。 【授業時間外の学修内容】「精神保健福祉援助実習のてびき」を読んでおくこと。	G・L	第27回	【テーマ】プレ実習報告会(3) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F・G・L	
	第13回	【テーマ】実習②個別課題完成・教員との面談 【計画内容】教員との対面による個人スーパーバージョンにより、個別学習目標と実習個別課題を確認する。スーパーバージョンによって確認された内容に基づき実習個別課題等を仕上げる。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容をまとめておくこと。	B	第28回	【テーマ】プレ実習報告会(4) 【計画内容】3年次学生を対象としたプレ報告会において実習報告を行い、質疑を受け、さらに内容の整理と検討を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F・G・L	
	第14回	【テーマ】実習②事前訪問 【計画内容】実習先への事前訪問を行い、実習指導者と具体的な実習展開方法の確認及び修正を行う。 【授業時間外の学修内容】個別課題、個人票等、提出物を確認しておくこと。	G・M	第29回	【テーマ】報告書①報告書②の修正・完成 【計画内容】プレ実習報告会での質疑等を踏まえ、報告書①報告書②の見直しを行い、完成させる。 【授業時間外の学修内容】プレ実習報告会での質疑内容について整理、まとめておくこと。	G・L	
	第15回	【テーマ】個別課題の修正・実習事前学習のまとめ 【計画内容】事前訪問時の実習指導者による指導内容を確認し、必要に応じて個別課題の修正等を行う。また、事前学習内容について再確認、まとめの作業を行う。 【授業時間外の学修内容】事前訪問報告書を作成しておくこと。	K・L	第30回	【テーマ】実習報告会 【計画内容】実習指導者(スーパーバイザー)を本学に招き、実習報告会を開催する。スーパーバイザー及び他学生からの助言や意見を受け、実習の総括を行う。 【授業時間外の学修内容】講義の中で必要な準備学習を伝達する。	F・L	
テキスト		北翔大学、『精神保健福祉援助実習のてびき』教員作成のレジュメを配付します。					
参考書		適宜紹介します。					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分		55%		45%		
	補足		実習関連書類作成含				
課題に関するフィードバックの方法		提出物については、3教員確認の上、コメントを入れ返却する。 課題(実習先に提出)については、教員のチェックを受け、指摘事項については修正すること。					
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	精神保健福祉士				
		科目との関連	精神保健福祉分野における実習生受け入れ経験および、これまでの実習指導経験に基づき、指導する。				
質問への対応		講義内での積極的な質疑、対面式による質疑を期待する。					
資格		[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必					
その他		本科目を履修登録していない者は、「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「精神保健福祉援助実習」を履修出来ない。 遅刻・無断の欠席および課題の提出期限は厳禁。 出席・受講態度を重視するので、積極的な参加が求められる。					

科 目 名		精神保健福祉援助実習			授業形態	実習	単 位 数	7
教 員 名		今井 博康、寺田 香、古川 奨						
授 業 の 目 的	ねらい	1. 精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助にかかる専門的知識・技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。 2. 精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について理解する。 3. 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を修得する。 4. 総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解する。						
	到達目標	(1)所定の期間(210時間)を学外の指定機関で学習する。 (2)事前に立てた実習課題の達成を目指す。 (3)将来精神保健福祉士として活動するための基本的態度を身につける。						
授 業 の 計 画	計画内容	【計画内容】 ・210時間(およそ30日間)を充足する配属実習とする。 ・精神科医療機関(90時間以上)及び精神障害者を対象とした障害福祉サービス事業所等に配属する。 ・「精神保健福祉援助演習Ⅰ・Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習指導」で教授された内容・方法を充足するプログラムを編成し、それに基づいて行う。以下、基本の展開を示すが、各実習施設の実情および実習期間に基づいて実施される。 実習①:3年次後学期(2月～3月)障害福祉サービス事業所等で実施:70時間(約10日間) 実習②:4年次(8月～10月)精神科医療機関で実施:140時間(約20日間) ・毎日の実習日誌の作成を義務付け、現場スーパーバイザーのコメントを得る。 ・教員は巡回および学生を帰校させスーパービジョンを行う。 ＜実習内容＞ ・利用者を始めとし、利用者を取り巻く関係者、施設・機関、ボランティア等との基本的なコミュニケーションなど円滑な人間関係の形成。 ・利用者理解とニーズの把握および支援計画の作成。 ・利用者やその関係者(家族等)への権利擁護および支援とその評価。 ・精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実践について学ぶ。 ・精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解。 ・実習先の職員の就業に関する規定への理解と組織の一員としての役割・責任についての理解。 ・施設、機関の経営やサービスの管理運用の実践についての理解。 ・実習先の地域社会の中での位置づけについて理解し、具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解。 ◎各機関で実施される実習内容 ＜精神科病院＞ ・利用者(患者)の個別支援 ・入院時又は急性期の患者およびその家族への相談援助 ・退院又は地域移行・地域支援に向けた、患者およびその家族への相談援助 ・他職種や地域障害福祉サービス事業等の関係機関との連携 ＜精神科診療所＞ ・利用者(患者)の個別支援 ・治療中の利用者(患者)および家族への相談援助 ・日常生活や社会生活上の問題に関する、利用者(患者)および家族への相談援助 ・他職種や地域障害福祉サービス事業所等の関係機関との連携 ＜障害福祉サービス事業所等＞ ・利用者(患者)の個別支援 ・事業所における利用者およびその家族への相談援助 ・医療機関等の関係機関および他職種との連携 【授業時間外の学修内容】 実習配属先の理念、設立根拠法、歴史、関連講義資料の復習、実習事前訪問。個別課題および事前学習の手引きなどを活用し、実習に備えること。						D
テキスト	北翔大学、『精神保健福祉援助実習のてびき』							
参 考 書	教員・実習指導者から紹介する							
成績評価の方法	配 分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	補 足			40%			60% 教員巡回指導及び帰校日指導20%・実習指導者評価40%	
課題に関するフィードバックの方法	実習中は帰学日指導、実習巡回において達成状況など確認し、実習終了後は実習指導者による実習評価を個別に面談を実施し確認する。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	精神保健福祉士					
		科目との関連	実習受け入れ経験及びこれまでの実習指導経験も踏まえ、個別スーパービジョン、グループスーパービジョンを行う。					
質問への対応	実習中は原則、実習指導者(スーパーバイザー)に聞くこと。なお解決しない場合、あるいは実習展開上の疑問や質問は、すみやかに担当教員・福祉実習支援室へ問い合わせること。 E-Mail(今井):imai@hokusho-u.ac.jp E-Mail(寺田):terada@hokusho-u.ac.jp E-Mail(古川):furukawa@hokusho-u.ac.jp 福祉実習支援室(011)387-3971							
資 格	[心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必							
そ の 他	「精神保健福祉援助実習指導」を履修登録していない者は、本科目を履修出来ない。 また、「精神保健福祉援助演習Ⅰ」(3年次後学期)、「精神保健福祉援助演習Ⅱ」(4年次前学期)、「精神保健福祉援助演習Ⅲ」(4年次後学期)も履修すること。							

科 目 名				精神保健福祉援助技術特別講義		授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名		寺田 香							
授 業 の 目 的	ねらい	精神保健福祉士として習得するさまざまな援助技術についての理解を深め、実践場面に応じた支援方法と専門職として求められる態度を涵養する。							
	到達目標	(1)精神保健福祉士として求められる援助技術を理解し、実践することができる。 (2)広く社会の動向に目を向け、ソーシャルワーク支援の専門職としての自覚を涵養する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容の紹介、展開について説明をする。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】事例検討① 【計画内容】医療機関における援助場面事例を用い、求められる援助技術について理解する(受診相談場面) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H・K			
	第2回	【テーマ】精神保健福祉援助技術の理解① 【計画内容】ミクロレベルで求められる援助技術について理解し、事例を通して検討をする。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	A・H・K	第10回	【テーマ】事例検討② 【計画内容】医療機関における援助場面事例を用い、求められる援助技術について理解する(入院時初回面談場面) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H・K			
	第3回	【テーマ】精神保健福祉援助技術の理解② 【計画内容】ミクロレベルで用いられる援助技術について理解し、ロールプレイを通して学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	A・N	第11回	【テーマ】事例検討③ 【計画内容】医療機関における援助場面事例を用い、求められる援助技術について理解する(経過確認面談場面) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H・K			
	第4回	【テーマ】精神保健福祉援助技術の理解③ 【計画内容】ミクロレベルで用いられる援助技術について整理し、留意点などについて知識を深める。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H	第12回	【テーマ】事例検討④ 【計画内容】医療機関における援助場面事例を用い、求められる援助技術について理解する(退院相談面談場面) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H・K			
	第5回	【テーマ】精神保健福祉援助技術の理解④ 【計画内容】メゾレベルで用いられる援助技術について理解し、事例を通して検討をする。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	A・H・K	第13回	【テーマ】事例検討⑤ 【計画内容】地域支援機関における援助場面事例を用い、求められる援助技術について理解する(利用相談場面) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H・K			
	第6回	【テーマ】精神保健福祉援助技術の理解⑤ 【計画内容】メゾレベルで用いられる援助技術について整理し、留意点などについて知識を深める。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H	第14回	【テーマ】事例検討⑥ 【計画内容】地域支援機関における援助場面事例を用い、求められる援助技術について理解する(利用開始場面) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H・K			
	第7回	【テーマ】精神保健福祉援助技術の理解⑥ 【計画内容】マクロレベルで用いられる援助技術について理解し、事例を通して検討をする。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	A・H・K	第15回	【テーマ】事例検討⑦ 【計画内容】地域支援機関における援助場面事例を用い、求められる援助技術について理解する(利用変更相談場面) 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H・K			
	第8回	【テーマ】精神保健福祉援助技術の理解⑤ 【計画内容】マクロレベルで用いられる援助技術について整理し、留意点などについて知識を深める。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの予習内容に取り組むこと。	H						
テキスト		毎時プリントを配付します。							
参 考 書		授業内で紹介します。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足			40% レポート		60%			
課題に関するフィードバックの方法		第15回で課題の振り返りを行い、講評をします。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	精神保健福祉士						
		科目との関連	精神保健医療の分野における相談支援職の経験を活かして講義を行います。						
質問への対応		初回講義時に説明します。							
資 格									
そ の 他		精神保健福祉援助実習を履修する学生は必ず受講してください。							

科 目 名		卒業研究			授業形態	演習	単 位 数	4
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	学生自身の興味・関心に基づき選択したテーマについて、担当教員の指導のもとに文献・調査等による研究を行い、4学年の学業の総まとめとして、卒業研究に取り組む。						
	到達目標	(1)研究のプロセスについて実践できる。 (2)研究的思考の重要性について理解し、自己啓発につなげていく。						
授 業 の 計 画	【計画内容】	第1回 オリエンテーション：授業の展開と卒業研究作成要領などの説明を行います。 第2回 研究テーマ設定：担当教員と共に、興味あるテーマを検討します。 第3回 研究テーマ設定：担当教員と共に、興味あるテーマを検討します。 第4回 研究方法について：自己のテーマに沿った研究のアウトラインを設定し、研究方法の検討を行います。 第5回 研究方法について：自己のテーマに沿った研究のアウトラインを設定し、研究方法の検討を行います。 第6回 研究計画の設定：グループ討議によって、研究計画の発表と意見交換を行います。 第7回 研究計画の設定：グループ討議によって、研究計画の発表と意見交換を行います。 第8回 研究方法に沿った調査、実習、文献検索等：各自の計画に沿って研究データを収集します。 第9回 研究方法に沿った調査、実習、文献検索等：各自の計画に沿って研究データを収集します。 第10回 研究方法に沿った調査、実習、文献検索等：各自の計画に沿って研究データを収集します。 第11回 研究方法に沿った調査、実習、文献検索等：各自の計画に沿って研究データを収集します。 第12回 研究方法に沿った調査、実習、文献検索等：各自の計画に沿って研究データを収集します。 第13回 研究方法に沿った調査、実習、文献検索等：各自の計画に沿って研究データを収集します。 第14回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第15回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第16回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第17回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第18回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第19回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第20回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第21回 担当教員の指導のもと、研究データを分析し卒業研究に取り組みます。 第22回 グループディスカッション：各自の研究について報告、発表、意見交換を行います。 第23回 グループディスカッション：各自の研究について報告、発表、意見交換を行います。 第24回 グループディスカッション：各自の研究について報告、発表、意見交換を行います。 第25回 グループディスカッション：各自の研究について報告、発表、意見交換を行います。 第26回 グループディスカッション：各自の研究について報告、発表、意見交換を行います。 第27回 グループディスカッション：各自の研究について報告、発表、意見交換を行います。 第28回 卒業研究発表会準備：報告資料の作成や、効果的な発表の方法についてなど準備を進めます。 第29回 卒業研究発表会準備：報告資料の作成や、効果的な発表の方法についてなど準備を進めます。 第30回 卒業研究発表会：自己の研究を発表すると共に、他者の発表を聴講し、学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】 これまでの4年間の学びを活かすために振り返りを行なう。						B
テキスト	指導教員より指示があります。							
参 考 書	指導教員より指示があります。							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			60%		40%		
	補 足			卒業研究の内容				
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	指導教員より指示があります。							
資 格	[心]認定心理士_選必							
そ の 他	「卒業研究」作成にあたっての具体的な作業や詳細なスケジュールについては指導教員の指示に従ってください。 7月に卒業研究題目を提出します(題目の変更は、原則認められません)。 12月に卒業研究および要旨を提出します。 2月に卒業研究を発表し、質疑応答を行います。							

講義要綱
SYLLABUS
教育文化学部 4 年次

2022年 4 月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL (011) 386-8011
FAX (011) 387-1542

